

過ぎざるなり。吾人若し米國産業界の全發達を見れば新進の米國民の發達の偉大なる、文明史上未だ曾て其例なきを知るに足らん。今之を統計に就て見れば一層其真相を確かにするを得べし。

今合衆國の産物に就て之を見るに、小麦の産額は一八五〇年に於ては一億ブツセルなりしが、一八七〇年には二億三千五百萬、一九〇〇年には五億二千二百萬、一九〇三年には六億三千七百萬ブツセルとなれり。玉蜀黍は一八五〇年には五億九千二百萬、一八七〇年には十億九千四百萬、一九〇〇年には二十一億五百萬、一九〇三年には二十二億四千四百萬ブツセルなり。羊毛は一八五〇年には五千二百萬ポンドにして、一八七〇年には一億六千二百萬、一九〇〇年には二億八千八百萬、一九〇二年には三億一千六百萬ポンドに増加せり。特に綿は産物中の王にして、一八五〇年には二百三十萬担、一八七〇年には三百十萬、一九〇〇年には九百四十萬、一九〇三年には一千〇七十萬担なり。砂糖は一八五〇年には十一萬噸、一九〇三年には三十一萬噸なり。石油は一八五〇年迄は未だ産出せず。一八五九年の統計によれば僅に八千四百ガロンなりしが、一八七〇年には二億二千萬、一九〇

〇年には二十六億六千一百萬、一九〇三年には實に三十七億七百萬ガロンとなれり。石炭は一八二〇年に於ては僅に三百六十五噸なりしが、一八五〇年には三百萬噸に上り、一八七〇年には三千三百萬、一九〇〇年には二億四千萬、一九〇二年には二億六千九百萬噸となれり。鐵の採掘高は一八五〇年には五十六萬三千噸なりしが、一八七〇年には一百六十萬、一九〇〇年には一千三百七十萬、一九〇三年には一千八百萬噸となれり。鋼鐵の製造は、一八六七年初めて行はれ、同年には一萬九千噸を産し、一八七〇年には六萬八千噸に上り、一九〇〇年には一千〇十萬噸となり、一九〇二年には一千四百九十萬噸となれり。銅の産額は一八五〇年に六百五十噸なりしが、一八七〇年には一萬二千噸、一九〇〇年には二十七萬噸、一九〇二年には二十九萬四千噸となれり。銀は一八五〇年には五萬弗なりしが、一八七〇年には一千六百萬弗、一九〇〇年には七千四百萬弗となり、其後三年間は少しく減じて七千一百萬弗となれり。而して最も多額の産出ありしは一八九二年にして、實に八千二百萬弗なりき。然るに金の産額は之に反して過去二十年間漸次増加の一方なりき。但し二十年以前にありては一八五〇年代に於て産

額却つて多かりき。即ち一八五三年には六千五百萬弗を産せしが、其後漸次減少して一八八三年には三千萬弗に降り、夫れより復た漸次殆ど増加の一方にして、一九〇三年には七千四百萬弗となれり。又一八七〇年に於ける礦物産出總額は二億一千八百萬弗にして、一九〇〇年には實に十億六千三百萬弗なり。天産物の増加以上の如く漸次進歩して止まざるが、農業及び工業界に於ても亦之と同様の現象あり。一八五〇年に於ける農場の數は一百四十萬、其價三十九億六千七百萬弗なりしが、一八七〇年には農場數二百六十萬、其價八十九億四千四百萬弗、一九〇〇年には農場數五百七十萬、其價二百五億一千四百萬弗となれり。又一八七〇年農業に従事せるもの五百九十萬人なりしが、一九〇〇年には二千萬人となり。一八七〇年に於ける農産物の總價額十九億五千八百萬弗なりしが、一九〇〇年には三十七億六千四百萬弗に上れり。又一八五〇年に於て牛、馬、騾、馬、羊、豚等の全家畜類の價は五億四千四百萬弗なりしが、一八七〇年には十八億二千二百萬弗、一九〇〇年には二十二億二千八百萬弗、一九〇三年には三十二億〇二百萬弗となれり。

然れども其發達の最も著しきは工業にして、一八五〇年には工場の數十二萬三千、雇者九十五萬七千人、其賃銀二億三千六百萬弗、産出額十億一千九百萬弗なりしが、一八七〇年には工場數二十五萬二千、労働者二百萬人、其賃銀七億七千五百萬弗、産出額四十二億三千二百萬弗、一八九〇年には工場數三百五十五萬、労働者四百七十萬人、其賃銀二十二億八千三百萬弗、産出額九十三億七千二百萬弗、一九〇〇年には工場數五十一萬二千、労働者五百七十萬人、其賃銀二十七億三千五百萬弗、産出額百三十億三千九百萬弗なり。而して産業調査は毎十年に行はるゝことゝなれるが故に、最近の統計を知るに由なしと雖、上述半世紀間に於ける趨勢によつて見るも、其増加の確乎たるは明かにして、單に近年制定せられたる保護税の爲めに俄に發達をなせりとは云ふべからざるなり。米國經濟界の發達は之を外國貿易に見れば一層明白なり。今若し貴金屬の輸出を除外して計算すれば、一九〇三年度合衆國の外國貿易は、輸入總額は十億二千五百七十一萬九千二百三十七弗にして、輸出總額は十四億二千〇十四萬一千六百七十九弗なり。而して吾人は此輸出入額を種々の方法にて分析し、之を同年

以前の輸出入額と比較するを要す。而して一方よりすれば或は減少を示せるものあり。即ち一九〇三年に於ける輸出超過額は約三億九千四百萬弗なるも、一九〇二年に於ける輸出超過額は四億七千七百萬弗なり。然れどもこれ輸出額の減少せる結果にあらずして、實は輸入額非常に増加したるに因するなり。即ち一九〇三年に於ける輸出額は、一九〇二年よりは三千八百萬弗多かりしも、而も輸入額は前年より一億二千二百萬弗多かりしが爲めなり。

斯くの如くなるが故に、一九〇三年に於ける合衆國の外國貿易總額は實に二十四億四千五百萬弗(輸出+輸入合計額)に上り、前代未曾有の多額に達せり。尤も一九〇〇年以前にありては、外國貿易總額は二十億弗以下なりしと雖、既に一八七二年に於て十億弗に達したるを見る。一八三〇年の輸出入總額は一億三千四百萬弗なりしが、一八五〇年には三億一千七百萬弗、一八六〇年には六億八千七百萬弗、一八七〇年には八億二千八百萬弗、一八八〇年には十五億〇三百萬弗、一八九〇年には十六億四千七百萬弗となれり。而して以上の期間に於て輸出入の差額の割合は屢、動搖ありき。例へば一八〇〇年に於ては二千一百萬弗の輸入超過を見

その後の三句に於ても亦同様なりき。而して其次の一八四〇年を以て終れる十年間に於ては平均二千九百萬弗の輸入超過となれり。然るに又次の一句(一八五〇年まで)には形勢一變し、輸入超過平均二千九百萬弗となり、次の十年間には二千萬弗、次の十年間には四千三百萬弗の輸入超過となれり。然るに此時に至りて輸出俄に増加を來し、過去二十五年間の輸入を超過するに至れり。即ち一八八〇年には輸入六億六千七百萬弗、輸出八億三千五百萬弗、一八九〇年には輸入七億八千九百萬弗、輸出八億五千七百萬弗、一九〇〇年には輸入八億四千九百萬弗、輸出十三億九千四百萬弗、一九〇一年には輸入八億二千三百萬弗、輸出十四億八千七百萬弗、一九〇二年には輸入九億三百萬弗、輸出十三億八千一百萬弗、一九〇三年には前述の如く輸入十億二千五百萬弗、輸出十四億二千萬弗餘となれり。米國の輸入品を精査するに、一九〇三年、麵粉及び家畜動物の輸入額二億一千二百萬弗、原料品三億八千三百萬弗、半製品九千七百萬弗、完製品一億六千九百萬弗、一般奢侈品一億四千五百萬弗なり。今之を一八八〇年の輸入品と比較するに、現今に於て全輸入額の二割一分を占むる食品は、一八八〇年には三割一分なり

き。又當時完製品も其大部分を占め、今日の一割六分に對して二割なりき。然るに之に反して原料品は、一八八〇年に於て二割五分なりしが、今日にては三割八分となり、奢侈品も當時は一割なりしもの、今日にては一割四分に増加したり。次に上述の輸入半製品中第一位を占むるは化學用品にして、三千八百萬弗を占め、次に毛織物一千一百萬弗、油一千萬弗、鐵八百萬弗、革皮五百萬弗なり。原料品中第一位を占むるは毛皮にして、一九〇三年に於て五千八百萬弗なり。次に生絲五千萬弗、麻絲の如き植物性纖維三千四百萬弗、護謨三千二百萬弗、鐵及び鋼鐵三千萬弗なり。尤も此鐵及び鋼鐵の輸入三千萬弗は實は例外にして、一九〇三年に於て米國鐵製業に重税を課したるに因れり。一九〇二年、鐵及び鋼鐵の輸入額は僅に九百萬弗、一九〇一年にも亦僅に三百萬弗なりしなり。其他化學原料の輸入額は二百三十萬弗、錫二千三百萬弗、羊毛二千一百萬弗、銅二千萬弗、材木一千一百萬弗、綿一千一百萬弗なり。

次に一九〇三年に於ける輸出額を産物の出所により分類して記すれば、農産物八億七千三百萬弗、工場の産物四億〇七百萬弗、材木五千七百萬弗、礦物三千九百

萬弗、海産物七百萬弗、其他六百萬弗は上述以外の内國産物にして、二千七百萬弗は元と外國産のものなり。農産物輸出額は一九〇一年に於て最も多く、九億四千三百萬弗なりき。又製造品の輸出額は現今に於ては一九〇一年よりは三百四十萬弗少く、一九〇〇年よりは二千六百萬弗少し。尤も統計表に見るに、製造品の産出額は決して減少せざりしも、内國の消費高増加したるなり。而して上述の如く過去三年間の例外を除けば、輸出額は漸次増加して止まざりしなり。一八〇〇年には農産物の輸出額二千五百萬弗、製造品二百萬弗、一八五〇年には農産物一億〇八百萬弗、製造品一千七百萬弗、一八八〇年には農産物六億八千五百萬弗、製造品一億〇二百萬弗、一九〇〇年には農産物八億三千五百萬弗、製造品四億三千三百萬弗に上れり。

次に合衆國と貿易をなせる國に就て見るに、輸出入共に第一位を占むるは歐洲にして、一九〇三年、歐洲よりの輸入は五億四千七百萬弗、歐洲への輸出は十億二千九百萬弗なり。又カナダ及びメキシコよりの輸入は一億八千九百萬弗、右二國への輸出は二億一千五百萬弗なり。次に南米よりの輸入は一億〇七百萬弗、其輸

出は四千一百万弗、亞細亞よりの輸入は一億四千七百万弗、其輸出は五千八百萬弗、非洲よりの輸入は二千一百万弗、其輸出は三千七百万弗、亞弗利加よりの輸入は一千二百万弗、其輸出は三千八百萬弗なり。

又歐洲各國と合衆國との輸出入の割合は下の如し。英國は五億二千三百萬弗を米國より買ひ、一億八千萬弗を米國に賣り、獨逸は一億七千四百萬弗を買ひ、一億一千一百万弗を賣り、佛蘭西は七千萬弗を買ひ、八千七百万弗を賣り、埃太利は六百万弗を買ひ、一千万弗を賣り、露西亞は七百万弗を買ひ、七百万弗を賣れり。英國及び獨逸に次ぐ米國の得意先はカナダにして、合衆國より一億二千三百萬弗を輸入し、之に對して合衆國に五千四百萬弗を輸出したり。又獨逸は他國よりも米國より多く購入する國にして、露國より獨逸に輸入する額は、米國より獨逸に輸入する額よりも遙に少く、埃太利、英國の如きは更に一層少し。又獨逸より輸出する得意先の中には、英國第一位を占め、埃太利其次にして、合衆國は第三位にあり。

無味乾燥なる統計は之を以て足れりとすべし。之を外國の統計表に比する時は、

特に驚くべきものを見るべし。米國の小麥の産額は世界第一にして、玉蜀黍の如きは世界全體の産額を合するも尙遠く米國に及ばず。牛豚の屠殺數も各國之に過ぐるものなく、全世界の綿の四分の三は實に合衆國にて産するなり。石炭、石油、鐵銅、鉛、革皮、木炭の産額も亦天下に冠たり。即ち加工せらるべき最も重要な物品の産額は世界孰れの國よりも多し。尤も上述の如き外國貿易の計數を瞥見したるのみにて、實際米國の地に行き、如何に其經濟界の活動しつゝあるかを目撃するにあらざれば、到底充分に其真相を了解すること能はざるなり。されば吾人若し其真相を知らんと欲せば、須らくナイアガラの動力場、ピッツバーグの鐵工場、シカゴの屠殺場、ニューヨークの織物工場、ニューヨークの印刷機械、マサチューセツ及びイリノイの時計工場、バッファロの穀物昇降器、ミネアポリスの製粉所、フィラデルフィア附近の機關車製造及び製造業、及びニューヨーク港の埠頭等を見ざるべからず。

一個の工場すら毎年約千五百個の機關車を製造するあり。シカゴの穀物收穫機械工場の如きは、其敷地百四十エーカー、職工二萬四千人を有し、已に二百萬個の

新式收穫機械を製作したり。加之其機械材料たる木材及び鐵を運ぶ爲めに五十隻の船を有し、毎日貨車一百輛に其既製の機械を積むなり。且つ斯かる大規模の企業は常に常用品の製造の爲めに營まるゝのみならず、瑣々たる品物の製造にも行はるゝなり。獨逸に於てはデパートメントストアの進歩甚だ遅々たれども、米國にては大商店は直ちに人氣を買ひ、其新聞雜誌の大廣告と店頭の裝飾と兩相應じて以て顧客を惹くなり。一の食料品又は化學的調合品の製造者が人目を牽かんが爲めになせる滑稽的廣告に一年百萬弗以上を費すことは決して稀有のことにあらず。例へば「女子家庭新聞」(Ladies' Home Journal)の一行の廣告料は實に六弗にして、而も其行の長さ甚だ短し。又近頃或る石鹼商は或る期間、一雜誌の表紙の裏を借りて石鹼の廣告をなし、之が爲めに十五萬弗を拂へりと云ふ。特に米國に旅行する者の深く感ずる處は其進歩變化の速なること是なり。前に述べたる統計的記述は之を示して餘ありしなり。今其好適例として農具の改良進歩に就て見るに、一八七〇年米國の耕作法に大革命を起し、初めて耕作機械を用ふるに至りしが、其後尙引續き種々の改良を加へて今日に至り、農夫は皆此機

械に乗りて耕作するに至れり。且つ播種と鋤耕とを同時になすを得る蒸氣犁の發明によつて、前よりも其時間を約十五分の一に減じ、小麥一把の生産費も亦約四分の一に減じたり。而して現今使用する所の機械は益々改良を加へ、種子と同時に肥料をも下し、而も種子を地下適當の深さに蒔くを得ることゝなれり。その他玉蜀黍を穂より摘み、同時にその莖幹を刈取り、僅に一分間にして一ブセルの玉蜀黍を得る機械あり。此機械の發明前には如何に老練なる労働者と雖、之が爲めに約二時間を費さざるを得ざりしなり。

穀皮打落し用の連枷は早く既に廢れて、刈取作用と連枷作用とを同時に行ふ機械發明せられたり。此機械は先づ莖より穀粒を刈り取り、其穀皮を去り、之を篋にて篩ひ、直ちに藁包みとなすものにして、其迅速なること恰も奔馬の如し。又綿核除去器の發明ありてより、一千萬捆の綿も容易に採取するを得るに至れり。此發明以前にありては棉一ポンド半の綿核を除去するに、一人十時間を費したるが、此發明によつて右と同時間に約七千ポンドの綿核を除去することを得るに至れり。

其他米國人の發明の天才は到る處工場の生産額を増加せざるはなし。元來米國人の目的は勞力を省くにあるが故に、能ふ丈け自働機械を工夫し、回轉機を廻し、或は槓杆を動かせば、直ちに其目的の仕事をなし、以て人の力を省けり。斯く絶えず發明改良の行はるゝこと、勞働者と資本家とが綽々として餘裕あり、常に費用を吝まらず直ちに新式機械を採用すること、二者互に相俟つて米國經濟界の進歩に貢獻するの大なるは、到底保護税も、米國國土の自然の豊富も、之に及ばざるなり。

米國中極端なる侵略主義の人々は現在に於ける此大發達を以て尙將來一層發達すべき端緒に過ぎずとなし、將來米國が世界の市場を支配するに至るべしと夢想するものあり。然れどもこれ謬見なり。米國の識者は自國の輸出品が非常なる増加を致せりと雖、而も決してあらゆる競争に打勝ち、あらゆる障礙を排除し能はざるを知れり。又米國の勞働者は歐洲の勞働者よりは一層利潤の分配を強請することを得るが故に、賃銀高く、且つ米國の繁榮は益、賃銀を騰貴せしむる傾向あることも亦識者の熟知せる處なり。加之、米國の識者は歐洲の商品を全く

壓倒して以て歐洲の市場を占領せんことを豫期するものにあらざるなり。尤も商況不振の恐れある場合に當り、内國の市場に於て賣り捌くこと能はざる滯貨を外國に手放さんが爲めに、便宜機敏の處置を取ることあらんも、一般普通の場合に於ては斯かる事は不可能にして、若し製造業者が其商品を内國よりも海外に於て却つて安價に販賣しつゝあることの世上に知れ渡らんか、内國に於ける其惡影響は實に非常なるべし。米國人は實に經濟上の不振は、何たるを問はず、其傳播力非常に速にして一般の物價忽ち暴落することを知るが故に甚だ之を恐るゝなり。又米國人は一方に於て人力に代へんが爲め機械の發明に工夫慘憺たれども、而も他方に於ては慢りに副産物を浪費し且つ仕事を行ふに餘り專斷的なり。

米國の非常なる利便は、石炭は容易に製造地に運送せられ、生産物は全國内到處安價に分配せらるゝにあり。然れども米國の不利は、其輸出品の大部が外國船に搭積せらるゝが故に、其貨物運送費は外國人の手に歸するにあり。何となれば米國の商船は非常に不足にして、到底米國貿易の需要を充たすに足らざればな

り。若し又米國が保護税によつて強大を誇れば英國も亦之に對して適當の方法を講ずべく、保護政策なるものは決して獨占的性質のものにあらざるなり。又米國の天産物如何に無盡藏なりと雖利潤の大部分は之を製造し加工する國民の有となることは米國人も夙に知れる處なり。又米國人が外國の市場に手を伸ばす知能と勢力とを有するとも、他の國民も亦之に對して米國人が有せざる對抗的能力を有することも、亦彼等の熟知する處なり。特に浪費に對する注意力と外國人の需要如何を研究する忍耐心とは其最たるものなり。たゞ米國人固有の一特長は、癡に述べたるが如く、經濟的進歩の眞價を確信し、自己の活動的精神を満足せんが爲めに、經濟的活動に努力する所謂經濟的理想主義即ちこれなり。然れどもこれ亦經濟上の不利益を醸すことあるべきは想像するに難からず。元來自發の精神なるものは、勞働者に平等の權利を鼓吹し、資本と勞働との争をして他國よりも一層激烈ならしめ、而して米國の産業は世界の市場に於けるその競争者に之なき拘束を被るべし。さすれば米國人が總ての歐洲の産業を壓倒し、米國産業界の首領をして世界の支配者たらしむるが如きことは到底得て望むべか

らざる所なり。而して是等は皆米國の識者が夙に知悉する處なりとす。勿論米國が將來に於ても過去と齊しく確乎たる進歩をなすべきは米國人の豫期する處にして、吾人も亦其然るべきを信するなり。尤も米國の收穫物は必ずしも常に豊饒ならざるべく、投機業者は亦必ずしも常に自己の利潤に満足せざるべし。然れども全體としての米國民の經濟的活動は全く意外の事あるにあらざる以上は、決して不振若くは恐慌の恐れあらざるなり。合衆國は既に前後六回の大恐慌に遭遇したり。一八一四年、一八一九年、一八三七年、一八五七年、一八七三年、一八九三年の恐慌即ち是なり。而して恐慌が音律的に再現するものなりとの陳腐なる思想の如きは、今後之を信するものなきに至るべし。今や多年の膨脹の後漸く經濟界の不振を見んとすと雖、之を過去に於ける恐慌特に一八九三年の大恐慌に比すべきにあらざり。今一八九三年の恐慌に就て見るに、これ實に信用の濫用貸付金の法外なる膨脹の結果なりしなり。之に先立てる五六年間は繁榮相續さしを以て、無法なる建築熱全國に流行し、不動産の價は漸次騰貴したり。而も之に伴うて經濟上何等發達せるものなく、餘りに

過多の計畫企業着手せられ、土地家屋は到る處皆抵當となりたり。一八九〇年に至り漸く動搖始まり、後三年にして大破綻となり、同年相次いで破産するもの一萬五千餘、其負債の總額三億五千萬弗なりき。且つ其後三年間も殆ど回復の徴候なく、農夫は債務を負ひ、勞働者は職業を失ひ、坑夫は慈善を受けて纔に糊口し、且つ人民の購買力は全く打破せられて、經濟界の大破滅となれり。然るに暫らくにして、何等他の助けなくして、經濟界は再び自己の健全なる反動により、自働的に恢復したりしなり。按ふに將來斯かる失敗を再びする事は殆どあらざるべし。此非運に逢ひ、生存競争に適せざる薄弱なる事業は皆倒れたりしが、これ唯一時の事にして、景氣の恢復すると共に再び多くの事業勃興したりと雖、恐慌の結果として得たる永久の教訓は、産業上最も深慮と節儉の重要なことを知るに至れり。例へば一の屠獸會社が以前は毎年屠殺する家畜の殘屑より副産物として得らるべき石灰六百萬斤、脂肪三千萬斤、肥料一億〇五百萬斤を皆遺棄し居りしが、其後之を採取し、其代價のみにて優に會社の全配當金を拂ふを得たり。其他礦山、石油坑、農業、林業に於ても、亦之と同じく其副産物を利用するに至れり。

此時に當り、米國人は多く節儉の方法を案出したるが、これ亦米國人の發明的天才に歸すべきものなり。例へば鐵工場、炭山、其他産業の盛なる處にありては、浪費を省き利潤を増加し、勞力を減ずるの工夫を發明し、凡ゆる精巧なる機械を完成したり。

尤も斯くの如き大節儉は不景氣の時に於ては大に効力ありと雖、而も節儉其物は決して産業を鼓舞振作するものにあらざるなり。且つ産業が何時又如何にして復興し始めたるかの問題の如きは、種々の原因に基くものなるが故に、之を究むること甚だ困難なり。大トラストの起れるが如きは、産業復興の原因にはあらずして、單に其一徴候たるに過ぎず。按ふに産業の復興は一八九七年の秋、全米國の非常なる豊作に始まれるが如し、當時露西亞及び印度の麥作甚だ不良にして、世界各國皆穀物に缺乏したるに、獨り米國は一八九七年より豊作相續さしかば、小麥の價は一週毎に騰貴し、米國の農民は一八九四年には一ブッセルを四十九仙にて賣りたる小麥が、今や騰貴して八十一仙にて賣れ、而して穀倉は充滿せるの有様なりき。斯くの如くにして嚮に數年間節儉し、而も貧窮に苦める農民は今や

大に富み、荷車、農具、衣食、飲食物の如き、皆以前よりは贅澤なるものを使用するに至れり。されば農業を以て主とする國に於ては、豐作は即ち産業の繁榮を意味するものなりと云ふべきなり。

斯くの如くにして各村落の商店も亦再び賑ひ、大産業も亦再び漸次振起し來れり。而して鐵道の之によりて受けし影響は一層大なるものありき。曩に好景氣の時に當りて、無數の競争線布敷せられしが、これ國家の爲めには甚だ賀すべき事なりしも、而も之が爲め布設者の利潤は大に減じたり。然るに不景氣となり、是等競争線は大打撃を蒙り、漸次管財人の手に歸し、鐵道の營業全く萎微し、客車の新造、枕木の取代への如き、殆ど之なく、唯非常に節約をなすこととなれり。然るに一八九七年より豐作打續きしかば、穀物を市場に運送し、且つ復興せる産業の用に供すべき貨車の需要頗る増加し、一時瀕死の境に在りたる鐵道は再び復興し、之が爲めに製鐵業も再び隆盛となれり。新に軌道及び枕木の需要起り、鋼鐵製材の諸業再び活氣を帯び、職工も亦富み、益、自己の従事せる産業を發達せしめ、石炭の需要到る處に増加し、爲めに礦山業も亦大に振起するに至れり。

然るに米西戰爭の起るや、國民は大に自信の念を起し、爲めに再び産業の活動を促進したり。昔に内國の發達斯くの如きのみならず、外國との關係も亦等しく大に發展したり。一八九八年に於ける小麥の産額は六億七千五百萬ブセルにして、棉の産額は一千一百萬捆に達せり。加之金の産額亦六千四萬弗に増加したるを以て、之に外國より輸出穀物の代價として受取りたる巨額の金額とを合して、通貨非常に増加し、株式市場も亦急に好況を呈するに至れり。曩に恐慌時代ありては、資本家等は全く投資を停止し、西部及び南部諸州に對して不信疑懼の念を懷き居たるにより、當時是等の地方にありては窮乏其極に達し、一物として殆ど抵當に入れられざるはなかりき。特に西部地方農民の失望の結果として、銀貨問題を惹起し、以て東部諸州の人民に不安の念を懷かしむるに至れり。然るにマッキンレー氏大統領に就任し、通貨の安固を確保するや、銀貨問題も漸く下火となり、且つ西部の農民は豐作の爲めに數年ならずして負債を償却し、再び健全なる繁榮を享受し、株式市場も亦大に活動するに至れり。ニューヨークの株式市場に於て一八九四年には株券取引數僅に四千九百萬なりしが、一八九七年には景氣漸く

復興して其數七千七百萬となり、一八九九年には一億七千五百萬となれり。一八九八年の末より一八九九年の初めに至る冬季に於て、トラスト組織漸く盛大となり、株式市場益、賑ひ、投資者頻々として起れり。ニュージャージー州の如きは特に會社法を寛にし、以て各種の産業を歓迎したるが、此一州のみにては數百個の合同組織成り、其空株の總額四十億弗に上れり。尤も直ちに反動起り、一八九九年十二月に至り、是等空株の大部分は倒れたりしが、産業其物は、何等の損害をも受けず、益、隆盛となれり。

此間に於て都會も地方も共に大に其富を増進せり。貯蓄銀行の預金の如きは數年ならずして二倍となり、鐵道は小麥、玉蜀黍、材木、鐵家畜、綿及び製造品を運送すべき車輛の不足を嘆ずるに至れり。二年間に於ける郵便爲替取組數は七百萬を増加し、手紙及び小包、其他の封書、の如きは三億六千一百萬を増加したり、且つ教育及び藝術の爲めの寄附も一年間に五千萬弗以上の増加をなしたり。

之と共に外國貿易も亦増加を來せり。之より先、米國の産業は内國市場の沈滞に際し、恭進外國市場に侵入し、以て立脚地を得んことを力め、製造品の廉價と精良

と好く其嗜好に投ずるとの三者に依つて漸次競争場裡に勝利を占め居たりしかば、内國經濟界の景氣回復したる時には、外國貿易に對する基礎は既に十分に成り居りしなり。今や米國は自轉車、農具、靴、綿布、紙、時計、その他、鐵軌、橋梁、汽關車等の鐵道材料を多く輸出するに至りしが、恐慌以前に於て斯かる製造品を外國に賣らんことは殆ど夢想だもせざりし處なりき。且つ之と共に益、歐洲の製造品を仰ぐの必要を減じ、全く産業の獨立をなすに至れり。例へば一八九〇年、米國は外國の製造品三億五千七百萬弗を買ひ、之に對して僅に一億五千一百萬弗の製造品を輸出したりしが、一八九九年に至りては輸入額は一億弗を減じ、之に反して輸出額は殆ど二億弗を増せり。

製造品の輸出斯く増加すると共に、農産物非常に豐作なりしかば、生産品の輸出總額は十二億三千三百萬弗に達し、此に於て合衆國は始めて全世界の輸出國中第一位を占め、英國を壓倒するに至れり。一八九八年即ち復興の初年に於て、米國の輸出超過額は既に六億一千五百萬弗なりき。恰も此年米國の海軍が西班牙の海軍を全滅し、以て米國が世界列強の一たることを證したると共に、一方に於て

外國貿易の結果、米國は商業に於ても亦世界列強の一たることを證したり。且つ當時既に露國は其シベリア鐵道に米國の鐵軌を用ひ、米國の會社は印度に於て架橋を受負ひ、米國の綿製品は支那に於て英國の競争品を壓倒しつゝありき。而して内國に於ては豊年打ち續けり。

一九〇一年、小麦の産額は未曾有の増加を示し、實に七億三千六百萬ブッセルなりしが、一九〇二年には尙増加して九億八千七百萬ブッセルとなれり。此年亦大麥六億七千萬ブッセル、玉蜀黍二十五億二千三百萬ブッセルの産額あり。元來玉蜀黍は之を貯藏すると甚だ容易にして、久しきに耐ふるが故に、市價の騰貴を待つて之を賣るの便あるを以て、其收穫は殆ど常に有利なりとす。且つ農民は自家の食用として常に之を用ふるが故に、其市價の下落を防ぐことを得るなり。西部諸州は農産物中特に此玉蜀黍によつて其富を増加したり。棉の産額は毎年約一千萬担、石油も亦毎年約七千萬樽を産せり。鐵道に依つて運送する貨物は月々に増加し、一九〇三年には遂に貨物堆積の爲め數週間全く貨物の受附を拒絶するの止むを得ざるに至れり。而して産業中最も盛大なるは製鐵業にして、豊作は産業を獎勵

し、工場及び鐵道の繁忙は益、製鐵業の繁榮を來したり。

鐵の産額の莫大なりしに係らず、其價は尙騰貴したり。鐵道會社が、其鐵軌を取替へんが爲め、製鐵所に新鐵軌を注文し、數個月後その舊鐵軌を賣拂はんとしたるに其間に於ける鋼鐵非常なる騰貴により、却つて之を新鐵軌の價よりも二割五分高價に賣ることを得たりと云ふ。製鐵業の盛衰は國民繁榮の消長を計るべき尺度なりとの諺にして、若し眞ならば、米國の繁榮亦想見するに難からざるべし。又ピッツバーグの銀行業の發達の如きは、全國他に之に比すべきものなく、一八九九年、其銀行の取引高實に十五億弗の巨額に上れり。

上述の如く一八九七年より一九〇三年に至る間、各方面に於ける發展は實に驚歎すべきものなりしも、現今に於ては既に其歩を止め、却つて再び其反動起れるを見るなり。尤も之には種々なる原因あるが故に、反動の起點を確言することは容易にあらずと雖、石炭坑夫の大同盟罷工は、確にその主たる徵候なりしが如し。當時建築熱は已に冷却し、其結果として鋼鐵業も亦大打撃を蒙れり。又銀行家が最早鐵道の爲め資金を融通することを肯んぜるに至れることも大に重要なる

關係あり、金融界の逼迫と共に、鐵道に資本を供せざるが爲めに、鐵道事業は緊縮せざるを得ざりき。而して其影響は一般産業界に及び、産業界の不振は、又貨物運送業に大打撃を與へたり。且つ建築業、製鐵業の不振も亦産業界の萎微を來し、労働者の購買力を幾許か減少し、一般産業界の不振は株式相場に影響を及ぼし、仲買人等の失敗は益、經濟界に動搖を與へたり。之が爲め國內の悲觀者は勿論、米國に同情ある外國人等が再び恐慌の來るべきを豫期したるは寧ろ當然のことなりとす。

然れども余は按ふに、恐慌は決して來らざるべし。状態は以前に比して大に改善し、且つ國民は以前の經驗によつて大に教訓を得たり。一八九〇年の初め、各種企業の繁榮と浪費との後を受けて恐慌の起りし頃は、米國の状態は全く異り居り。當時にありては經濟界の基礎甚だ弱く、且つ不必要にして到底存続すること能はざるが如き投機的企業も亦甚だ多かりしが、今や乃ち然らず。當時鐵道會社は信用を濫用して、無人荒蕪の地方にすら數千哩の鐵道を布設する有様なりしも、近頃の繁榮時代にあつては全く之に反し、新に鐵道を布設することは割合に

少く、且つ其經費の如きも主として營業上の改良に向けらるゝに至れり。故に鐵道事業經營の基礎大に堅く、其負債も亦減少し、産業界の不振も餘りに鐵道に影響を及ぼさざるなり。勿論最近數年間に於ける急激なる經濟界の膨脹は、鐵道の營業に不利を來せること明かにして、貨物の運送過冗にして、爲めに常規を亂し、故障危険の數を増し、非常に其營業費を高めたり。然れども鐵道業者は概して斯かる例外の過多なる運送の需要よりは、寧ろ正常の程度に於ける需要を欲すべし。

産業界に於ても亦全く鐵道と同様なり。最近數年間に於けるが如き強壓は、全く損失なくして之を經過するを得ず、工場は技量知識の劣等なる労働者をも備入れざるを得ざりしも、而も産業上の需要少しく減少するや、是等劣等の労働者を解雇し、唯だ技量ある労働者のみを残し置くことを得たり。現今産業は鐵道と等しく全く健全なる發達をなしつつあり。而して利潤の多少の動搖は株式市場の相場の下落に比すべくもあらざるなり。元來米國に於ける株式相場の變動は、産業上の生産額には影響せざるを常とす。主として大富豪の金庫中に藏せられた

る株券が大暴落をなしたりとて、眞の經濟的活動は損害を受くるものにあらずるなり。而して斯かる株券の變動は從來常に起れる所にして、將來繁榮の時代に於ても尙起るべく、而も産業其物は何等の損害をも蒙らざるべし。例へば一八九八年に銅の株式頻りに暴騰し、非常なる投機行はれしが、其翌年の夏に至り其會社は潰れ、株券は大暴落をなせしも、銅其物の價格は何等の影響をも蒙らざりしなり。即ち一八九七年に銅一ポンドの平均價格は僅に十一仙なりしが、一八九九年には、その株式の漸次下落せるに拘らず、銅は十七仙なりき。斯くの如く産業其物は基礎鞏固にして、且つ一八九三年の大恐慌により促されたる種々の改良は、今尙その効力を有するのみならず、曩に外國に仰ぎたる需要品も、今や内國にて供給せらるゝに至れり。加之外國の輸出益、活潑となれるが故に、假令再び内國の購買力を減ずるが如き場合あるとも、商品の販路大にして、毫も滯滞することなかるべし。

尤も尙この外にも重要なる種々の理由あり。就中其一は近年米國が全く歐洲の資本より獨立し、歐洲に依頼せざるに至れること是なり。歐洲に對する米國の輸

出超過額は毎年數億弗を越え、之に依て歐洲に負へる産業其他の負債は其大部分を償却したり。抑、一八九三年の大恐慌は歐洲人が其資本を回收したるが爲め大にその影響を受けたるものなり。一八九二年、合衆國は歐洲の資本五億弗を拂へり。而して今日に於ては拂ふべき額甚だ少し。一八九三年、合衆國は金貨一億〇八百萬弗を輸出し、之に對する輸入額は僅に二千二百萬弗なりき。然るに一八九八年には金貨の輸入超過額一億〇五百萬弗となれり。一九〇三年に於ても、金貨は尙輸入超過を示せり。斯くの如くなるが故に、今日に於ては米國の金融市場如何に逼迫するも、歐洲の資本を回收して恐慌を促進するが如きは不可能のことなるべし。

次に又以前の恐慌の時と異り、今日に於ては米國の政治上の形勢大に確然たることも亦恐慌の再來せざるべき理由の一なり。當時西部諸州の銀貨問題大に全國民を惑はしめしも、今日に於ては決して斯かる政治上の疑惧あらざるなり。大統領の改選ありたりとて、通貨上何等危険なる變動あらざるべく、又共和民主の兩政黨が假令トラストに反對したればとて、米國人民はトラスト組織が經濟の

發達を保障増進し、不必要なる競争を防ぎ、生産額を齊一にし、之を秩序的ならしめたることを熟知し、又空株の購入者が或は損害を蒙ることあらんも、製造品購求者に於ては、何等の不便をも感ぜざりし事を熟知するなり。

右の外尙頗る重要な二個の理由あり、其一は農業地たる西部諸州が漸次益、獨立することにして、其二は南部諸州に於ける産業の復興即ち是なり。ニューヨーク株式取引所の金融状態は今日に於ては最早十年前以前に於けるが如く、全米國の産業界を代表せざるなり。一八九三年の恐慌以前にありては、西部諸州は東部諸州よりの負債の淵に沈み居たりしも、現今は豐作の結果大に繁榮して、經濟上の獨立をなしたるが故に、其購買力と企業とがニューヨーク株式市場の變動によつて影響を蒙るが如きことあらざるべし、又ニューヨークの總ての會社の株券が大暴落したればとて、西部諸州の人民は猶繁榮を保ち、賣買、製造、運輸等確乎として進歩するを得べし。西部人民は既に抵當品を償ひ、尙且つ貯金をなし、農夫と雖娘にオルガンを買ひ與へ、子弟を大學に入れ、全力を盡して以て西部地方をして經濟上の樂園たらしめん事を勉めたり。斯くの如くなりしかば癡に一時全く停

止し居たる東部より西部への移住も、此に再び始まり、經濟上の獨立は終に益、政治上に影響を及ぼすに至れり。

南部諸州に關しても亦殆ど之と同様なり。往時にありては南部の繁榮は常に綿の栽培にあり、尙南部人は敢て之より以外の大富源を利用せんとはせざりしなり。即ち彼等は炭礦、鐵礦を採掘せず、森林を開かず、小麥、玉蜀黍を作らず、綿を以て綿布を製造せず、綿核より油を搾らず、斯かる事業は皆之を北部諸州に委したり。然るに不景氣に遭うて初めて大に覺醒し、最近産業界の復興に伴ひ、驚くべき經濟上の發達をなすに至れり。森林の開拓、石炭及び鐵の採掘は長足の進歩をなし、工場製造品の産額二十億弗に上れり。綿は現今に於ても尙南部の主産物なりと雖、綿布の製造を北部に依頼せざるべからざるが如きことは全く止み、一八九九年に於て、既に南部には五百萬個の紡錘あり、綿製造業が、其經濟界の獨立に資したることは實に豫想以上なりとす。

斯くの如く西部及び南部地方は經濟上の獨立をなし、且つ夫れと同時に米國の經濟界は歐洲の資本より獨立するを得、加之外世界各國との交通益、頻繁となり、

内外相俟つて發達し、經濟界の改善、機械の改良、實業教育、機械工學、其他産業に關する學問の勃興等は米國の經濟状態を一變し、之を一八九〇年代の初めに比すれば實に雲泥も管ならずして、悲觀論者の云ふが如く、再び斯かる恐慌の來らんとすることは到底夢想だもすべからざるなり。勿論一八九三年の恐慌は實にその來るべき理由充分に存したりしなり。之が爲めに産業界は一旦大打撃を蒙りしも、再び復興に努め、爾來駁々として進歩發展をなし、其間種々の障礙を排除し、世界列強の一として宇内に雄飛するに至れり。されば將來再び大恐慌を來すが如きことあるを恐るゝは寧ろ杞人の憂ひたるに過ぎざるべし。

第三章 經濟問題

吾人の論ぜし所は其目的單に米國人の製造したる無心の物貨にあらずして、寧ろ彼等が眞の經濟的活動の有様を述ぶるにありき。故に米國人をして斯く偉大

なる經濟的進歩をなさしめたる所以のものは、彼等の如何なる特質によるかを記述したり。尤も過去數十年間に於ける經濟的發展を記するに當つては多少枝葉に亘れる處なきにあらずしも、吾人の主とする處は米國人民の心意的作用如何を記するにありしなり。即ち米國の經濟史を記せるにあらずして、實は漸次に此經濟史を組成せる米國人民を説明したるものなり。

斯くの如き立脚地より見る時は、實際争鬪の表面に見はるゝものは却つて左まて重要なるものあらざるを見る。政黨の争となれる問題、特に特殊の社會、特殊の職業、特殊の地方に屬する問題の如きは全國一般に共通せる模範的米國人民の特性を示すに足らざるなり。吾人にして政治上の時局問題よりも寧ろ民主政治の恒久的大原則に注意したりとせば、經濟界に於ける時局問題に對しても亦多く論ずるの要なかるべし。故に保護貿易、産業機關、複本位制、職工組合等の如きは、今此に其解決を試むべき問題にあらず。

然れども吾人は是等の諸問題に關係ある諸種の事情を全く閉却すべきにあらず。尤も吾人は是等の問題を米國の經濟問題としては或は閉却するを得べし。又

銀行の改善或は水利の如き純然たる専門上の問題は全く之を論ずるの要あらざるべし。然れども銀貨、トラスト、關稅、勞働等の諸題の如きは深く國民の心を惱まし、其最も善良なる力を發揮し、所謂米國主義を發達せる問題として充分に之を攻究せざるべからず。若し是等經濟上の困難なる問題が米國人民の熱心なる注意を惹起せざりしとせば、茲に之を記するの要あらざるべし。吾人は是等の問題を以て客觀的に米國民に影響したるものとして記するにあらざりて、實は米國人の精神を鼓舞擾亂したる問題として記するなり。加之吾人若し單に是等の問題の客觀的方面のみを考ふとせば、敢て之を問題と云ふに足らず、寧ろ單に偶然の出來事として看過するも可なるべし。是等の經濟問題は決して之より解決せらるべき未決の問題にあらず。銀貨問題は再び起らざるべく、トラストは解散せられざるべく、保護關稅は撤廢せられざるべく、職工組合は除去せらるることあらざるべし。故に之を問題と云はんよりは寧ろ自然の作用なりと云ふべし。然るに之を問題と稱する所以のものは是等の諸事件が大に人心を刺激し、或は喜んで之を迎ふるものあり、或は驚いて之を避けんとするものあり、喜悲交起り、所

謂問題としての印象を與へたるが故なり。而して是等諸問題は驚々として討議せられ、而も偏見、感情、狂熱の爲めに影響せられたること甚だ大なりしことも亦疑ふべからざるなり。今節を追うて之を略記すべし。

第一節 銀貨問題

抑、銀貨問題は既に全く解決を告げたる問題なり。但し米國人は全く本問題を忘却し終れりとは云ふべからず。最近二回の大統領選舉の際にも尙この問題の餘燼を認めたり。銀貨問題は一時非常に米國民の注意を喚起したるものにして、決して爾く早く忘却し得べくもあらず。他日或は之が再起を見ることあらん。元來本問題は非常に複雑なる思想を包容し、曲説と雖論破するに難く、經驗的知識も殆ど何等の用をなさざるが如き種々の偏見を惹起したるなり。過去十年間に起れる經濟問題中にて、銀貨問題ほど米國人民を刺激し、蠶々の聲を揚げしめたるものは他に之あらず。されば正論の内にも迂愚の言あり、邪説の内にも正當の語なきにあらざりしは明かなり。

銀貨問題の發端は一八七三年、合衆國政府が初めて銀貨を本位貨幣とせずとの法律を發布したるに起れり。尤も此法律の通過以前に於ても既に種々の異論ありしなり。銀貨本位に贊する者は曰く、一七九二年、合衆國は金銀の兩貨幣を無制限に鑄造する事を許し、銀は事實上本位貨幣なりき。且つ銀と金との比價十五と一なりしものが、偶然産額の變動よりして後に至り十六と一の比となりしと雖、而も一八七三年の無法なる法律發布せらるゝまでは、金銀共に本位貨幣として同一に尊重せられたるなり。此一八七三年の法律は米國人民が未だ其内容に就て明瞭なる思想を有せざる時に當て不意に發布せられたるものにて、陰險なる罪惡的法律なり。奴隸戦争は金貨を海外に驅逐したるが故に、人皆紙幣を使用し、而も其紙幣が金銀孰れにて引換へらるべきかを問ふ者なく、且つ當時金貨の流通せるを實際目撃したる者は殆ど之あらざりしなり。然るに時の大統領グラント氏は此法律を以て單に専門上の法案にして、何等國民に損害を與ふるが如きものならんとは思惟せず、直ちに署名したるなり。然るに愈、此法律發布せられて銀の本位制を破棄し、金の逼迫を來し、一般經濟界の不振となり、農民は窮乏に陥

り、其災禍實に甚しかりきと。これ銀貨本位維持論者のいふ處なり。然るに複本位制に反對する者は以上の如き銀貨本位維持説を以て全く眞理を缺くものとなすなり。十九世紀の初め約三十年の間は、銀と金の比價十五對一の割合にて、銀貨金貨共に等しく交換せられたり。然るに其後この比價は漸く市價と一致せず、且つ歐洲にては金の歩合米國よりも一層高かりし爲め、米國の金は歐洲に流出するに至れるが故に、一八三四年には法定比價を十六對一に改めたり。此に於て金價騰貴し、事實上米國に金貨本位制を樹立せるものにして、銀鑛所有者は其銀塊を外國に賣れば却て有利なるが故に、最早内國にて之を銀貨の鑄造に用ひざるに至れり。事態斯くの如くなりしかば、其後十年間に於ける一弗銀貨の鑄造額は僅に八百萬弗に過ぎずして、實際上殆ど一弗銀貨の流通を見ざるに至れり。但し補助貨としての銀貨は、尙流通したりと雖、之とても本位銀貨の法定重量よりは一層軽く鑄造せられたるなり。斯くの如くにして、通貨は唯金貨のみとなり。且つ當時の採掘額少かりしかば、之に不満を懷く者あらざりき。例へば一八五一年より一八五五年まで米國に於け

る銀の平均産額は一年僅に三十七萬五千弗なりしも、金は實に六千二百萬弗なりき。然るに南北戦争起るや、經濟界は全く衰微に陥り、一八六一年の秋、政府は銀行より金貨一億弗を借入れ、且つ翌年に至り、グリーンバック(Greenback)と稱する不換紙幣一億五千萬弗を發行したり。此に於てか交換の自然の法則に従ひ、良貨は悉く海外に流出し去り、爲めに又直ちに一億五千萬弗の紙幣を發行したり。されば金價は益、騰貴し、一八六四年には其極に達し、標準價値の一倍八割五分となれり。然るに戦争終り、信用再び回復するや、一弗紙幣は四十三仙より八十仙に昇れり。然れども流通紙幣の量甚だ多く、一八七〇年代の初めに至り、國庫漸く充實して紙幣回收の餘裕を生ずるに至る迄は、殆ど絶えて硬貨の流通を見ざりしなり。然るに恰も當時、金の産額非常に増加し、而して文明諸國は皆金の單本位制を採用しつゝありき。一八五〇年より一八七〇年に至る二十年間に於ける金の産額は、其前二十年間に於けるよりも約五倍となり、各國の有名なる財政家等は今や金を以て世界の交換本位となすべき好機來れりとなし、一八六七年、巴里に開かれたる會議に於て初めて其運動起れり。而して獨逸先づ金本位制を採用し、合衆

國も亦一八七三年之に倣へり。十九世紀の中葉以來、實際上米國通貨の本位となる金貨は今や全く法定本位となり、銀貨の鑄造は此に至て休止せられたり。本位問題は既に數期の國會に於て討論せられたるものなるが故に、其間何等の秘密若くは陰險なる不正あらざりしなり。

事情斯くの如し、然るに銀本位主張者の云ふが如き所謂罪惡なるものありて、當時世人は之を知らず、元老院議員等も亦無責任に此法案を通過したりとせば、是は此法案の取扱が秘密に行はれたるが爲めにもあらず、亦人皆紙幣の使用に慣れ、硬貨問題を全く忘却したるが爲めにもあらずして、寧ろ當時何人も此法案の爲めに害を受くべしと思惟せざりしが故なりと云はざるべからず。又當時銀鑛所有者等は其銀の貨幣に鑄造せらるゝ事に何等の關係なく、又人民は銀貨が流用せざるに至るも何等の痛痒を感ぜざりしなり。然るに銀貨本位廢止を以て秘密の隱謀なりとなし、囂々の聲を聞くに至りしは之より七年の後にして、其事情既に一變し、全く之に關係なき理由に依りしなり。一八七三年以來、銀貨の自由鑄造は合衆國の禁止する處にして、決して此法律を廢棄したることあらず。

然るに一八七三年よりは不振の時代相續き、物價の下落と共に銀の價も亦下落したり。而して複本位は已に廢せられたるが故に、銀貨の鑄造は停止し居たりしなり。然るに複本位主張者は、是等の事實を綜合して、銀價の下落は銀貨の鑄造を止めたるが故にして、之が爲めに金のみ騰貴し、物價下落し、農民は農産物を安く賣らざるべからざるに至り、人民殆ど恐慌に陥れりとなすなり。

此に於てか其救済策として再び銀貨を鑄造せば、銀價の低落を止め、且つ流通貨幣の増加と共に物價騰貴を來し、農民職工等も亦富むに至るべしと論ずるものありき。それ一八七六年に於て初めて唱導せられたる主論にして、漸々其勢力を増し、遂に二十年の後に至ては、狂熱せる人民喧囂して之に雷同し、一九〇〇年に至るも尙民主黨は之に惑はされたり。されど交換の媒介物としての通貨を増加すべしとの希望と、銀貨を鑄造すべしとの要求とは、決して同一事にはあらざるなり。南北戦争後人民が紙幣の發行高を増加せんとて騒ぎたるは、恰も近頃銀貨の増鑄を要求して囂々たるが如くなりき。物價を騰高せしむるには通貨を増加するの外なく、通貨其物の價値如何は敢て關する處にあらざるなり。

事情斯くの如く事實の關係を誤れるが故に、銀の下落が貨幣鑄造の法律の爲めに影響を蒙れるは實に鮮少なりしと疑ふべからず。勿論世界の大商業國が殆ど皆銀貨の鑄造を停止したることは、銀價の下落に影響を及ぼしたること疑ふべからずと雖、而も印度支那其他の諸國は尙銀貨鑄造の爲めに巨額の銀を吸収しつゝありしなり。且つ銀の消費高が漸次増加したることも亦事實なり。而して事實の真相は金の産額漸く減少しつゝありし時、恰も銀の産額非常に増加したるにあり。一八五一年より一八七五年まで、毎年金の平均産額は一億二千七百萬弗なりしが、一八七六年より一八九〇年までの間は僅に一億八百萬弗となれり。而して一八五一年より一八七五年に至る毎年銀の平均産額は、僅に五千一百萬弗なりしが、其後十五年間に於ては實に一億一千六百萬弗に上れり。

故に金の産額は一割五分の減少をなせる間に、銀は一倍二割七分の増加をなせり。勿論其時銀は下落したり。而して銀貨を多く鑄造したればとて、將來銀價を騰貴せしむべからざる事は充分明かなりしなり。特に恐慌の原因を以て流通貨幣の缺乏に歸するが如きは全く大なる誤謬なり。米國に於ける複雑なる信用制度

の下にありて、物價が流通貨幣の量によつて決定せらるゝものにあらざること、は近年の狀況に徴して明かなり。通貨の流通の速度は、又通貨の量と同様の重要な要素なり。就中最も重要なものは信用にして、これ硬貨の量とは何等の關係あることなし。故に多額の貨幣鑄造せられしも、一時之を使用せず、産業界の恢復を待て而して後初めて流通せしむるを得たり。

斯くの如く、一八七〇年代に於ける恐慌は、實際上貨幣鑄造の法律とは何等の關係なかりしなり。而も一般人民の騷擾は夙に始まり、既に一八七八年に於て大に運動の功を奏したり。即ち其年大統領ヘイズ氏(Hayes)の否認權も終に其効なく、かのブランド法案(Brand Bill)なるもの議會を通過したり。此法案は大藏省は毎月二百萬弗乃至四百萬弗の銀を購入し、之を貨幣に鑄造すべしと云ふにあり。然るに此法律は銀貨本位論者にも亦其反對論者にも共に満足を與へざりき。元來銀貨本位論者は銀貨の自由鑄造を要求するものにして、斯くの如く或る制限を置く以上は假令銀價の下落は多少防止せられんも、尙本位貨幣は金貨たるを失はざるを以てなり。又反對論者は此法案を實施せば米國の通貨は實際上惡貨たる

銀貨のみとなり、鑄造せられたる銀貨は、銀の市價よりも高く通用せられ、爲めに内國の金貨は海外に流失し、殘るものは銀のみとなるべし。若し斯くの如く實際銀價を騰貴せしむとせば、此法律は人爲的の銀の探掘を奨励するものなりと思惟したり。

されば此新法律は二論者の孰れをも満足せしむるに足らざりき。然れども尙多數の人々は之を以て二個の危険を寛和すべき折衷的良法なりと考へたり。即ち銀の自由鑄造の結果は銀貨のみとなり、通貨の品位を下ぐるの危険あるべく、又金貨本位を採らば金は甚だ少くして、到底商業界の必要を充すに足らざるが故に、これ亦同様の危険あるべし。されば銀の自由鑄造は社會を毒すべく、金の無限鑄造は之を窒息せしむべし。故に金貨の無限鑄造と共に銀貨の制限鑄造をなすを以て、唯一の安全なる方法なりと思惟したり。

然るに此法律實施せられたるも、銀價の下落を恢復するには何等の効なきと直ちに明白となれり。政府は凡ゆる手段を盡して新造銀貨の流通を容易ならしめしも、是等の銀貨は復た直ちに國庫に還り來れり。即ち如何に多くの銀貨を賃銀

として散布するも、其銀貨は直ちに先づ小賣商人の手に落ち、夫れより銀行に行き、次にワシントンの國庫に戻る有様なりしなり。國民は六千萬弗若くは七千萬弗以上の通貨を有すると能はざる有様にして、而も一方國庫には既に四億弗以上の遊金ありき。此に於て銀行先づ銀のポイコトを起して銀貨の取引を拒絶したり。而も尙一層注意すべきは、銀の價格は上らざるのみならず、漸次下落するのみなりき。故に銀の價格を支配せるものは、鑄造せられたる銀の量にはあらずして、採掘せられたる銀の量なりしなり。一八八九年、銀と金との比價は二十二と一との割合にして、ブランド法案に依つて鑄造されたる一弗銀貨の實價は僅に二十二仙に過ぎざりしなり。此に於て國會は銀の價格を高むべき一層有効なる方法を取らんことを提言するに至れり。

一八九〇年七月一の法律案通過したり。之に據れば國庫は毎月銀四百五十萬オシズを市價にて買ひ入れ、之に對して同額の國庫債券を發行し、此債券は金銀孰れにても引換へらるべしと云ふにありき。此法律によりて合衆國は金銀兩貨の平等なるべき事を主張せるものなり。尤も此法律は發行せらるべき債券の數を

指定せざりき。これ購入すべき銀の重量は一定し居りて、其價は市價に依れるを以てなり。然るに數箇月の後、この有効なるべき法律も亦銀の價格を上ぐるには餘り効力なきこと明白となれり。銀貨と金貨とが眞に平等となるには、銀一オンスの市價一弗二十九仙とならざるべからざるに、事實は之に反して、一八九〇年の八月には、一弗二十二仙まで上りしも、其翌年には一弗に落ち、一八九二年には尙落下して八十五仙となれり。而して斯くの如く銀價の漸次下落せる間に、金は速に海外に流出しつゝありしなり。

一八九三年四月に至り、國庫の豫備金は初めて從來の定額たる一億弗を下れり。而して當時經濟界は非常なる沈衰の狀に陥りたり。然るに銀貨本位主張者は銀價の騰貴せざるはこれ全く政府の銀塊購入額が制限せられ居る爲めなりと信じ、無制限の購入を絶叫したりしが、國民の大部分は大に之に反對せり。大統領クリッゲランド氏は臨時國會を召集し、元老院に於て大議論の結果遂に銀塊購入及び之に對する債券發行の法律を廢するに至れり。實に一八九三年十一月のこととなり。此に於て民主黨は二派に分れ、一はクリッゲランド氏の率ふる金本位民

主黨(Gold Democrats)となり、一は其翌年に至りブライヤン氏を首頭とし、爾來十年間民主黨の政見を左右せる銀本位民主黨(Silver Democrats)となれり。吾人若し公平なる眼を以て、一八七〇年代の初より一八九〇年代の中葉に至る迄の米國經濟史を觀察せば、鑄貨に關する種々の法規が金銀の價格に殆ど何等の影響をも及ぼさざりしのみならず、銀の價格は銀塊購入の量甚だ多かりしに拘らず漸次下落したり、一般產業界の狀況も、物價の變動も、事業の分量も、斯かる財政計畫に依つては殆ど影響せられざりしことを知るを得べし。尤も是等の財政計畫は道德上至大の影響を與へたり。米國通貨の信用恢復せらるゝや、事業勃興し外國貿易再び振起せり。これ實に銀本位主張者の意外とする處なりき。曩に銀貨が強ひて通用せらるゝや、米國に對する外國の信用は益減じ、而して米國の貿易を最も害したるものは銀貨其物の量にはあらずして、實は銀貨の量が如何なる點まで増加せらるべきかを外國が疑惧したるが爲めなり。然るにグリーンランド氏の英斷によりて米國財政の健全なる所以を再び世界に表明したるは大なる成功と云はざるべからず。

一八九三年には種々の原因相集りて恐慌を來したり。鐵道の濫設及び製鐵業の過度なる膨脹は非常なる反動を起し、全世界の市場に於ける商品の過剰は物價を下落せしめ、合衆國に於ける銀貨制度は世界の不信用を來して益、事態を惡しからしめたり。當時米國の凡ゆる企業が據つて以て立ちたる歐洲の資本は急に回收せられ、數千の事業は失敗し、負債に陥る者無數なりき。尤も眞の恐慌は長く持續せるにあらず。一八九三年のグリーンランド氏の銀貨問題に對する解決案は大に功を奏し、米國は國際間の信用を恢復したり。然れども一般人民の狀態は決して遽に改善せられざりしなり。然るに從來比較的小範圍の人々に依て議論せられたる銀貨問題は、全國民を刺激するに至り、一八九六年の大統領選舉競争には其主論争點は實に金貨本位問題なりしなり。而して銀貨鑄造に對する熱望は特に農民間に其傳播速なりき。これ生産過剰の爲めに苦めるは、製造業者よりも農民一層甚しかりしが故なり。製造業者が以前よりも一層安價に賣る商品の量は、製造方法の改良によりて以前よりも一層多量に製造することを得べく、且つその原料品も一層安價に購入するの道之なきにあらずと雖、農民の苦痛の種

となれる小麦、玉蜀黍等の價格の下落は、以前より一層深耕密培法を行ふに至れる結果にはあらずして、寧ろ耕作せらるゝ土地の面積が以前よりは大に廣くなる結果なりしなり。故に或州の農民は他の州の大農場が小麦及び玉蜀黍を耕作するに至りし結果として、其價格大に下落し、爲めに大打撃を蒙り、遂に其生産を止むるの已むを得ざるに至れるあり。されば製造業よりも農業は特に甚しく打撃を蒙れるなり。然るに農民は曩日小麦一把を賣て得たる金高は、今や二把を賣らざれば之を得ると能はざる事となりしを以て、これ全く通貨の量少きに因るものとなし、貨幣をさへ多く鑄造せば、穀物の價は騰貴して利益を受くべしと考へたるなり。

尙此外に獨り農民のみならず、凡ゆる階級の債務者を容易に惑はすが如き一説あり。即ち銀は金より一層廉なるが故に、若し負債にて支拂ふ時は債權者は損し債務者は利すべしと云ふにありき。加之當時大資本家と労働者との間の利害の衝突は、遂に激烈なる政治上の論争となり、多くの人民は疑懼を起し、遂に資本家、獨占業、特に株式市場に對して憎惡の念を抱くに至れり。

而してこの憎惡は銀貨鑄造に對する狂暴なる熱望の叫びとなりて現れたり。若し國會にして十六對一の比價にて銀貨の自由鑄造を許したらんには、當時市場の比價は三十三對一なりしが故に、一弗銀貨は五十仙にも當らず。さすれば農夫は實際僅に半弗の價なる小麦又は玉蜀黍を一弗にて賣り得る理なり。株式取引所の奸惡なる商人は、非常なる暴利を貪ることを得たりしなるべし。然るに是等の二個の議論は實際互に相撞着せり。何となれば農夫が銀貨を多くして利益を享け得んには、唯銀の市價が金の市價と同額まで引き上げられたる場合に限り、又債務者が債務の償却にて利益を享け得んには、金が銀の價まで引き下げられたる場合にのみ限るなり。然るに一般人民は唯だ如何にもして苦痛を脱せんと欲するより他念なく、迷妄に驅られて全く論理的精神を喪失したり。故に十六對一の舊比價に依つて、銀貨の無限鑄造をなすべしとの聲が、農民及び都會の下級人民を惑はしたるは、恰も現今獨逸の労働者が社會主義の爲めに惑はされつゝあると同様なりき。

然れども一般人民が斯くの如く大騒擾を極むるに至りしは、單に無智の狂熱者

が議論に基けるにもあらず、亦單に負債に陥れる農民等の援護によれるにもあらず。一八九〇年代の中葉に於て銀貨問題に關する議論は甚だ盛なりき。唯資本家を嫌惡せる人々の感情に訴ふる事は、充分の效果なかりしなるべく、又貨幣の數量のみが物價を支配すとの説の如きは、一度にして全く其誤謬を辯破せられたり。されば人心を煽動するには金力と智力との二によるを要せり。即ち一方に於ては、有名なる經濟學者等は金單本位制に或る缺點の存することを指摘して、複本位制の採用を奨勵し、他方に於ては、銀貨無限鑄造論者の運動費は銀鑛所有者の懐より自由に引き出されたり。勿論是等銀鑛所有者は若し銀貨論者の主張にして勝を奏せんには、非常なる利益を得べきこと明かなりしなり。かのブランド法案の發布せられたる頃には、非常に小なる銀鑛すら事業大に繁榮したり。平素富者に反對して貧民の權利を主張する論者も、銀鑛所有者の陰謀には一言も論及する處なく、銀鑛所有者も亦陽に自己の要求を主張せざりしも、其懐より軍費を支出して蔭より巧に其運動をなしたり。

吾人は第一篇に於て民主共和兩黨の特色に就ては充分に之を論じたり。資本家

の夫れに反對して貧民の權利を主張する運動として、銀貨問題が民主黨の政綱たる如く、之に對して共和黨は全く其反對の地位に立てり。而して一八九六年及び一九〇〇年の二回の大統領選舉に於て、國民は銀貨問題に就て大に争ひしが、勝利は終に金本位論者に歸したり。一九〇〇年三月、大藏省は凡て合衆國政府の證券を金貨に引換ふることとなりたるが故に、流通せる凡ての貨幣は全く同一の價值を有することとなり。現今流通しつゝある四億五千萬弗の舊銀債券は何時にても金貨と引換ふることを得べし。大藏卿は最近の報告に於て、一九〇三年、株式相場が急激の大暴落をなせるも、尙恐慌を免れ得たるは、實に此賢明なる大英斷の結果なることを明示したり。斯くの如くにして米國の財政は全く金本位となれり。

現今通貨の物質的情況或は學者の専ら研究しつゝある複本位制の得失に就ては吾人茲に之を論ずるの意なし。尤も特に東洋貿易の爲め、及び金に對する世界各國の競争を緩和する點より見て、制限的複本位制度の重要なことに就ては、思慮ある人々の大に討究しつゝある處なり。此を以て合衆國政府は特別委員を

諸外國に派遣し、貨幣として銀を認むる爲め國際的協約をなすを希望することを勧誘せしめたり。

但し凡て是等は吾人の關する處にあらず。吾人は單に社會運動として、銀貨問題を論ずるに在り。蓋し國民を動搖せしめたること本問題の如きは他にあらず。かの膨脹政策も、帝國主義も、銀貨問題程に一般人民の注視を引かざりしなり。若し再び恐慌の時代起るが如きことあらんか、本問題は或は復た再び起るやも知るべからず。今日と雖銀貨熱は敢て全く消滅し終れるにあらず。西部地方の人民は現今の豊作に謳歌し、金を獲得することに忙殺せられて敢て餘事を考ふるの暇なく、爲めに一時之を忘却し居れるのみ。

第二節 關稅問題

抑、銀貨問題は曩日非常に重要にして複雑なる問題なりき。而して此問題の凡ゆる難點を知悉して之を論じたるものは洵に尠かりしなり。然るに關稅問題は全く之と趣を異にし、將來何時にても政治上の主論争點となることを得べく、保護

關稅の問題は其含蓄する所の觀念甚だ簡單なり。

元來議論は主義及び動機の衝突より起るものにして、保護政策の效果に關する意見の衝突より起れるにあらず。關稅を拂ふ者は外國人なりとの説は、外國に於けると等しく、米國にても亦屢主張せられて、往々複雑なる激論を起すに至れり。然れども殆ど學術上の問題と云ふべきものなく、寧ろ職業、地理上の位置、政治上の確信等の相異により、其人々の感ずる處を同らせざるに依るなり。又此問題は保護關稅と自由貿易との論争にあらずして、寧ろ保護關稅の程度の問題なり。何となれば合衆國は既に建國の初めより、外國との競争上國內の勞働保護の目的を以て、國庫の必要以上に高率の關稅を課し來れるが故なり。

保護政策は合衆國建國以前の歴史に屬し、聯邦の建立の爲め大に與つて力ありしものなりと云ふを得べし。植民地時代にありては、英國は米國の産業を禁壓せんと欲したり。然るに獨立戦争によつて事態一變し、産業漸く發達し、既に戦争の終局以前に於ても、多くの州に於ては産業勃興し居たりしなり。されど英國の羈絆を脱するに及び各州皆利害關係の相異よりして、互に關稅制度を設け、以て相

互の交通を妨げ、國內に於ける關稅戰爭甚だ激烈なりき。然るに其頃迄は未だ共同の利害を代表し、公衆の安寧幸福の爲めに齊一の歳入を定め、國內産業に對して齊一の保護をなすが如き中央主權の存在なかりしなり。然るに愈、聯邦を組織し、各州皆其權利を聯邦に委ぬるに當り、最も重要な問題の一體なれるは經濟の發達を阻害するが如き各州の間の關稅を廢止し、産業の齊一的保護を樹立するにありき。一七八九年の關稅法律には先づ國庫の歳入上必要なる關稅、即ち米國人が其製造に競争せざる物品に課するものと、次に米國の産業を保護する爲めに設けたる他の關稅を置けり。

斯くの如く初めより保護關稅主義は合衆國の政策となれり。而して其後百二十餘年の間、米國人民が常に固く此政策を執りて變らざるを見れば、米國內外の狀態が保護政策を必要としたること疑ふべからず。元來米國には銅鐵、木材、獸皮、羊毛等無限の天産物あるのみならず、炭礦、石油坑、瀑布の如き動力の供給も亦殆ど無盡藏にして、若し之なくんば米國産業の獨立は得て望むべからざるなり。而も樂天的特性を有する米國人民が、其不撓の精神と發明的天才と自主の精神と

を以て、斯かる富源饒多なる地に住す。米國人民は昔に田野を耕作し、原料品を産出し、商業に従事するのみならず、又大に其産業を發達せしむべき使命を帯ぶるものなり。故に假令産業を營まざる地方及び産業に従事せざる人々が、之が爲めに多少不便を感ずるとも、尙産業の發達を幫助すべき法律を通過するは、米國人民に取りて寧ろ當然のことなりしなるべし。

一旦斯くの如き針路に就きたる米國は、益、保護關稅を獎勵し、一八〇四年に至ては此目的を以て鐵及び玻璃製品に課税したり。尤も十九世紀の初葉に於ける主なる關稅の増加は、概して國庫の收入を増さんが爲めに企圖せられたるものにて、特に一八一二年の戰爭は凡ての關稅を倍加せしめたり。然るに此戰爭は愛國心と國民の自覺心とを刺激し、内國の産業は今や愛國的狂熱を以て保護せられ、爲めに一八一六年に至り綿製品、毛織物及び鐵器の關稅は保護の目的を以て増加せられ、其後一八三〇年代の初め迄は相次て新稅目を加へたり。然るに關稅の増率によつて殆ど何等の利便を享けざる南部諸州に先づ反動起り、爲めに過重の關稅は多く輕減せられ、四〇年代の初頃には關稅約二割を減ずるに至れり。

恰も此時關稅を高くすべしとの説と之を低くすべしとの説とは政治上の大問題となり保護關稅及び關稅低減は二大政黨の政綱たりき。然るに一八四二年保護主義の政黨政權を握るや、直に鐵紙玻璃綿製品及び毛織物に高率の關稅を課したり。然るに四年の後、民主黨之に代りしかば、關稅も亦多少低減せられたり。然れども保護主義の原則は尙變ずる事なく、乃ち國內に産せざる茶及び咖啡には課稅せざりしも、製造品には平均三割の關稅を課したるに見るも明かなり。其後民主黨の主義勢力を得て、一八五七年には羊毛も亦無稅となるに至れり。然るに此時恐慌起りて輸入の額減少し、爲めに關稅の收入減少せるを以て此に再び關稅増率の必要起り、共和黨は國會に多數を占め、一八六一年所謂モリール關稅法(The Morrill Tariff)なるものを制定したり。此法律は勿論保護の目的より出でしとは雖、亦大に共和黨の勢力を張らんが爲めにして、自黨に引入れんと欲する州の産業を保護するものなりしなり。之に次て、愈々奴隸戰爭となり、戰費非常なる巨額に達せしかば、凡ての關稅及び租稅を大に増加するの必要を生じたり。

一八六四年の戰時關稅は元來歳入増加の爲めに制定されたるものなれど、亦大

に保護主義の效果ありき。既にして戰爭の終るや、財政の許す限りに於て、關稅の輕減をも亦行はざるべからざりしも、而も産業界は從來の保護に慣れ、一人として關稅を減少せんと欲する者あらずき。乃ち其後數年の間に於て毛織物、銅器等の關稅率は非常に増加せられ、一方には茶及び咖啡の如きは再び全く無稅となりたり。

概言すれば一八八三年迄は關稅率の變動して更に定まらざる時代なりしが、同年に至り其全部の修正を行ひ、或るものは増加し、或るものは低減し、特に高價の精製品には非常に高く、之に反して一般人民の使用する廉價品には割合に低き稅を課するに至れり。然るに後幾何もなくして自由貿易主義民主黨 (Free Trade Democrats) の首領グリーヴランド氏大統領となり、有名なる保護政策反對の教書を國會に下したり。斯くの如く關稅問題再び喧傳せらるゝに至れる後、計らずも共和黨大勝利を占めて政權を握り、前代未曾有の極端なる關稅制度を設け、嘗に現存の産業を保護するのみならず、將來發達の望ある産業すら保護するに至れり。而して砂糖の如きは從來單に歳入の目的とし、敢て保護主義の爲めに課稅せ

るものにあらざりしが故に、此に全く無税となし、之に反して内國にて製造せらるゝ殆ど凡ての製造品、特に天鵝絨、絹布、毛織物、金屬器の如きは、高率の關稅を課して非常に之を保護するに至れり。これ即ち有名なるマッキンレー關稅法 (McKinley Tariff) なりとす。

然るに次の大統領選舉に於て民主黨勝を制し、再び關稅を引き下げたり。而して久しき爭論の結果所謂ウィルソン關稅法案 (Wilson Tariff Bill) 發布せられたるが、此法案を通過せんが爲めには、勢力ある多くの産業家と妥協の必要甚だ多かりき。されど概して關稅は大に低減し、且つ多年課稅したる羊毛の如き原料品も亦初めて無税となれり。然るに民主黨の勢力久しからず、一八九六年度はマッキンレー氏の手に落ち、翌年に至り彼の所謂ディングレー關稅法案 (Dingley Tariff) 議會を通過したり。これ即ち今日尙實施せられ居るものなり。

關稅より得る歳入總額は、一九〇二年には二億五千一百萬弗にして、一九〇三年には二億八千萬弗なりき。今前者の金額を精査するに、此關稅が合衆國の歳入全額の上に如何なる關係ありやは其年度に於ける酒類、煙草等の内國稅額二億七

千一百萬弗、郵便收入豫算一億二千一百萬弗と比較せば自から明かなるべし。又二億五千一百萬弗の關稅を政府の分類法に従ひ、五目に分つ。即ち第一目は家畜類、麵粉、砂糖にして、其中砂糖を第一とし、五千二百萬弗なり。一八九五年の砂糖稅は一千五百萬弗なりしが、一九〇一年には六千二百萬弗となれり。又一九〇三年には砂糖の次に果實五百萬弗、野菜三百萬弗、獸肉、魚類及び米、各、一百萬弗の收入ありき。第二目は原料品にして、羊毛一千〇九十萬弗、獸皮二百六十萬弗、石炭一百萬弗等にして、其他のものは言ふに足らず。第三目は半製品にして、化學品五百四十萬弗、薄葉鐵二百九十萬弗、木製品一百八十萬弗、生絲一百十萬弗、毛皮一百萬弗なり。第四目は完製品にして、麻布一千一百萬弗、毛織物一千三百萬弗、綿布一千萬弗、金屬製器具六百萬弗、陶磁器五百六十萬弗、革製品三百十萬弗、木製品及び紙製品各、一百萬弗なり。第五目は奢侈品にして、煙草一千八百七十萬弗、絹布一千六百萬弗、紐線飾類一千三百萬弗、酒精飲料一千萬弗、寶石類二百四十萬弗、羽毛一百四十萬弗、玩具一百三十萬弗なり。而して此年度に於ける輸入總額は九億〇三百萬弗にして、内三億九千六百萬弗は無税にて輸入せられたるものなり。且つ此無税

輸入額の内十分の一は既製及び半製品にして、十分の九は食料品及び原料品なり。されば關稅は輸入額五億〇七百萬弗より徵收せられ、而も關稅總額の六割四分は製造品に課したるものなり。斯くの如くにしてデングレー關稅法は保護政策上に於ける大勝利なりしなり。

今日に於ては關稅を之より以上に高くせんと欲するものは一人も之あらず。而して民主黨は常に之を低減せんことを試みつゝあり。故に今日の實際問題は關稅を此儘に置くべきか、又は之を低減すべきかの二つのみ。而して共和黨の主張は殆ど之を否定し難きものあり。彼等は曰く、米國保護政策の歴史は即ち米國産業發達の歴史なり。米國の産業が高率の關稅に依つて保護せられたる時代は、これ産業大發達の時代にして、自由貿易主義者が關稅を廢したる後には必ず米國の産業界には不景氣、沈衰、恐慌來れるにあらずや。マッキンレー及びデングレーの關稅法は未層有の高率なる關稅を課したり。而も此法律に依つて米國は未曾有の迅速にして活氣ある經濟的發達をなしたるなり。若し毛織物の關稅廢せられれば労働者は今よりも一層安價にて衣服を買ふことを得べしと云ふの要何處

にありや。何となれば若し關稅廢せられて全く自由貿易とならんか。労働者はその職を失ひ、妻子路頭に迷ひ、如何に廉價の衣服あると雖、之を購ふこと能はざるに至るべし。然るに今日彼等は如何なる高價にても之を購ひ得るにあらずやと。尤も高價の衣服の購ひ得らるゝ高き賃銀と安價の衣服をも購ふに足らざる低き賃銀と、二者孰れを選ぶべきかに就て考ふるに、保護論者は高率の關稅を課したる時賃金は實際騰貴すれども、之に反して衣服の價は騰貴せざりしことを證し、以て益、其説の有力なるを明かにするを得べし。然れども又一方に於て極端なる自由貿易論者も、保護論者と同様に自由貿易制度の下にありては、衣服は實際大に廉價となり、而も一方に於て賃金は結局高くなるべきことを證明するを得べし。

現今非常に隆盛となれる或種の産業は、若し保護政策によらざりせば到底存立するを得ざりしと疑ふべからず。民主黨も亦よく之を知れり。然れども強て斯かる種類の産業を保護し、果して國家の爲めに利せしや否やは、これ民主黨の大に疑ふ處にして、かの保護關稅に依つて産業の大合同を強ひ、一般人民日常の食物

及び其他必需品の價を不當に高めたるが如きは決して賀すべきにあらず、確に害毒を社會に流すものなりと信ず。

保護政策は嘗に多くの産業を保護したるのみならず、又種々の産業を創始するに與つて力ありしことも疑なき事實なり。思ふに薄葉鐵の如き其好適例なるべし。初め合衆國はウェールズ(Wales)より非常なる高價にて工業用の薄葉鐵を購入せるを以て、前後二回之が製造を試みしも、直ちに英國品の爲めに壓倒せられて大失敗に終れり。然るにマッキンレー關稅法は薄葉鐵に七割の關稅を課し、漸く内國製品を發展せしむるを得るに至れり。一八九一年には薄葉鐵の輸入額は十億三千六百萬ポンドにして、國內にては全く産出せられざりしが、後二年にして輸入額僅に六億二千八百萬ポンドとなり、内國にて一億ポンドの製造を見るに至れり。十年の後に至りては輸入額は尙減じて一億一千七百萬ポンドとなり、八億九千四百萬ポンドは内國にて製造せられたり。懷中時計も亦薄葉鐵と等しく數年前迄は全く輸入品のみなりき。而して當時にありては之を一の奢侈品となし、單に國庫收入の爲めに一割の關稅を課せり。然るに國會が之に二割五分の課稅

をなすに至り、時計製造業は又國內に起るに至れり。而して初めには歐洲品を模造したるも、米國人は直ちに其獨得の發明的天才を應用して精巧なる時計製造機械を案出し、今日に於ては歐洲品よりも遙に良好なるものを却て廉價にて製造するに至れり。其他絹布製造業の如きも亦等しく保護政策の下に發達し來れりと云ふを得べし。

然るに自由貿易論者は曰く、以上の如き保護政策は農業時代より工業時代に移る過度時代に於ては甚だ佳ならんも、今や既に一大變化を経て、我國の工業は大に隆盛となり、外國と充分に競争するを得るに至れる以上は、慢に物價を騰貴せしむるが如き過重の關稅は之を廢するを佳とす。

共和黨は此點に於て多少悲觀的の考を有せり。米國の工業は非常の速力を以て進歩し、其輸出總額中の三割が製造品となれるは事實なれども、未だ之を以て安んずべきにあらず。又近年世界各國の物價下落し、英國の工業一時萎縮したる等、米國製造品の輸出を増加するに最も好機會を與へたるは事實なりと雖、斯かる状態は決して永續を期すべからず。米國の産業は未だ以て國內市場の需要を充

すに足らず、恰も米國の鐵及び鋼鐵が外國の市場に勝を制せんとせる時に當り、内國の需要遂に増加して、却て大輸入を見るに至れり。一九〇〇年より一九〇三年までの間に於て、鐵及び鋼鐵の輸出額は二千五百萬弗を減じたるに、其間に於て輸入額は三千一百萬弗を増加したり。斯くの如く最も有力なる産業と雖、尙外國の競争に對して大に之を保護するの必要あり。トーマス・リード氏(Thomas Reed)曰く、保護政策を以て醫藥の如きものなりと考へ、病の許す限りは成るべく早く之を廢すべしとなすは全く誤れり。抑、保護政策なるものは醫藥にあらずして滋養物なりと。高率の關稅は、啻に幼稚なる産業を擁護保育するに止まらず、終生之を助長すべきものなり。保護關稅は一時的便宜の手段にあらずして、米國の市場を以て米國人の市場となすべき制度なり。保護政策は一大城壁の如く、米國人民は此城壁に據つて以て、産業的活動をなし、且つ賃銀の如きも、歐洲に於けるよりは絶對的にも、亦相對的にも、之を高からしむるの計營をなすべきものなりと。右の如く共和黨は保護政策によつて大成功を得たる點を楯として論ずるが故に、最近數年間に於ける産業界繁榮の時代に於て、此有力なる議論に抵抗せんこ

とは甚だ困難なり。現行の關稅制度にして若し變更せられんには、輒近の繁榮發達は忽ちにして終滅に至らんことは皆人の惧るゝ處なり。若し近年困難の狀態に陥れる者ありとせば、投機業者及び會社の重役等其最たるものにして、最等の人々は殊に關稅の廢止を望まざるべし。事情斯くの如くなるが故に形勢非にして、自由貿易論者はデングレー法に反對するの意氣阻喪せり。元來彼等は全くウールソン法に満足せるにあらず、同法が元老院に於て六百四十の修正を受けて辛く通過したるにより、之を以て民主黨の法案となすべからずと云はむも、而も前民主黨の法律は國民皆之を喜ばず、次同大統領選舉に共和黨勝利の種となれることは、自由貿易論者の亦認むる處なり。されど民主黨は共和黨の議論を以て非理なりとす。民主黨の云ふ所によれば米國の繁榮は其原因敢て保護關稅にあらずして、實は其豊富なる天産物と人民の知識及び精力に在り。教育の發達、自由の政治、開拓的熱心、鐵道の布設等、これ即ち米國をして偉大且つ繁榮ならしめたるものなり。若しそれ法律によりて米國の繁榮を致せりとせば、それは却て自由貿易主義の法律なりしなり。何となれば共和

黨は米國繁榮の主因が四十五州に行はれつゝある絶對的自由貿易主義に存することを全く看過せるにあらずや。若し各州互に他の州に對して關稅法を制定すること、恰も米國が世界各國に對するが如く、或は歐洲諸國が他の國々に對するが如くならんには、米國今日の産業は如何なりしかを想像せよ。東はメーンより西はカリフォルニアに至り、南はメキシコより北はカナダに至る迄、全く自由貿易を行ひ、法律上何等の阻礙を與へず、關稅を拂ふことなくして、天産物及び製造品を自由に交換するを得て、此に米國の産業は今日の繁榮を致せるなり。之を全世界に適用するも亦全く同様なりと。これ民主黨の主張する所にして、彼等は英國の如くに自由貿易に依つて利益を求めんと欲するなり。且つ曰く、各國民は唯世界との自由競争に充分堪へ得べき産業のみを營めば、結局大成功を成すを得べし。勿論、我國の關稅を廢せば或る種の産業は休止し、其労働者は恰も新機械の發明せられたる時、又は運輸の方法改良せられる時と等しく、一時職を失ふに至るべく、故に關稅廢止の直接の結果は労働者より其労働を奪ふこととなるべし。と雖、暫時にして又補償作用起り、自動的に新状態生じ、一層多くの労働者に一層

有利なる労働を提供するに至るべし。自由貿易主義を採用せば、米國は國內市場の一部を失ふべしと雖、其代償として又外國の門戸を一層多く開放せしむることを得べく、遂には米國の全生産額は一層大となり、日用品は一層廉價となり、労働者は少く労働しても尙前と同一の物品を購ふことを得べく、且つ其賃銀の標準を改正して以て外國労働者と競争するは決して難事にあらざるべしと。然れども斯くの如き理論は今日に於ては到底容れられず。保護論者は高率の關稅を課するに拘らず、輸入額が漸次増加しつゝある事實を挙げ、高率の關稅が必ずしも外國品を排斥するものにあらざる事を明かにするを得べし。デングレー法の施行されつゝある一九〇三年に於て、管に原料品のみならず、半製品、完製品、奢侈品の輸入額も亦會てウルシン法の下に輸入せられし原料品の額は、一八九七年、其頂點に達して二億〇七百萬弗なりき。而してデングレー法實施の初年には一時減じて一億八千八百萬弗となりしも、其後遂に増加し、一九〇二年には三億二千八百萬弗、一九〇三年には三億八千萬弗となれり。完製品の輸入額も初めは一億

六千五百萬弗より九千四百萬弗に減じたれども、一九〇三年には一億六千九百萬弗に増加したり。奢侈品も九千二百萬弗より七千四百萬弗に減じたるも、其後漸次増加し、一九〇三年には未曾有の多額に達し、一億四千五百萬弗となれり。然るに民主黨の前途は稍、好望となれり。米國民は敢て自由貿易主義に傾くにあらずと雖、關稅改正の必要を感じ、或稅の輕減、又他國と互惠條約の締結せらるゝ限りは或稅の全廢をも必要とせり。前年の貿易差額は到底永續すべからざる運動を示すものなること明白にして、米國は買はざる國には賣ること能はざるべし。米國は他國の債權者となるの利益ならざるを發見すべく、且つ他國と親密なる通商條約を締結して、雙方共に利便を享受するを以て寧ろ賢明なる政策なりとするに至るべし。互惠通商が實に民主黨のみの理想にはあらずして、實に全國民の無意識的に希望することは、マッキンレー氏が其最後の大演說に於て之を漏らしたる事實に徴するも明かなり。

マッキンレー氏は未來の政治的傾向を最も能く豫知せる人にして、氏の偉大なる常に人民の未來に對する希望を豫言せるにあり。一九〇一年九月五日、氏はバッファ

ロー博覽會に(Buffalo Exposition)於て有名なる演說をなせるが、その中に曰く「吾人は永久凡ての物品を外國に賣り、而も何物をも外國より買はざることを得べし」と考ふるが如き妄想に陥るべからず。假に斯かることありとせば、我國にとりても亦外國に取りても決して最良最善のことにあらざるなり。吾人は我國の産業及び勞働に害をなさざる物品を得意先なる外國より求めざるべからず。互惠通商は確乎たる内政の下に驚くべき進歩をなせる我國産業發達の自發の結果なり。我國内の消費高以上に生産せられたるものは必ず之が販路を海外に求めざるべからず。吾人は何處にも其販路を求むべく、且つ購買して我國の販路と生産とを擴張するが如き場合には何處にも亦買はざるべからず。斯くの如くにして國內勞働の需要益増加すべし。排外の時代は去れり。我國の通商貿易を擴張する事これ今日焦眉の問題なり。商業戰爭は却て不利を招くべく、列國と友交を厚らし親密なる通商關係を結ぶは、これ互に復讐的政策を放棄する唯一の方法なり。互惠通商條約は時勢に最も適するものにして、復讐的政策は時勢の要求に反せり。若し我國の或る關稅が歳入の爲めにも或は亦國內産業の保護獎勵にも最早

必要なしとせば、吾人は奚ぞ之を廢して以て我市場を外國に發展せしむるの途を講ぜざると。

選には保護政策を主張して以て大統領に選舉せられたる氏は、今や斯くの如く互惠通商を主張するに至れり。氏にして若し兇手に斃れざりしならんには、更に進んで共和黨を率ゐ、高率の關稅を廢し、以て互惠通商の樹立を全うしたりしも知るべからず。然るに氏の逝て後、又其遺志を繼ぐ者なし。

マッキンレー氏の職を嗣ぎたるルーズヴェルト氏は、通商問題に對しては特に興味を有せざりき。加之氏は互惠通商の如き新政策を共和黨の政綱中に入れ得るが如き大なる權威を黨中に有せざりしなり。且つ氏は大産業會社よりして大に疑はれ居ゆしが故に、若し氏にして關稅の輕減を希望せる共和黨員の首領とならんか、直ちに自由貿易論者と認められ保護を受けつゝある米國の産業に對して同情なき者とせられたるべし。加之反對論者等は氏を威嚇し、若し關稅を輕減するが如きことあらんか、恐慌は忽ちにして起るべしと。

若し關稅問題再び生起せば、論爭相次ぎ、其極る處測るべからざるものあらんと

は皆人の想像せる所なりき。關稅問題に於て各産業が専ら自個の利益を求むるに汲々たることは、かのウールソン關稅法案の提出せられし時、其通過する迄如何に長く且つ劇しく論爭せられしかに徴するも明かなり。若し國民が不安の念に驅られ、産業界が將來の成果如何を危み、國會が或は保護政策を廢するやも知れずと云ふが如き事あらんか、全産業界が爲めに非常なる打撃を蒙るに至るべきは皆人の認むる所なりき。斯くの如くなるが故に今後數年間は何等の新企畫をなすこと能はず、且つ其結果如何は兎も角、單に不安の念のみにては、産業界は打撃を蒙り恐慌を起すべし。加之所謂米國の互惠通商なるものは畢竟一種の慈善的行爲にして、カナダ及びハワイの例に就て之を見るも、單に米國の側に於て慈善的行爲たるに過ぎざるを示せり。

米國にして若し眞に慈善を施さんと欲せば、他に種々の方法あるべし。然れども米國が自國の通商の利害と産業の隆盛とを保護せんと欲せば、決して再び關稅問題の紛争を起して産業界を疑惧不安の念に陥るべきにあらざるなり。上述のマッキンレー氏の演説は、纔に共和黨に微弱なる反響を與へたるに過ぎずと雖、而

も氏が本能的に感得したる所の必要は敢て減せずして輿論はよく之を知れりたゞ何時輿論が政黨の意見よりも一層強大となるべきかの時期の問題あるのみ。

尙此外保護政策の反對者に取りて好機會の存するあり。民主黨は曰く、高率の關稅はトラストに利便を與へたりと。然れどもこれ或は然らん、或は然らざらん。統計表は雙方の事實を示せり。然れども、トラストが一般人民に嫌惡せらるゝは事實にして、之を其標語となす政黨は大に人心を收攬するに足るべし。而して高率の關稅を廢せば、不法の利益を食り暴虐を恣にするトラストが其死命を制せらるべしとの考は、日々一般人民間に播がりつゝあるなり。之に對して保護論者が米國には眞の獨占業なるものなく、不當の價格は直ちに競争を誘致し、不當の價格を食るトラストは之が爲めに害はるべしと辯明し、且つ保護政策は獨り大會社のみならず、小弱なる會社にも等しく利便を與ふるものにして、自由貿易主義の法律によつて大會社を害せんとせば、亦直ちに小會社をも併せ亡ぼすものなる事を辯證するとも何等の効ある事なく、トラストに對する反感は依然として

存すべし。特に今日保護政策に反對する動機中一般人民に最も有力なるものは實にトラストに對する嫌惡心なり。次にトラスト問題に移りて論ずる所あらんとす。

第三節 トラスト問題

トラストは兩政黨より嫌惡せられ又保護せらるゝ一種不可思議なるものにして、敢て甲黨之に反對して乙黨之を贊助すと言ふにあらず、兩黨共に公然之を嫌惡しながらも、陰然好意を表するの痕あるを見る。然れどもこれ決して故意に自ら欺きて斯かる矛盾を生ずるにはあらざるなり。

勿論斯かる矛盾の多くは政略上より來るものなること明かなり。多くのトラストの弊害危険あることは明白にして、民主共和の兩黨共に公然之を賞讃するものなしと雖、其勢力甚だ大なるを以て、兩黨共に敢て斷然之を排斥すること能はざるなり。若し之と斷ち其怒に觸れんか、運動費の出所を失ひて大に苦めらるゝに至るべし。尤も政黨が敢てトラストと斷たざる眞個の理由は單に斯かる利益

問題にあらずして、寧ろ其弊害と危険とを除去すべき良法なきによるべし。或は一時其弊害を除くべき姑息の手段を取らんと欲する者あり、或はルーズヴェルト氏の如く全くトラストを禁壓して以て弊根を絶たんと欲する者ありと雖、發明的天才を有する米國人民が、尙未だこの大問題を解決するに至らざるの事實より見れば、思ふにトラストは米國社會の有機的状态より生じたる必然の結果にして、如何に法律によつて之を禁壓せんとするも、得て其存立を絶つこと能はざるべし。

往昔エリサベス女皇がアングロサクソンの法律の精神を破り、一年間に約五十の獨占業を起し、爲めに或る物品の價を二倍となすや、一六〇一年下院は之に對して抗議をなしたるにより、女皇は嚴肅に、以來産業の自由を危うするが如き特權は凡て之を廢止すべきことを宣言し、其時よりして獨占業は全く廢棄せらるるに至れり。然るに現今米國の獨占業は殆ど三百年前の英國に於けると同様の結果を生じたり。然れども米國は英國と異り、其人民即ちこれ主權者なるが故に、彼等は自ら許可せる獨占業を廢止するの宣言を發すること能はず。兎に角彼等

は之を甲より奪へば、乙直ちに代つて之を始むるを知れり。尤も現今の如き形式のトラストは將來に於て或は不法なりとせらるゝ事あるべしと雖、而も之と同一の目的を達せんが爲めに、或る他の形式を以て再び現れ來るべし。自由貿易主義の法制によつて解放せられたる或る經濟上の諸勢力は、他の點に於て集合すべし。吾人は其外形よりも事物の真相如何を究むることを肝要とす。

元來トラストの本質は其反對者が云ふ如く、少數者が多數者を犠牲にして以て自ら富まんとするにあらず。其運動の本質は富の分配にあらずして、權力の分配に在り。乃ちトラストの起るは、近年經濟的勢力の管理を集中せざるべからざる必要より生ずるものにして、その爲めに大資本家が格外の大利潤を獲得し、トラスト王等が國中の最大富豪たるが如きは、單に之に伴ふ附從的結果たるに過ぎるなり。されば是等大資本家又はトラスト王等は畢竟信用によつて其地位を得たるものと云はざるべからず。近年小企業を併せて大合同を組織し、之が管理を全うする必要起るや、斯かる強大安固なる合同をなさんと欲せば、當然産業界に信用を有し勢力を握れる大富豪の力を俟たざるべからず。然れども斯くの

如きは寧ろ唯附從的結果にして、假令彼等が自ら其事に當らず、其代理人をして其信用の地位に立たしむるも亦同様の結果を生ずべし。經濟界の其他の方面に於ても亦殆ど之と同様のことあり、多くの鐵道會社は漸次合同して大會社となり、その基礎を鞏固にし、その管理は少數者の手中に歸し、遂に今日モルガン(Morgan)、サンダービルト(Vanderbilt)、ロックフェラー(Rockefeller)、ハリマン(Harriman)、ゴールド(Gould)、ヒル(Hill)、カサット(Cassatt)等少數の大鐵道王が、米國鐵道の全部を管理するに至れり。今假に國家が凡ての鐵道を所有し、斯かる一群の富豪の代りに一人の鐵道長官を置き、之に少額の俸給を與へ、彼をして之を管理せしめればとて、尙鐵道に於ける此經濟的運動は止まざるべし。これ全國民は其貯金を是等の事業の爲めに放下して、成るべく多額の利益を得んと欲し、而して之を爲すには其管理を集中するの外道なきを以てなり。トラスト管理者の富豪なることは、一般人民の非難の種となると雖、而も退きて考ふれば富豪の財産は、往々その他の諸階級の繁榮と同一の速度を以て増加せざるを見る。且つ合同會社は、管理の集中によつて一層多く利潤の配當を社會全

體になすに至ることは、明かなる事實なり。有名なる合衆國鋼鐵會社(United States Steel Company)の株主總數は、一九〇三年に於て六萬九千人あり。又米國全體の道株券を有する者は百萬人以上あり。例へば、ペンシルヴェニア鐵道のみにも株券所有者の數は三萬四千人にして、其管理を數人の資本家の手に委ね居れり。斯くして數萬人の株主を有する米國全鐵道の管理は、僅に十數人の掌る處となり、六萬九千の株主を有する合衆國鋼鐵會社も亦僅に二十四人の理事によつて支配せられ、是等の理事は又監督總理、會計總理各一人によつて指揮せらるゝなり。故にその主たる點は所有權の集中にはあらずして、管理權の集中にありと云ふべし。

銀行業に於ても亦同じく合同運動起れり。而してこれ亦敢て少數者の其利益配當の大部分を受くると云ふにあらずして、唯其管理を集中せんが爲めに數多の金融機關を少數者の手に委ね、銀行相互間の協力によつて社會公衆は愈、利便を享け、銀行の基礎は益、安固なるに至る。例へば、商業銀行(Bank of Commerce)の理事中には七億五千萬弗の資本金を有する二生命保險會社の理事もあり、又八個のト

ラストの理事もあり、是等トラストの理事は同時に又他の銀行の理事をも兼任せるが故に金融機關の連鎖甚だ完全なりと云ふべし。而して是等の理事は多少又モルガン氏の支配の下にある有様なり。又ロックフェラー氏の主宰の下に「ナショナル・シティ・バンク」(National City Bank)を中心とせる銀行合同組織あり。斯くの如くなるが故に、銀行間に於ける是等の個人的關係は亦産業界の企業にも鐵道會社にも及ぶべし。例へばロックフェラー氏の勢力は常に銀行及びトラスト(その資本金總額四億弗以上にして、就中有名なる「スタンダード石油會社」(Standard Oil Company)の資本金一億弗、「ラッカウナ鋼鐵會社」(Lackawanna Steel Company)の資本金六千萬弗、「ニュー・ヨークの瓦斯會社の資本金一億四千七百萬弗等なり)のみならず、「セント・ポール」(St. Paul)鐵道(その資本金二億三千万弗)、「ミズリー鐵道」(Missouri Pacific)鐵道(一億一千二百萬弗)をも亦支配しつゝあるなり。

現今の狀態にあつて斯くの如き大勢力を得ん事は實際大資本を有する人にあらざれば到底能はざる處なりと雖、其主なる點は常に必ず管理權の集中にあり。

これ如何なる産業に於ても必須缺ぐべからざる處にして、所有權如何の問題の如きは、抑、又未たるなり。合衆國鋼鐵會社の理事二十四人は、外に二百餘の會社にも管理權を有し、尙その他全國中の大銀行、鐵道の約半數、大石炭會社、大石油會社、大電氣會社、主なる電話會社、運輸會社、生命保險會社にも亦勢力を有すと稱せらる。故に是等二十四人の理事は總計九十億弗の資本を有する諸會社を管理するものにして、斯かる鞏固なる組織を強ひて法律によつて廢止せんとするも到底不可能の事なりと云はざるべからず。

過去數十年間に於ける米國經濟界の發展に伴ひ、經濟上各方面の利害關係を接合するの必要ありとせば、シンデケート(Syndicate)及びトラストの發達は其要求を充さんが爲め必然の結果として生じたるものなりと云はざるべからず。而してトラストの組織せらるゝを妨止せんとするも、それは斯かる合同組織の形式には或は影響すべけむも、其本質には到底影響すること能はざるべし。實際形式其物は從來已に數度も變更したり。初め數個の株式會社が合同して、其事業を一の新會社に委託したることあり。而してこれ亦一種のトラストなりしこと疑ふべ

からず。然るに多くの州の法律によれば、州は株式會社が其營業免狀に指定しあらざる事をなさば之を取消すことを得べく、且つ株式會社は個人の如くに其財産を他に委任するの權利なし。故にトラストを組織せる株式會社等が州の法律に由つて解散せらるれば、トラストも亦自然存立せざるに至るべし。斯くして以上の如きトラスト組織は打破せられたり。かのニューヨーク州が「砂糖トラスト」に對し、オハイオ州が「スタンダード石油會社」に對し、イリノイ州が「シカゴ瓦斯會社」に對し、訴訟を提起せるは皆此理由に基けるなり。

然れどもこれ亦全く無効に歸するに至れり。假令法律上會社はトラストを組織せんが爲めに合同することを得ざりしも、而も個々別々の株式會社を管理せる株主等が個人として合同するを妨げず、斯くして事實上のトラストたる一新會社を組織するに差支なきが故に、一旦打破されたるトラストも亦斯かる形式に於て再興するに至れり。加之數個の株式會社が單に表面上解散して一大會社となるには何等の妨なく、或は又別々の株式會社として存立するも、尙他の株式會社と重要な商業上の協約をなすを得べきが故に、これ又其本質に於てトラス

トと何等異なる所なし。一言以て之を云へば、多くの企業を一管理の下に集中し、事實上之を獨占となすべき方法は種々あるなり。

トラストの發達を増進するには、先づ其成功を示すに若くはなし、初めて組織せられたるトラストにして成功し、利潤を増すべき望さへあらば、直ちに之を模倣するもの相踵て起るべし。實際トラスト組織の模倣熱は殆ど狂氣の如く傳染的に擴がり、何等利潤を増すべき豫望なきものすら、トラスト組織を成すに至り、一九〇三年には純然たる産業トラストの數二百三十三個に達し、其資本總額九十億弗餘に及び、内三十一個は各、五千萬弗以上の資本を有せり。

斯かるトラスト組織の運動は、一見米國人民一般の理想と大に相適するが如く見ゆべし。豊富なる天然の財源は國民をして萬事規模の大を好ましめ、又其強盛なる自發の精神は個人が協同團結の權利を主張し、共に凡ての協力を歓迎せざるはなし。然るに今や同じく自發の精神よりして全く反對の傾向表はれ來れり。即ち自由に活動することを得る個人は、自己の力を用ふるに當り、敢て一層強大なる勢力の爲めに妨げらるべからずと云ふこと、是なり。詳言すれば、凡て自由競

争を妨げ、經濟上個人の行動を害するが如き事は、皆これ米國人民の見て不道徳となすものなりと云ふにあり。而してこれ即ち古きアングロサクソン人の法律の精神より來るものなり。

英國の普通法は、獨占業に傾くが如きものは必ず常に之を排斥したり。而して此思想は實に米國の人心を支配するものにして、各州の法律は、殆ど皆獨占業に傾く嫌ある協約は之を不法なりと規定せり。而して合衆國の法律に於ても亦一八八七年及び一八九〇年のトラスト禁止法案に於てこの思想を踏襲したり。例へば聯邦の法律は各州間の通商及び外國との貿易を制限するが如き協約をなすことを禁ぜり。一九〇四年二月、元老院議員フォーカー氏(Forker)は、斯かる制限にして正常なる理由ある場合には之を許すべしとの案を提出して、大に世人の怒を招けり。勿論幾多の競争せる機關を合同したればとて、必ずしも之が爲め自由競争より生ずる利益を無にするにはあらず。例へばノースン・セキュリチーズ會社(Northern Securities Company)は數個の平行鐵道を合併したれども、各線皆異なる役員の下にあるが故に、尙競争をなして、一般公衆の利益を害せざること

證明したり。然るに一般人民も裁判所も此合同に反對したり。されば眞にトラストの傳播に對する一の障礙は、斯くの如く一般人民が凡て自由競争を故意に防止するものを嫌ふ點にあるなり。

尤も一方に於てトラスト組織に有利なる條件も亦少からざるは明かなる事實にして、第一、トラストは之を組織せる諸會社が各、獨立して營業するよりも、其合同によつて一層營業費を節減する事を得べし。即ち管理方法は簡便となり、且つ營業の競争より生ずる冗費を省約すること容易なり。次にトラストは、競争を止め、且つ製造品の價格を定むること全く意の如くなるが故に、其利潤を多くするの利益あり。尤も外國の競争ある場合には然らざること勿論なり。雖、かの保護關稅によりてトラストは外國市場に於ける價格と關稅額との和と等しき程度までは、其價格を高むることを得べし。

近年繁榮の相續きしことは又大にトラストの發達に利便を與へたり。穀物善く稔り、工場も亦繁昌し、農民も職工も皆富むに至れば、物價如何に高きも需要甚だ多かるべし。又トラストは不利益なる事業は之を廢め、有利の事業をのみ殘して

之を協定する點に於て、個々の會社よりは大に便利なり。其他種々なる外界の事情も亦、トラストの發達に便せるものあり。第一、米國の資本は急激に増加して皆放下の途を求めたり。一八七〇年代にありては最良の鐵道會社と雖、投資者を誘はんが爲めには七朱の配當をなさざるべからざりしが、今は僅に三朱半を拂へば足れり。今や巨額の資本は投資の途なくして空しく累積せらるゝのみならず、投資額よりは累積額却つて多きを見る。此に於て必然の結果として、新トラストの勃興を促せり。次に米國に於ては其特色たる需要品の齊一平等の主義行はれ、東は大西洋岸より西は太平洋岸に至るまで、凡ての消費者は殆ど皆同一の日常品を用ふるが故に、これ亦大に大規模の製造方法を促す一原因たり。

次に、米國人は比較的己が特殊の業務に執着せざるの風あることも、亦トラスト組織の發達に重大の關係あり。元來米國人が祖國を愛するは理想として之を愛するものにして、自己の生れたる土地の特殊の一區域にのみ執着せず、農夫は故郷なる農場を去て遠き西方に行き、一層耕作に利益ある土地を索めんとするなり。而して工業界に於ても亦之と等しく、特に己が特殊の職業のみに執着するこ

となく、他に一層有利の事業あるを見れば直ちに從來の業を抛ちて之を取ることに、猶舊式の機關を棄て、新式の改良機械を採用するが如きなり。次にトラストの組織に與りて力ありしは、米國の實業家が他人に對する信用の念強きことにして、其トラストてふ名稱は既に之を表示すと云ふべく、トラストは相互の信用を非常に尊重するものなり。米國の如きトラストは、實業界に信用乏しく嫉妬の念深き處に於ては決して發達するものにあらず。其他法律が先取株の發行を庇護すること、及び各州其法律を異にすることも亦トラストの組織に便宜を與ふるものなり。

然るにトラストの組織を阻礙するものも亦之なきにあらず。吾人は曩に其中に就て最も重要なるものとして、獨占業に傾向を有し或は商業を制限するが如き協約は、凡て法律によつて禁止することを述べしが、その他にも尙多くのものあり。トラストの目的の一は物價を騰高せしむるに在り、従つて生活の必需品を高くするなり。而して斯くの如く高き價を拂ふ者は人民にして、之と同一の人民は亦國會を選舉し關稅を定め法律を設くる者なり。されば、トラストが物價を高む

る反動は直に關稅の改正及びトラスト反對の法律を誘致すべし。
 トラストが大利を得る一の源泉は其生産額を制限し得る點にあり。乃ち石油、煙草、砂糖等其產出量に一定の制限ある天產物及び總ての專賣特許品の如きものなれば、此方法によりて大に利潤を増すを得れども、斯くの如き制限なきものには如何に勢力ある合同會社と雖、到底競争を避くること能はざるべし。其會社が競争を避くる爲めに他の會社を買収する時は、全く唯適當の買収金を得んと目的より直ちに多くの競争會社起るべく、トラストは之に對して到底堪ふること能はざるべし。又或種の事業に於ては其合同は却て不經濟を意味するものあり。かのモルガン氏の船舶トラストの如きは此理由によりて失敗したりと云ふ。されば總ての産業が皆トラスト組織となるべきものにはあらずして、利潤のなき處にはトラストは、到底成立すること能はざるなり。然るに往々他の成功を見て事業の性質をも辨へず、單に暴利を博せんとしてトラストの組織を企て、爲めに失敗に終るもの尠からず。
 尙その他にも輿論に及ぼす惡影響あり。保護を受けたる産業トラストの大なる

利益は若し外國の競争あれば、廉價に賣らざるべからざるものを非常に高く賣ることを得るの點にあり。然るに今若しトラストが其製品を外國に賣らんと欲せば、之を外國市場の普通價格にまで引き下げざるべからず。これ輿論の大に不快を感ずる處なり。勿論米國人は物價の騰貴せる場合には高價を拂ふも敢て不快を感ぜずと雖、而も同一の會社が同一の物品を歐洲に賣るよりも殆ど二倍の高價にて國內に賣るが如きことある時は、之を以て不當の甚しきものとなし、次の選舉には、大に之に對して抗争すべし。斯くの如くトラストの發達を妨ぐる障礙は一にして足らず、其歴史を見ればトラストの發達は決して容易ならざりしを知るに足らん。
 翻つてトラストが國民全體に及ぼし又將來及ぼすべき影響如何を考ふれば、吾人は二三善良なる點あるを否定する能はず。大企業は畢竟國民の生産力を増進し、外國との競争に於て益、國民の經濟的基礎を鞏固にするものなり。トラストは事業の範圍を廣潤にし、又相互の關係と適應とを生ずるものにして、これ區々たる小會社の競争に於ては到底望むべからざる處なり。トラストは又管理の集中

に依つて内部の安固を致し、經濟界に於ける一部の障礙災禍を救濟し、以て全體の鞏固を保持するが故に、一般國民の爲めに非常なる良効果を與ふるものと云ふべし。從來經濟界の一部に或る不幸生ずれば、其影響する處甚だ恐るべきものありしも、今やトラストの組織によりて經濟界の各部互に相扶助し、依つて以て事なきを得せしむるに至れり。一九〇三年株式相場の下落せんとするや、銀行互に相協力して遂に恐慌なきを得せしめたるが如き其好例なり。

加之從來競争の爲めに消費したる金錢は今やトラストによりて其競争を避け、以て之を省くことを得るは非常なる經濟なりと云はざるべからず。且つトラストは實際物價を騰貴せしめず、從來競争の爲めに消費せる金錢を節約することに依て十分なる利潤を得ることを屢、證明せり。又トラストは不必要なる若くは衰微せる事業をして、其所有主に大損害を蒙らしむることなくして止めしむることを得べく、斯くして全產業界は從來よりは一層時勢に適應して進歩することを得、隨つて其利益は廣く國民全體に及ぶべし。

然るにトラストは又他の一面に於て多くの弊害なきにあらず。特に道德上の惡

果を來せるは最も吾人の遺憾とする處なり。米國人民は權力及び資本の極端なる大集中を忌み、貴族政治、寡頭政治及び暴虐壓制の將に來らんとするを憂慮するものゝ如し。且つこれと同時に一般人民の道德心は墮落し、自發の精神を毀損せられ、人皆全く自己の責任に依つて行動することを止め、事毎に上長の命令に屈從し、勞働は皆機械的となり、全く勞働其物の愉快を感ぜざるに至るの風あり。

トラストは恰も機械の發明が獨立の職工を無用ならしめたると等しく、獨立の商人及び製造業者をして、其技能を振ふの餘地なからしむるに至れり。

次にトラストは其資力甚だ大にして、如何なる反對をも排除するを得るが故に、之に反對せんとする獨立の事業家は乞食の如くなるか、或は全く自己の主義理想を拋棄するか、二者其一を擇ぶの外なき窮地に陥るべし。實にトラストの歴史は過度なる大資本の集中により、數者の專横を逞うして多くの小會社を蹂躪し、終に之を併呑するに在り。然れどもトラストに對する反對の主なる點は其獨占業を起すべき協約によりて、全く競争を絶滅せんとするを不道德なりとなすに在るなり。

然らば何を以て是等の弊を矯正すべきか。關稅の改正は第一の急務なりと云ふ者あらん。然れども、トラストの反對者も保護關稅とトラストの間には唯間接の關係あるのみなるを認むべし。高率の關稅が現今トラストに於て合同せられたる種々なる産業を助長せしむるに與りて力ありし事は明白なる事實なりと雖、トラストを以て保護關稅の直接の結果なりとなすは大に誤れり。關稅を改正して外國の競争に委すれば委する程、米國の産業は愈、切に合同管理の利益を認め、てトラスト組織の必要を感ずるに至るべし。假令トラストの利潤配當減少することありとも、其營業上の利便及び道德上の弊害は依然として存すべし。而して米國の産業が全然外國の競争者に打敗かざるにあらざる以上は、トラストは其存立を失ふことなかるべし。

然れども、生産及び分配の状態を損ふが如き政策は、却つて先づトラストの競争者に打撃を與ふると明かにして、これ深く考へざるべからざる處なり。抑、米國の産業には、眞の獨占業なるもの一も之あらず。精糖會社 (Sugar Refining Company) と雖、尙二三の競争者を有せり。鋼鐵トラスト (Steel Trust) の外にも亦無數の獨立鋼

鐵製造業者あり。其他多くの産業に於てトラストは其製造業者の半數をも包含せざるなり。今若し高率の關稅を全廢せば、其結果として廉價なる外國品は直ちに國內に侵入すべく、之が爲めに先づ第一に大打撃を蒙るべきものは、小規模の獨立會社にして、大トラストは長く餘命を保つべけむも、是等小會社は忽ち潰倒破産すべし。されば斯くの如くして國內に於ける競争打破せらるれば、トラストは却つて大に利便を得るに至るべし。且つトラスト中最も強大なるもの、例へば彼の「石油トラスト」 (Petroleum Trust) の如き、毫も保護の必要なものは、假令關稅輕減せられたりとして何等の影響をも蒙むるとなかるべし。加之若し保護關稅廢止せられれば、其必然の結果として、賃銀低落し、爲めに米國の全産業組織を危かしむるに至らん。而してトラストの社會的及び道德的弊害は尙存すべきが故に、現今政權を握れる共和黨は敢て關稅を低減してトラスト問題を解決せんとはせざるべし。

共和黨中トラストに反對する者は聯邦の法律に依つて之をなさんと欲す。大統領ルーズヴェルト氏の如きは、屢、此點に論及したる事あり。此問題は甚だ複雑にし

て、其最も困難なる點は已に屢述べたる如く、聯邦と州と立法權の二重に存するに在り、明かに聯邦に付與せられざる事は凡て各州の立法權に屬し、殊に州は其營業を許可せる商業會社を監督する權を有す。然れども數州に跨りて營業する會社、例へば甲州より乙州に貨物の輸送を業とするが如き會社は、聯邦の法律に依つて支配せらるゝものとす。然るに一八九〇年所謂シヤーマン條例(Sherman Act)國會を通過し、各州間の通商を制限するが如き協約をなすものあらば、之を罰金及び禁錮の刑に處すべきこととなれり。此法律は、かの多くの會社が自ら組成せる所謂従來の形式に於けるトラストを禁止することを得たりと雖、而も各州の司法權内に屬して、聯邦の法律に牴觸せざるが如き新形式により之を組織するを妨げざるが故に、會社は或る一州内に其本城を定めながら、其社員の巨大なる資本を以て自由に全國に散在せる幾多の工場を買収することを得、されば斯くの如き新會社は最早眞のトラストにあらずとするも、トラストより生れ出て、トラストと同様の目的を達し居るなり。

若し各州にして皆聯邦の此禁法に倣ひ、之と同様の法律を發布したらんには斯

かる變形をなしたりとて何等の効力なく、多くのトラストは全く其目的を達するに能はざるに至るべし。然れども四十五州中の或一州が他の諸州より一層營業上の自由を許す事あらん限りは、新會社は皆競うて此一州に集まり來るべし。殊に其州に税を拂ふを見て他の諸州は之を羨み、次第にトラストの爲めに便利なる法律を制定するに至るべし。抑、米國の諸州は各、皆異なる制規を有す。而して或州の法律がトラストを保護すとせば、其理由は蓋し左の如くなるべし。漫に道徳のみに拘泥せば、利潤あるトラストを驅逐して、獨り自ら損害を被るのみならず、延いて全國の不利となるべし。何となればトラストは去つて他州に移るべければなりと。これ諸州の齊しく考ふる處なり。特に産業の進歩遅き西部諸州の如きは、歳入を増加せんが爲めに常にトラストを歓迎し、之に便宜なる法律の通過せんことを欲す。斯くの如くなるが故に、各州の法律に依つてトラストを絶滅せんことは到底得望むべき所にあらず。今若し四十五州が皆揃うてマッサチューセツ州に於けるが如き株式會社監督の法律を設定したらんには、之にて充分なるべし。又かのニューヨーク州にトラストの甚だ少きが如きも亦決して偶然なりと云ふ

べからず。然るに之に反し僅にハドソン河を隔て、對岸のニュージャージー州は斯くの如き會社の設立に多大の特典を與ふるを以て、大トラストは皆此州に其本城を有せざるはなし。

今若し法律に依つて是等の會社に干渉せんと欲せば、必ず過激なる手段を執り、大株式會社の監督權を州より奪ひ、之を聯邦政府の手に移すに在るべし。これルーズヴェルト氏が屢唱導せる方法なり。然れども斯かる變更は國會の權限以外にして、聯邦憲法に補修を加へざれば之を行ふの途なきなり。而して憲法の補修は國會の能くする處にあらず。これ國會其者も亦憲法に依つて作られたるものなればなり。唯國會は憲法補修の建議權を有するのみにて、兩院の三分の二以上の同意を以て憲法變更の案を可決し、然る後諸州議會の四分の三以上の賛助を得て、始めて其目的を達するを得べきなり。然るにトラスト反對の如き問題に對して、兩院に於て三分の二以上の多數を得んことは甚だ困難なるべく、且つ株式會社管理の如き重大なる問題に於て、州の四分の三以上が自個の有する權利を棄てんことは、到底得て望むべからざる事なりとす。

吾人は大統領が何故斯かる説を唱導したるか、茲に之を論ぜざるべし。然れども憲法の變更を要せずして、なほ之と同一の目的を達すべき方法他に之なきにあらず。勿論ルーズヴェルト氏は之を知らざりしにあらざるべきも、之を論ずるの自由を有せざりしなり。其方法とは他にあらざり、即ち高等法院が前判決を取消し、トラストの最近の發達に一層善く適する様、各州間通商の定義に變更を加ふるにあり。癡に吾人は一八九〇年各州間の通商に關し峻嚴なる法令出て、舊トラストを全滅したることを述べたり。而もニュージャージーに本據を有する合同會社は假令數州に其工場を有し、數州の協同によりて其業を營むに係らず、今日高等法院は唯之を三州に屬する會社なりと認定す。然るに今若し高等法院が一たび斯かる合同會社を以て、數州間の通商を行ふものなりとの判決を下さば、合衆國の現行法律は直ちに之に對して適用することを得、事實上憲法の補修と全く同一の效果を見るなり。高等法院と行政府とは對等の地位にあるが故に、大統領は此方法を提言するの自由を有せざるは勿論なりと雖、一般人民が此に醒覺するあらば、高等法院の判事等と雖亦大に考量するに至るべし。

行政府は尙この外にも執るべき一の方法あり。元來トラストの弊害は其組織せられたる状態を祕密に附するより起るもの多し。近年大統領は新に商務省(Department of Commerce)を置き、之に是等の事に關して宣誓して證言せしむるの權を賦與したり。然れどもこれ果して十分の効果を擧げ得べきや、吾人は頗る疑なき能はず。何となれば事情に精通したる人の説によれば、現今簿記術の大に進歩せる、若し株主等が事實の真相を隠蔽せんと欲するに於ては、大産業會社の事務の全般を檢察せんこと殆ど不可能の事に屬すと。加之營業上の帳簿を檢査して一其事實を公示するが如きことあらば、會社は其適法の營業に於て大なる損害を蒙るべし。既に近頃一大トラストは商務省より要求せる報告を提示すること拒み、之を以て不法違憲の事なりと主張せり。其結果如何は高等法院の判決に依りて始めて定まるべし。

事態斯くの如くなるを以て最も識見ある人々は、本問題は關稅の改正又は法律に依つて解決すべからず、畢竟自然の成行に委して、自から之を解決するの期を俟つの外なしとするに至れり。今や市價の大暴落とトラストに依つて製造せら

れたる物品の價格の下落とは、多數人民の目を覺まし、畢竟トラストの弊害たる多くは、其進歩の徑路に於て必ず一度通過すべき所謂一時的のものなるを知るに至れり。鐵道會社の如きも最初には非常に過度なる資本を投じたりしが、漸次其弊は救濟せられて、過剰は之を改良費に使用し、今や其株券は額面價格を保てり。而して斯くの如き状態はトラストに於ても亦既に生まれり。政府が産業の方針を指揮監督するが如き事は常に米國人民の大に不快に感ずる處なり。彼等は凡て是等の問題に以て實際上の試験に委せんと欲する者にして、凡ゆる實驗企業は自然淘汰に依りて選擇せられ、不必要なるものは自ら滅絶すべしとなすなり。勿論斯かる實驗の爲めに多くの人々は其財産を失ふを免れざるべしと雖、これ無謀なる企業を敢てする者、及び甲の事に於て利益ある方法が乙の事に於ても亦必ず利益あるべしと速了せる如き輕忽者に對して甚だ有効なる訓戒となるものなり。又往々餘り容易く大なる利潤を獲得する人あるべしと雖、ルーズヴェルト氏の云へるが如く、一人も富む者なきよりは、寧ろ少數の人にて大に富むを以て優れりとすべきにあらずや。

トラストの發達は一時或は物價の騰貴を來すことあらんも、眞の獨占業なるものあらざる以上は、物價は遂に再び相當の程度に低下すべし。加之過去十年間の經驗に徴すれば、トラストに反對する最も重要なものは、或る資本家等が獨立の希望を有することにして、彼等は永く合同會社の下に屈從することを欲せず、機あらば去つて自ら獨立の事業を經營せんと欲するなり。

今一九〇四年と一九〇〇年との狀況を比較するに、一見トラスト熱の非常に増進したるが如き觀あるに拘らず、トラスト其者は却つて漸々、大に安固となり、且つ多くの競争者の生じたるが爲めに無法なる暴利を貪ることを廢め、少許の利潤に甘んじ善く其分を守るに至りしを以て、トラストの弊害危険は大に減じたり。最初は全國に亘りて或る産業の殆ど全部を支配したるトラストも、今日に於ては其三分の二を支配するを得ば以て満足すべし。唯産業の發達は監督の集中を要すとの、根本思想のみは今尙確乎として動かすべからず。而して此思想は漸次其勢力を増しつゝあるが故に、如何なる人爲的障害を之に加ふるも到底之を滅すること能はざるべし。然れども所謂アングロサクソン人の法律及び米國人

民固有の自發の精神より發するトラスト反對の傾向は深く米國の民心を支配し、必ず其集中的運動をして極端に走らしむることなかるべし。莫大なる資本を有するトラストを制御するには尙之を以て充分なりと思ふ者と雖、米國には國會以上の勢力を有する労働者の組合機關あるを見て、大に満足する所あるべきなり。米國に於ける資本問題は結局労働問題に依つて支配せらるゝことを知らざるべからず。

第四節 労働問題

内治問題中最も重要なものは黒奴問題なるが、經濟問題中最も重要なものは労働問題なり。而して近年起れる大同盟罷工、即ち資本労働間の衝突より起れる大損害を實見したる者は、労働問題を以て黒奴問題と等しく到底解決を求め得べからずとなすものあらん。然れどもこれ謬見にして、黒奴問題は曾に未だ解決せられざるのみならず、殆ど解決の望なきが如しと雖、労働問題に至つては既に或る點までは解決せられて、最早その以上に眞の組織的解決をなすことは不可能なり。

と云はざるべからず。按ふに合衆國に於ける資本家と労働者とは、他國にては見ざるを得ざる程満足の状態にあるが如し。

元來米國の労働問題を論ずるには、米國民固有の特色を精査するにあらざれば、其真相を闡明すると能はざるべし。或る經世家が經濟問題を論ずるに當り、單に全經濟界に共通する一般的要素、例へば資本、機械、地價、労働、市場、利潤の如きもののみを見て、往々各國固有の特徴を看過するが如きことあるは、これ大なる誤謬なりと云はざるべからず。吾人は必ず各國人民の特別なる氣質、意嚮及び生活状態に深く注意するを要す。

故に米國の労働問題が獨逸の労働問題と異なる處は、其心理的要素の差異に存することを知らざるべからず。獨逸人は米國政府が疾病、災禍、老齡等に對して労働者を保險する如き方法を取らざるが故に、此點に於て米國は獨逸よりも劣れりとなし、且つ以爲らく米國の製造業者が文明の進歩に伴ひ、労働者に斯かる保護を與ふるの止むべからざるに至らば、彼等は世界の市場に於て大打撃を受くるに至るべきは豫想するに難からずと。然れども斯くの如き批難はこれ全く米國

の國情を知らざる者の言なり。其労働者保險法は、獨逸の状態に於ては、確に甚だ佳良なり。獨逸人が之に對して満足を感ずるは、誠に當然なり。然れども之と同様の法律を米國に行ひたればとて、必ずしも一般の米國人にも亦一般の米國労働者にも満足を與ふるに足らざるべし。勿論米國人は労働者保險を以て薄給なる獨逸の労働者に最も適當なるものとなし、興味ある經濟的實驗なりと思惟すと雖、而も直ちに之を米國の労働者に適用せんとする如きは、全然不可なりと信ずるなり。殊に米國政府は社會に盡したる労働者の爲めに計る所なく、政府たるの義務を怠るとの非難の如きは、最も不當なる論にして、米國人民は老朽兵及び其寡婦に扶助料として平均毎年約一億四千萬弗を費し居れり。而して輿論の認めずる其理由ありとする處には、政府は常に寛仁なる手段を取りつゝあるなり。

米國の労働者は歐洲大陸諸國の労働者とは全く其趣を異にせり。第一、米國労働者の物質的境遇が歐洲労働者と異なるは言ふまでもなく、其生活の方法、住宅、衣服、食物、知識の涵養、快樂の方法等皆之を歐洲労働者の眼より見れば、殆ど奢侈贅澤なるが如くに思はるべし。一八九〇年、産業労働者の數は四百二十萬人にして、其賃

銀十八萬九千一百萬弗なりしが一九〇〇年には五百三十萬人其賃銀二十三億二千萬弗となれり。故に一人平均の賃銀年額は約四百三十七弗に當る。而して此額は男女及び幼年者を含むものにて、男子は平均五百弗なりとす。尤も此數字のみにては獨逸と米國との物價の關係を知るにあらざれば、兩國勞働者の富の程度を明かにすること能はざるべし。

甲の説によれば、米國の物價は總て獨逸の二倍なりと。乙の説によれば、米國の一弗は僅に獨逸の一馬と同じき購買力を有するのみ、即ち米國の物價は獨逸の四倍なりと。丙の説によれば、米國の物價は決して獨逸より高からずと。抑、米獨間を航行する大汽船はその總ての食料品をニューヨークにて買入れ、ハムブルグ(Hamburg)又はブレイメン(Bremen)にて買はざるを常とす。これ米國にては食料品の甚だ廉價なるが爲めなり。然るに之に反して吾人若しニューヨークにて、或は法律家の鑑定を請ひ、或は醫師の診察を受け、或は理髮師を雇ふ等個人的の仕事にて人を使ふ時は、米國の物價は實に獨逸の四倍なることを發見すべし。その他奢侈品に就ても亦同様にして、例へば花束劇場の入場券の如き、弗と馬と相等し。又大都

會に於て僕婢を雇ふも之と同じく、普通の料理人にて一週五弗の給金を受け、熟練なるものに至りては、その技倆に應じて一層高し。されば米國と歐洲との物價の比較は實際不可能の事にして、一弗にて五馬に價する牛肉を買ふことあれば、又一弗にて僅に一馬の價ある薔薇花を買ふこともあるべし。

換言すれば、米國にては大規模にて多量に製造せらるゝ物品は廉價にして便利なるも、奢侈品を買ひ又は人を雇ふが如き場合には高價にして不便なりと云ふを得べし。又出來合の衣服は獨逸より決して高からず。且つその品質の如きは却つて優れるが如し。然れども第一流の裁縫師に注文する時は、獨逸に於けるよりも殆ど四倍の高價を拂はざるべからず。故に流行を追うて高等なる生活をなさんと欲し、一年五萬弗を消費する米國人は、獨逸に於て其三分の一即ち七萬弗を費す人より、一層多く物質的快樂を享受すること能はずと云ふも不可なかるべし。又僕婢を使ふも、奢侈品を買はずして一年五千弗を費す米國人は、獨逸にて其半額即ち一萬馬を費す人と纔に同等の生活を營むを得べし。然れども一般勞働者の如く、米國にて五百弗を費す者は必ず、獨逸に於て之と同額即ち二千一百馬

を以て購ひ得る物品を買ひ得べきなり。

米國労働者の賃銀は前運の如く普通一年五百弗なれども、熟練なる職工は平均九百弗を得るが故に、獨逸の熟練なる職工に比して約三倍なり。されば此點より云へば、米國に於て労働者の賃銀は歐洲よりも多しと云はざるべからず。米國の普通労働者は獨逸の職工長と同等の生活をなす。若し彼等が不満足を唱ふるべからば、これ椅子卓子の如き必需品に缺乏せるが爲めにあらずして、絨氈又は浴槽の如き奢侈品を新調すること能はざるを以てなり。尤も茲に論ずる處は眞の米國人のみに就て言ふものにて、近年南部及び東部歐洲より移住し來り、大都會の陋巷に群居し、非常に安き賃銀にて労働する者は固より論外なりとす。米國生れの労働者又は獨逸及び愛蘭より來れる移住民中の善良なる階級に屬する人々は、清潔なる衣服を着し、良好なる食物を喰ひ、新聞を讀み、唯其賃銀の一小部分のみ飲酒の爲めに消費するに過ぎず。

米國労働者の富の程度の高きこと、全く關係なきにあらざるも、尙一層之よりも重要なるは彼等が有する社會的自尊心なり。米國の労働者は他の一般公民と

社會上全く同等の地位にあることを自覺す。而してこれ唯法律上の意味に於て然るにあらず。蓋しこの自尊心は主として廣大なる米國の政治的生活、何等の特權をも認めざる民主政體及び身分階級の區別なき社會組織等より生じたる結果なり。勿論、米國に於ても階級的感情なきにあらずと雖、如何なる人も如何なる地位にも昇り得らるべく、人爲的障礙を設けて之を妨ぐるが如きことは決してあらざるなり。如何に謙遜なる労働者と雖、己れ若し其力あらば、國家樞要の地位に昇ることを得べしと信ぜざる者なし。

特に重要なるは、米國人民が産業を尊重し、労働の神聖を自覺せるにあり。労働の尊貴を認むるは、これ乃ち労働者の社會的地位を高うする主因たらざるべからず。今若し國民が單に智的活動のみを以てその文化の全部なりとなし、經濟的活動は唯物質的享樂を扶助するに止まるものなりと思惟する如きあらば、産業に従事する者は自ら劣等の地位にあるを以て甘んじ、労働者の如きは殆ど人格を以て認められざるべし。然れども之に反して、國民が産業の眞價を認むる時は、労働は労働者の道徳的價値を計るべき尺度となり、且つ智的活動と雖、若し産業に

關係せざれば其道德的價値を認められざるに至るべし。斯くの如きものは即ち米國人民の思想なり。其人が或は法律を立つるか、或は詩を詠するか、或は鐵道の枕木を伐るか、或は靴を製するか、或は縫針を作るか、其職業の如何は敢て問ふ處にあらず。若し其事が社會の爲めに有益なる以上は、其人の生涯は道德的價値を有するものとして、敬重せらるゝなり。されば手工業者も忠實勤勉に其職に従事する時は、腦髓の力によりて働く所の人と同等の地位に置かるゝに反して、巨大なる父祖の遺産を受けて之を利用する事を知らず、空しく之を快樂の爲めに消費するが如き所謂社會の寄生蟲は、勞働者よりも劣れりとせらるゝなり。而もこれ決して作爲的の主義にはあらずして、米國人民の直覺的感情なり。人或は斯くの如き社會の産業的思想を非難し、日本人の如くに青年に商業の賤むべきを教へ化弁を弄するの雅趣あるを諷す如き審美的思想を以て大に佳となす者あるべしと雖、米國の如き産業的思想の普及せる處にありては、富豪も亦唯自己の一件侶たるに過ぎずとなすが故に、勞働者が大なる自重獨立の精神を有すべきは明白なり。

此自重心が米國勞働者をして産業的大勢力たらしむることは疑ふべからず。米國の製造業者が世界中他に比類なき多額の賃銀を拂ふを辭せざるは、これ彼等は勞働者にしてより多く勤勉に働けば、假令高き賃銀を拂ふも償うて尙餘りあるを知ればなり。彼等は凡庸無能の勞働者千人を儲ふよりは、技倆ある白人を儲はんことを欲し、之に總額相等しき賃銀を拂ふを辭せざるなり。又如何に強慾なる資本家も、一週二十弗の働ある者よりも、三十弗の働ある者を儲はんことを欲す。米國の職工は常に自ら機械の改良をなせども、毫も之が爲めに工場規律を害することなし。されど米國人の所謂規律とは卑屈隸從、自己の判断を棄つるにあらず、喜んで共同し其共同の目的を達せんが爲めには、他人に其指導を委ねることを辭せざるを云ふなり。而して指導者即ち職工長は職工の希望に依つて其地位に擧げらるゝものなれば、職工は彼の命令に従ひつゝ、自己の意志を實行するなり。

米國の勞働者は、彼も人なり、我も人なり、同じく人なる以上は、徒に他人に頼りて其憐憫を乞ふが如きことあるべからずと、互に相勵み勉むるが故に、自ら一家を

支ふるに能はざるが如き者は思慮なき者として排斥せらるゝなり。故に自己の爲めに必要な事は如何なる事も自ら之をなさざるなく、或は生命保険に加入して不慮の變に備へ、或は労働團體を組織し、或は雇主と有利なる契約を結び、或は政治上の権利を利用し、自己の境遇を改善せんことを力め、而も自由競争により自己の力を以て得たる成功にあらざれば、之を快とせず。資本家又は立法者の保護に依つて物質上の利益を享くる如きは却つて之を非常なる不名譽と思惟するなり。

事情斯くの如くなるが故に、専門的の意味に於ける社會民主主義は到底米國労働者の間には強大なる勢力を有すること能はざるなり。彼等は自ら社會劣等の地位にありとは思惟せずして、唯他人と齊しく全く均等の機會を有すと信ず。而も絶對的平等主義の如きは却つて自發の精神を毀損し、且つ個人的成功に對する相當の社會的報酬を没却するものとして之を排斥す。米國に於ては今日労働者たるものは明日も亦必ず同じ労働者ならざるべからずと云ふが如き事なし。これ實に米國の労働問題が歐洲貴族政治の國々に於けるものと大に其趣を異

にする所なり。現今米國に於て高位高官に昇れる者も、又は大富豪となれる者も其多くは初め一介の労働者よりして身を起せるものなり。労働者は如何に大なる希望と野心とを懷くも不可なきを自覺せるのみならず、機會均等の主義を棄て、絶對的平等主義を探るが如きは、これ自ら労働を以て單に手段となし、労働其物の眞價を解せざる社會に墮落するものなりと思惟せり。米國人民の如く自發の精神強きものは他にあらず。如何なる階級制度も彼等より此精神を奪ふこと能はざるが故に、米國は歐洲の何れの國よりも所謂社會民主主義なるものに遠ざかれる國なりと云ふを得べし。米國人民は凡ての成功は唯勤勉、精力及び智力に依るべきを信ず。然れどもこれ敢て労働者が向上の途を求めんが爲めに、多くの社會主義的運動を執るを妨げず、元來米國人は鐵道、電線、運輸會社、炭礦等を國有とし、或は市街鐵道、瓦斯電燈等を市營とする事の如きをも、亦之に社會主義の名を付するの風あり。而して斯かる種類の社會主義が漸次米國に傳播しつゝ、あるは疑ふべからず。尤も過激なる社會主義の思想を傳道して、労働者を煽動する者なきにあらざるも、一般人民中之に耳を傾くる者は甚だ少く、労働者の首領

等も斯かる煽動を以て終生の事業となさず、數年の後には必ず正業に就くを常とす。加之労働者と資本家との關係は單に一時的にして、今日此方に在るもの明日は彼方に在るの有様なり。されば敢て階級を永久に區別する界線にあらずして、唯一時の分配たるに過ぎず。これ英國の労働組合と米國の労働組合と大にその趣を異にする處なり。尤もその他の點に於ては大差あるを見ず。然れども英米二國労働者の生活状態を對比すれば、經濟上の點に種々の差あり。例へば英國の労働組合にては協同商店 (Co-operative Store) を設けて労働者に物品を廉價に賣り、以て彼等に大なる利便を與へたれども、米國に於ては全く斯かる設備なし。然れども米國の大都會には所謂デパートメント組織の大店あるを以て、其處に行けば一層廉價にて一層品質の佳き物品を買ふことを得るなり。今歐洲と米國との労働者の状態を比較せんが爲め、先づ米國の實況に就て説く所あるべし。

合衆國に於ける労働運動は一八三〇年代に始まり、(唯北部のみの事にして、南部諸州にては當時奴隸の使用盛なりしを以て、全く斯かる運動なかりしなり) 尤も十八世紀に於ても既に小規模の同盟罷工ありたれども、眞の労働運動と認む

べきもの、起れるは、十九世紀に於て工場の建設を見るに至りたる以來の事なりとす。

而して労働運動の初めより主なる争點は、労働時間の短縮と賃銀増加の二個の要求なりき。當時恰も米國にては協同主義の議論盛にして、人々之に熱狂せる折柄なりしかば、これ又其労働運動に大なる影響を與へたり。而して労働運動の中心はボストン及びニューヨークにして、ニューヨークに於て、既に一八二五年、労働問題専門の最初の新聞「レーボア・アドヴァケイト」(Labour Advocate) 發刊せられたり。労働者が政治上に自ら頭角を現はさんと企てたるは一八三〇年にして、同年彼等は州知事の候補者を立て、選挙を争ひたり。然れども彼等の政治運動は單に労働運動の進路に於ける一小波瀾に過ぎずして、眞の労働運動は政治以外に起れり。労働組合の人々は政治上の紛争と絶つにあらざれば、組合の効力は得て之を全うすべからざるを悟るに至れり。尤も労働者の利害安危に關する法律案が問題となれる場合に限り、彼等に政治に關係したることなきにあらざるも、米國の労働者は未だ一の政黨となりたるなし。

一八三〇年の初め種々の産業に従事せる労働者等初めて一大團體を組織し、運動を開始せしが、資本家等も亦協同し、之に對抗して反對運動をなしたり。例へば一八三二年、ボストンの商人及び船主等相會し、宣言して曰く、労働者が各自自由に労働時間を選択するを妨害し、又既に高き賃銀を拂ひ居れる雇主に對して争擾を生ぜしめんとする不法の目的とを以て組織せられたる合同に反對するは、これ吾人の義務なりと。

爾來労働者の團體も雇主の團體も漸次成長し、國民一般は之に注意せるも、孰れにも與せず、局外中立の態度を取て傍觀したり。而して資本労働間の衝突と云ふが如きも、理論上の問題にあらざる場合、例へば貧困なる日傭と富裕なる雇主との間に於ける個人的契約の如き具體的衝突の場合には、國民は常に弱者を扶け労働者の方に同情したり。然れども之に反して一般の法律問題たる時、尙詳言すれば、其寧ろ理論的問題なる場合には、國民は資本家に對して同情を表せり。これ資本家等は國民に率先して凡ゆる新企業に着手し、資本と智識とを經濟界の爲めに用ふる者なれば、容易に取り代へらるべき労働者よりも、大に國家の保護を

要すと思惟せらるゝが故なり。

尤も全體より見れば、國民は局外中立の態度を取り、之を傍觀して唯資本家と労働者との衝突するが儘に放任し置きたりと云ふを得べし。然るに近來産業界の革新と共に國民の態度も亦漸く一變し來り、労働問題の關係者は二にあらずして三なると次第に明かになれり。即ち管に資本家と労働者のみにあらずして、産業の生産物に依つて生存する一般公衆も亦直接の關係を有し、之が解決に與かるべき權利あるを信ずるに至れり。而して斯かる變徴を來すに至りしは、思ふに一九〇二年の冬より一九〇三年に亘る炭礦同盟罷工の起りたる時にして、當時大統領は自ら立つて第三黨即ち一般人民を代表したり。吾人は今茲に労働者團體の現状法律制定の結果、労働者並に資本家に依りて使用せられたる手段、其利害得失及び此問題を解決せんが爲めに盡したる最近の努力等に就て講究する所あるべし。

現今労働者の團體には三個の區別あり。第一、ナイト・オブ・ホア (Knights of Labor) 第二、獨立の職工組合 (The Independent Trades Union) 第三、聯合職工組合 (The Federated

義を異にし、且つ往時に於ては大なる勢力を有したりしも、今や漸次衰微しつつあり。此組合の根本主義は道徳的なるも、第二第三は之に反して實際的なり。然れども斯くの如く道徳的又は實際的と云ふも敢て労働組合は不道徳なる目的を遂げんとし、又ナイッ・オヴ・レ・ポアは實行すべからざる事を主張するものなりとの意味にはあらず。ナイッ・オヴ・レ・ポアは一八六九年、一の秘密結社として起りたるものにて、その憲法は先づ労働は高尚にして神聖なり(Labour is noble and sacred)との箴言を記し、労働者の知識を増進し、且つ労働を下賤ならしむる凡ての事に反對するを以て其第一の目的となしたり。而して此團體は次第に發達したれども、之と同時に労働者各團體の實際的利害漸く生起し來れり。一八八〇年代の中葉に至つて其秘密の儀式を廢止したる時會員の数は約百萬人ありしが、尙宣言して曰く、個人及び國家の大を示す眞の尺度は勤勉と道徳にして、決して富にあらずと。而して其會員等は其智識的、道徳的及び社會的の發達をなさんが爲めに、其生産したる物の一層多くの分配に與からざるべからざるを主張した

り。斯くの如き道徳的精神よりして同會は大に同盟罷工に反對し、總ての紛争を平和的に落着せんとせり。

同會の缺點は其會員の増加するに従ひ政治に關係したる事にあり、同會員等は租税、貨幣、信用制度を初めとし、其他多くの國家社會主義に關する事件の改正を要求したり。次に地方の會合に於てすら職業を異にせる労働者が一緒に集合せる事も、亦その缺點の一なりしならん。勿論斯くの如きは同會の道徳的理想とは善く一致せるものにて、労働者の道徳的問題のみに關する場合に於ては、麵粉焼も、裁縫師も、煉瓦工も、鉛管職も、電気職人も、多くの共同の利害關係を有すべし。然れども實際上の事に於ては甲の職工と乙の職工との間殆ど何等の利害關係なく、却つて往々利害の衝突あるを發見するに至れり。此に於てこの混合組合は漸く衰微に向ひ、之に反して同一種類の職業に従事せる労働者のみの組合大に隆盛に赴けり。現今に於てはナイッ・オヴ・レ・ポアの會員は僅に二十萬人に過ぎずして、餘り重要視されずと雖、同會が其理想的の組織を以て労働者の利害を國民に示し、大に社會の良心を喚起したる功は没すべからず。

現今勞働者團體の模範的機關は職工組合なり而して獨立の職工組合と聯合職工組合との間には何等根本的差異あるにあらず。今日是等の職工組合に加入せる會員の數は二百餘萬人にして、尙日々増加し居れり。此數は勞働者全數の僅に約五分の二に過ぎざるが、これ各種の職業に従事する者の五分の二が之に同意したるが爲めにあらずして、全く斯かる組合に適せざる職業世に少からざるを以てなり。而して多くの重要な職業に於ては、其勞働者殆ど皆組合に加入せるあり。乃ち其職業高尚にして、準備を要すると多きに準じ其組合は愈々鞏固なり。例へば印刷工の如きは殆ど其全數組合に加入し、建築業及び煙草製造業者に於ても亦加入せざる者は極めて鮮し。又坑夫組合の如きは會員二十萬を有し、概計百萬の人口を代表す。之れに反して何等の經驗も訓練も要せずして誰にても直ちに従事し得らるゝが如き職業に在りては、完公なる組合を立つることは到底不可能にして、又之をなすの必要もあらざるべし。故に普通の日傭勞働者には組合の組織なし。されば此二百餘萬人は最も重要な職業を代表し、最も熟練なる勞働者を包括せるものなりと云ふを得べし。

米國に於ける職工組合は一八五〇年に起れる萬國印刷職工組合 (International Typographical Union) を以て嚆矢となす。尤も萬國 (International) と云ふも、これ唯名目のみにして、決して廣く海外諸國を包括せるにあらず。單にカナダ人及び稀にはメキシコ人の加入を許すことあるに過ぎず。而して他の國々に於ても初めて職工組合の組織せられたるは印刷業なり。一八五四年米國にては帽子製造職の組合起り、一八五九年鑄鐵工組合之に次ぎ、六十年代及び七十年代には多くの職工組合陸續として設立せられたるを見る。而して一方に於ては、特別なる地方的利害を有するものは、地方的團體に分ち、又他方に於ては、共同の利害を有するものは合同となし、斯くの如くして各地方には地方組合生じ、是等の地方組合は又合して州の組合を成し、遂に國家的又は國際的團體を結ぶに至れり。而して異種の職業に屬する組合も亦地方若くは全國と通じて互に相扶助すべきことを誓へり。尤もナイツ・オヴ・レノアの如くに、各種の利害を混同して、之が爲め衝突することなく、全く實際的方法によつて互に扶助するにありしなり。

此種の組合中最も大なるは、一八八一年、ピッツバーグに於て初めて組織せられた

る米國勞働聯合協會 (American Federation of Labour) にして、全然一個の勞働共和國を組織したるものなり。同協會は前轍に鑑み決して政治に關與せず、全く産業問題に向つて全力を注ぐべきを誓へり。又同協會は各職工組合の産業的獨立と特殊の利害とを認めたるも、然も皆互に協力して其目的を達せんことを望めり。同協會は第一、八時間勞働を要求し、且つ十四歳以下の幼年の使役を禁じ、監獄囚徒の競争と契約勞働者の輸入とを防止せんことを目的とし、又工場所有者の責任に關する法律の變更、勞働統計局の設立等を要求したり。初め同協會はナイッオウ・レーボアと激しく相争ひしが、間もなく其基礎鞏固となり、特に地方及び州の組合設立に力を盡したるを以て、中央地方互に相寄り相助けて益々盛大となれり。現今協同會に屬するものは萬國職工組合百十一州組合二十九市組合五百四十二、地方組合一千八百五十なり。其機關として週刊及び月刊新聞雜誌二百五十を有す。而して協會の本部をワシントンに置き、ゴムバース氏 (Gompers) 之が會長たり。同協會の外、尙鐵道職工組合、煉瓦工組合、石工組合等種々あり。一八九三年に組織せられたる鐵道職工組合の如きは約二十萬人を有すと稱せらる。

抑、職工組合は何人をも入會せしむるものにあらず。組合員は入會手数料を納め、且つ地方組合及び其地方組合を通じて聯合組合に會費を納めざるべからず。又入會試験を行ふ組合も少からず、特に電氣職工組合の加入試験の如きは非常に困難なるが故に、此組合員と云へば其技能の優秀なるを證するものとせらる。なり。又組合員は必ず地方組合の定期會合に出席せざるべからず。而して地方組合員の數甚だ多き時は、通例之を分ちて支部を置く。例へばニューヨークの葉卷煙草職工組合員は約六千人ありて、之を十個の支部に分てるものゝ如きは是なり。又組合には必ず役員を置き、若し其事務繁激にして到底勞働の暇なき場合には職工と同額の俸給を與ふ。又地方組合は中央組合に代表者を送り、若し職業の異なるものあれば各、自己の代表者を出し、以て種々の決議をなすこと恰も國會に於けるが如く、組合員は代表者會の決議に對して、絶對的服従の義務を負ふものなり。例へば同盟罷工の命令出でたる時、之に従はざる者は直ちに組合員たる凡ての權利を剝奪せらる。

職工組合員の享有する權利は甚だ大なり。第一地方組合は一種の俱樂部にして、

又職工の口入周旋をなすものなり。特に大都會に於ては此二個の作用は労働者の爲めに大なる便利を與ふ。次に保険及び扶助方法あり。例へば米國全部の葉巻煙草職工組合は地方組合四百四十四、其組合員三十四萬人を包容し、過去二十年間に於て支出せる金額は同盟罷工補助費八十三萬八千弗、病人扶助料百四十五萬三千弗、遺族扶助料七十九萬四千弗、旅費七十三萬五千弗、失職組合員費九十一萬七千弗なり。其他の大組合に於ても亦殆ど之と同様の支出費あり。然れども上述の如きもの、外尙他に大なる利便あり。そは労働者各自隨意の行動を取り組合をなさずしては到底要求を容れられざるが如き權利を獲得するを得ること之なり。而も尙之に拘らず、現今組合を脱して會費の支拂を免れんとする者少からざるは、これ職工組合に依つて獲得せられたる凡ての利益は亦組合員以外の労働者にも其恩恵を及ぼすを知ればなり。

職工組合の主として争ふ所は法律及び賃銀に關する事にして、又組合其もの生存の爲にも餘力を遣さざるなり。換言すれば組合以外の者に對して組合労働者の承認を得んと欲するなり。中にも此最後のものは産業界の紛争に於て

愈々重要なるものとなりつゝあり。多くの同盟罷工は其目的敢て唯賃銀の増加若くは時間の短縮にあらずして、全く雇主に職工組合の存在を承認せしめ、個人の代りに組合の代表者と契約を結ばしめ、且つ組合外の労働者を排斥するにありき。かの所謂組合貼紙(union label)を用ふるも亦同様の目的より出でたるものにて、最初にはサンフランシスコにて、支那人の労働者を排斥する爲めに用ひられ、今や全國に使用せらるゝに至れり。組合労働者を使役する工場にて製造せる煙草箱、煉瓦、帽子、ピアノ等には悉く版權を得たる意匠貼紙を附し、以て其商品が進歩したる社會的、政治的状態の下に於て製造せられたることを一般顧客に向つて保證するなり。故にこの貼紙なき商品は購入の際警戒すべきものとせらるゝなり。特に職工組合に關係を有する一千萬人の人々に取りては、この貼紙なきことは獨り警戒の記號たるのみならず、亦ポイコットの招徠たるを以て、製造家は之に對して非常なる痛苦を感ぜざるを得ず。斯くの如くにして、工場は益、職工組合の要求を容れざるを得ざるべく、従つて組合の誘引益、多く、會員の増加益、速にして愈々強大となるべし。故に現今組合貼紙は職工組合の最も有力なる武器となれ

然れどもこれ唯目的に對する手段たるに過ぎず吾人は職工組合の目的中にも勞働に關する凡ての法律に就て論ぜざるを得ず勞働に關する各州の法律は手狀萬態にして一樣ならず尤も近年は漸く相接近してその差異以前の如く甚だしからず而して新英蘭諸州特にマサチューセツツ州の如きは他に卒先して之が改善を企てたり一八三〇年代に於ては法律を以て工場勞働時間を規定すべしとの議論甚だ盛なりき然れども女子の十時間勞働の規定を設くるに至りたるは尙それより餘程後の事なりとす之に反して幼年の工場使役に關する規定は當時既に設けられて此方向に於ける運動は大に進歩したり一八六九年マサチューセツツに於ては州費を以て勞働統計局を設け毎年經濟産業社會衛生教育政治の諸方面より勞働問題に關する報告書を作ることとせり之れ實に世界に於ける勞働統計局の嚆矢とす爾來他の諸州も亦之に倣ひて統計局を置き遂に中央政府の勞働局(Department of Labour)の設置を見るに至れり七十年代に於てマサチューセツツに於ては工場監督衛生状態の改良等に關する嚴

なる法律を規定したるが他の諸州も亦之に倣へる者多し同州は又聯邦政府の例に倣ひ初めて勞働時間の短縮を行ひしが各州又之を學ぶ者多く今や二十九の州は總ての使用者の勞働時間を八時間と定めたり聯邦政府に於ても亦之と等し。

司法に關する法律の變化も亦職工組合に取りて重大なる關係あり十九世紀の初めに行はれたる古き英國法によれば今日の職工組合の如き目的を以て合同する時は結黨罪を以て問はれたり此法律は最初より大概裁判官の隨意の解釋に任せたるが十九世紀中次第に其勢力を失ひ遂には勞働者が其状態を改善せんが爲め平和に合同をなすも法律上敢て之を妨げずとの思想之に代り特に同盟罷工の如きも亂暴に互らざる限りは敢て不法の事にあらずと思惟せらるゝに至れり故に今や殆ど總ての州は舊來の結黨罪を非常に狹義に解釋し之を以て職工組合の行動を妨害する如きことなし又商店のある處より遠隔せる礦山地方にありては今尙會社賣店(Company store)なるものありこれ會社が其傭人の日常品を買ひ置き高價にて彼等に貸付くるものなり而して斯かる不當の利を

貪る會社賣店の廢止は職工組合が夙に要求せる處なりしが、今や殆ど各州皆法律を以て之を禁ずるに至れり。

傭人の責任に關する法律も亦大に改良せられたり。アングロサクソン人の法律によれば、労働者が労働中に受けたる不慮の災難、怪我等に對しては、雇主其責任を任ずべきも、他の労働者の不注意より起りたるものなる時は、其職務を怠りたる者罰を受けて、雇主には何等の責任なきものとす。これ職務を執りつゝある労働者は危険の何たるかを知らざるべからずと云ふにありき。然れども労働の状態複雑を極め、各労働者の安全は全く他の無数の労働者に依繫し、到底其責任者と定むること能はざるに至り、舊法は全く無意味となりしが故に、過去五十年間に職工組合は此點に關する法律の改正を要求して遂に之を成功したり。されば現今各州の法律に於て總て不慮の災難に對して、雇主は責任を負ふこととなれり。概して言へば斯くの如く職工組合は大に進歩して目的を達したること少からず。勿論或る州が他の進歩したる州の程度に達するまでには尙なすべき所の事甚だ多く、且つ労働組合は尙種々の希望と要求とを有し、其内には今日まで未だ

何處に於ても行はれざるもの尠からず。例へばかの瑞西に於て行はるゝ人民投票の如き乃ち是なり。又政府の保險は決して職工組合の望む所にあらず。これ米國労働者が尙個人主義を固執する一點なり。彼等は老朽、災厄、疾病等に對しては或は組合に加はり、或は保險に入り、以て自ら其準備をなさんと欲す。實際米國労働者の過半数は皆保險に加入し居れり。且つ又病人及び老朽者の爲めに會社自ら相當の設備をなす者も、漸次其數を増加しつゝあり。此方法は鐵道會社が始めて設けたるものなるが、會社は恩給を與ふる契約により、勤勉なる労働者を得て自ら利する所甚だ多し。労働者は之を以て、己が自由意志によつてなせる契約なりと感ぜ、毫も政府の保險に對するが如く、其獨立の感情を害することなし。政府は又同盟罷工、工場閉鎖(lockout)、ホイット、及び同盟罷工者排斥(black-list)に關する労働問題に就て施設する所なきを得ざりき。十九世紀の終の二十年間に於て、米國に起れる同盟罷工の數は二萬二千七百九十三回にして、其労働者の數は一萬七千五百九人なり。而して労働者の賃銀の損失一億二千二百萬弗、之に同盟罷工補助費一千六百萬弗を加ふれば、其損失總額は實に約四億弗の巨額に達せ

るなり。而して是等の同盟罷工中労働者の全勝に歸したるもの五割一分、一部分成功したるもの一割三分にして、殘三割六分は全く雇主の勝利に歸したり。一七四一年、ニューヨークの麵粉職同盟罷工をなし、直ちに結黨罪に問はれたるが、其後同盟罷工は米國に於て絶ゆることなかりき。又最初の大同盟罷工は一八〇三年に於ける水夫の同盟罷工なるが、頻繁に之を見るに至りしは一八三〇年以來の事なりとす。又歴史上最も重要なるものは、一八七七年に起れる鐵道使用者の同盟罷工にして、罷工と相伴うて多くの暴動起りしかば、遂に州の民兵を召集してシンシナチ、セントルイス、シカゴ、ピッツバーグの動亂を鎮壓するの止むを得ざるに至れり。而して此罷工の爲めに蒙れる損失は實に非常にして、全國皆其影響を蒙りしかば、其結果労働者は何等の得る處なかりしなり。一八八三年全國の電信技手皆業を罷め、日曜日の労働に對して賃銀を増さんことを要求せしに、國民は多く之に同情を表したりしかば、遂に彼等其目的を達すること能はず。雇主は之が爲め數百萬弗の損失を蒙りしも尙勝利を得たり。又一八八六年西南部諸州の鐵道に大同盟罷工起れり。

一八九二年ホムステッド(Homestead)のカーネギー製鋼場(Carnegie Steelworks)に起れる動亂は激烈其極に達せり。其騒動の論争點は賃銀問題なりき。會社と労働組合との談判は遂に不調に歸したりしが故に、會員は組合員を全く斥けて組合外の労働者を備入れたり。此に於て労働組合は大に怒り暴を以て事業を妨げたるが故に、會社は州に助力を求めたり。然るに組合は尙民兵にすら反對し、全く眞の戦争を惹起すに至り、遂に知事は戒嚴令を布き、多くの死傷者を出したる後漸く鎮定するを得たり。

一八九四年のシカゴの同盟罷工は其影響する處一層大なりき。此罷工は同市ブルマン會社の車輛製造所より始まり、遂に全國鐵道四分の一の交通を全く休止せしむるに至り、之が爲め國民の蒙りたる損失は八千萬弗なりと稱せらる。且つ同盟罷工に伴うて、暴動、脅迫、毆打、殺人等凡ての罪惡行はれ、遂に又軍隊を召集して秩序を恢復するの已むを得ざるに至れり。其後鋼鐵業にも亦賃銀に關する大紛争起りたれど、之を二年前の冬に於ける炭礦大同盟罷工に比すれば、其内容到底同日の論にあらず。

ペンシルヴェニアの無煙炭礦に於ける労働状態は、労働者に取りて未だ甚だ不能なるものありき。彼等労働者は一九〇〇年既に一回同盟罷工をなして成功し、幾許か改善するを得たれども、一年の内全く労働にあらざるも、之を一年に割付れば其収入甚だ少額なりき。而して労働者等は石炭トラストが詭辯を弄して賃銀の増加を拒むものなりと思ひ、資本家等は石炭の利潤少くして、到底此上に増給をなすを許さざることを彼等に證明せんとせり。然れども労働者等は表面上石炭の利潤少きはこれ石炭トラストが濫に空株を増發したると、石炭礦が同一所有權の下にある鐵道と共に計營せらるゝを以て、石炭の利潤を皆鐵道の利潤として其帳簿に記入するを得るの二の理由に基ける事實を熟知し居りしなり。此に於て職工組合は労働時間を八時間に減縮すること、賃銀を一割引上ぐること、職工組合の存立を充分に承認すること、其他二三の點を要求するの好機到來せるものとなせり。而して組合坑夫等はミッチェル氏(Mitchell)の指揮の下に一個月間の猶豫を以て雇主と其間に協議せんことを提言せり。特に労働者に最も同情を有せる元老院議員ハンナ(Hanna)氏も、自ら其間に立つて調停者たらんことを

申出てたるを以て、労働者等が多少の讓歩をなすべきは殆ど疑を容れざる所なりき。

斯くの如く労働者が穩當の態度に出でたるに拘らず、炭礦所有者の代表者等は彼等と何等協議するの要なしとて、全然其要求を斥けたり。其理由とする處は、若し職工組合の要求を一々容るゝが如きことあらば、彼等は事毎に要求を提出し、て殆ど底止する處なく、今日八時間労働を要求して、明年は又七時間労働を要求すべしと云ふにあり。故に雇主等は職工組合の横暴なる權力を全く打破し盡すは此機に若くはなしと信じたるなり。而して社長ベヤ氏(Bay)の如きは職工組合は米國の凡ての産業に對する脅迫なりと聲明するに至れり。茲に於て愈、同盟罷工起れり。抑も此無煙炭礦は毎月五百萬噸を採掘して、東部諸州全部の家庭に供給するものなり。然るに今や坑夫皆罷業して、石炭の供給全く絶え、冬季に入りてはその缺乏愈、甚しく、恰も圍城中に在るが如く、其悲惨々憐の、状殆ど言語に絶せり。石炭の價は既に普通の四倍となれるも、多くの地方に於ては最早價格の如何に關せず之を得るの道なくして、學校及び教會の如きは、之が爲め全く閉鎖する

ものさへ少からざりき。此に於て一般人民等は、若し職工組合が權力を恣にする時は米國は全く職工組合の暴虐の爲めに蹂躪せられ、遂に據る處を失ふに至るべきを確知するに至れり。然るに之に拘らず、一般人民が尙雇主に對して苦々しく感じ、甚だしく彼等を惡みたりしは、尙彼等が調停妥協の餘地なしとなし、勞働者の絶對的降服を固執したるを以てなり。

事此に至つては、勞働者等は炭礦に來つて事業に従事せんとする人々に對して暴行を加へ之を威嚇するに至れり。例へば炭坑内の溜水を唧筒にて汲上げんが爲めに來れる技師に暴力を加へて之を追返したり。されば愈々軍隊召集の必要に迫りしが、此時大統領は自ら進んで此問題の解決に着手し、雇主及び勞働者の代表者をワシントンに召喚し、是等雙方の代表者と中立的態度を取れる有名な人士より成れる委員會を設けたり。而して資本家側を代表せるピヤボント・モルガン氏(Pierpont Morgan)が此調停に賛同の意を漏したるにより、石炭坑夫も再び其職に復したり。其後委員會の決議により、争點の約半分は勞働者の勝利に歸し、殘半分は其敗に歸したり。これ乃ち一九〇三年の事なりとす。然れども、同盟罷工は之

を以て最後なりとすべからず。一九〇三年中には橋梁建築工五千人の同盟罷工を導火線として、米國全體中にもニューヨークに於ける建築業者等大なる騒ぎをなし、次て又東部諸州の織物職工、南部諸州の坑夫等も騒擾したり。現今と雖日々幾多の小同盟罷工を見ざることなく、又何時何處に於て大同盟罷工の生起すべきやも知るべからず。然れども國民に警戒を與へて、其危険を感ぜしめたるものは、即ち上述の炭礦大同盟罷工なりき。

炭礦同盟罷工の結果は、其黨與に遺憾なく團結の力強きことを知らしめたり。彼等は斯かる結果は、全く團結の力によるものにして、組織なき勞働者の到底達し得べきのにあらざるを悟れり。彼等は又職工組合が初めは成るべく同盟罷工を避けて穩和なる手段に出でたるを見て大に満足し、これに反して雇主は如何なる調停にも應ずることを欲せざるを見たり。而して遂に組合の要求は多く容れられたるのみならず、其主義は大に世人の是認する處となれり。勿論之が爲めには全國非常なる損失を蒙り、幾多の人命と巨額の金錢とを犠牲とし、而して後に初めて職工組合の勝利となれるものにして、若し雇主等が夙く秋季に於て妥協

をなしたらんには、災禍の多くは之を避くることを得たりしなるべし。然るに職工組合は、自ら己れは忠實に其主義を守り、常に職を避けて平和の手段を執れりと言ふとを得べし。其多數は無謀にして不必要なる争闘に反対し、凡ゆる平和的手段を書したる後にあらざれば、決して同盟罷工を宣告すべからずと主張せり。而して中立者即ち一般人民の利益を考慮したる者は、ペンシルヴェニア石炭礦主の如き資本家にあらずして、却つて深慮ある職工組合の首領なりと思惟したる人少からず。

又一方に於ては如何に穩和に計畫せられたる同盟罷工と雖、亂暴狼藉に陥り、組合外の労働者に凌虐抑壓を加ふるが如き弊に走り易きを感じり。これ米國人民が自由を愛する感情を動かすものにして、即ち人は各自ら如何なる條件の下に労働すべきかを自由に選擇するの權利を有すと云ふにあり。されば同盟罷工を破りたる者は英雄を以て視らる。此に於て資本家等は職工組合が組合以外の労働者の行動に妨害を加ふるは、これ米國の民主主義を危うするものなるを世人に信ぜしめんとして全力を盡したり。然れども職工組合員等は其執りたる手段

の不法なるは之を認むと雖、而も尙自ら一の道德的權利を有する事を主張す。其言ふ處によれば、各労働者は其工場の繁榮と成功との爲めに力を盡したるが故に、之に對して毎週の賃銀より以上を要求すべき權利と自己の地位を保障せらるべき道德的權利とを有す。されば若し同盟罷工中に他の労働者が來つて其職を奪ふが如きことあらば、これ恰も所持する物を盜まるゝに等しく、之に對しては襲撃を受けたる時に用ふるが如き手段に訴へて、他くまでも自己の權利を主張するは、より當然の事なりと。

資本家は職工組合が獨立の労働者のみならず、會社をも全く無力の地位に陥るゝを以て愈、之を恐れ、之を惡むなり。資本家は曰く、彼等は最早自ら自己の財産を處理するの權利なく、且つ獨立の労働者を備入るゝこと能はずして、唯職工組合の代表者の命の儘に服従せざるを得ざることゝなりては、彼は已に自己の工場所有主にあらずと。又曰く、資本家は事業の計畫者として凡ゆる危険を冒し、常に不撓不屈の精神を以て勤勉事に當らざるべからざるに反し、労働者は労働時間短縮のみを要求し、唯婪慾と怠惰とを貪りて、決して眞に満足することなし。

ど、又曰く、最善の労働者は己むを得ず同盟罷工に加はるものにて、彼等は職工組合の方略に従はばよりは、却つて自己の職業に働かんことを希望す。されば職工組合の全権を握りて之を左右する者は、全く無責任なる無頼漢の徒のみ。故に一銭の金にても貯蓄したる人は必ずや資本家に同情することを至當なれど、然るに一般人民の見たる處は寧ろ之に異なるものあり。即ち世人は資本家等が此同盟罷工によりて其醜態を曝露せられたるを感じ、且つ其代表者が財産の権利に就て大統領に得手勝手なる注文をなせるを見て、漸く舊來の思想を一變するに至れり。現に議論の種となる炭礦會社の如き大會社は、最早普通の意味に於ける私人の企業にあらずして、鋼鐵トラスト、石炭トラストの如きものも皆然るを發見せり。加之斯くの如き事業の發達は畢竟國民的勢力の産物にして、又社會の庇護に賴る處少からざるが故に、假令事業其物は私人の有なりと雖、尙半公共的の性質を有するものと云ふべく、社會は其管理に對して當然干涉するの權利ありと考ふるに至れり。斯くの如くなりしを以て、國家社會主義の思想、鐵道、鑛山の國有説勃如として起り、且つ労働者が自己の従事する事業の管理に對して之

に容喙すべき道德的權利を有すとの信念も亦大に進みたり。故に輿論は労働者が暴行を行へることも、雇主が職工組合との協商を拒絶せることも、兩者共に等しく不可なりと云ふに歸せり。故に國民は今後資本と労働とが公然戦争を敢てし、全國民を苦むるが如き事は決して之を放任し置かざるべし。今や労働組合の組織せられたる以上は、資本労働間の論者は、兩者の代表者に依りて平和的に解決せられざるべからず。而して此代表者會に於ても尙未だ解決せられざる時は、兩者の同意する一局外仲裁裁判に之を附託するを要す。勿論製造品の價格に變動ある以上は、労働と資本との論争は止む事なかるべく、不景氣の時には雇主は賃銀の低減を試み、商業活潑なる時には労働者賃銀の増加を試むべし。然れども職工組合の首領は廣く大局に眼を放ち、よく組合員を指導して漫に不當の野心を起さしめず、又悲觀に陥らしめざるは敢て難事にあらざるべし。雇主は常に職工組合の専横に逢へば、總ての利潤は皆労働者の暴虐の爲めに犠牲に供せらるゝが故に、企業心は全く萎縮し、投資の途も亦全く杜絶するに至るべしと主張すれども、其敢て然らざるは經驗に徴して明かなり。職工組

合は現時の如き機械應用の時代に於ては勞働者が得る處の利潤は餘り少きに失すと思惟すれども、彼等は又全體の産業が盛大となるにあらざれば勞働者も亦富むこと能はず、而して資本家が餘りに高き賃銀を拂はざるを得ざる時は、産業は決して繁榮すること能はざるを熟知せり。彼等は又一般人民の同情を得る以上は、必ず仲裁裁判に於て勝利を占むることを得べく、之に反して資本家の利潤を不當に横奪し、其他企業心を萎縮せしむるが如き行爲は直ちに國民の同情を失ふに至るべきを知れり。されば職工組合は敢て米國の産業を打破し、或は資本家の受くべき相當の報酬をも危うするが如き不法の要求をなさざるべし。今や資本家も亦職工組合の存在を認め、常に必ず組合と交渉し、時勢と適應するとの良策なるを悟り、且つ職工組合の規律が産業上に有益なる効果を與へたることを認むるに至れり。

斯くの如くにして資本家と勞働者とは互に意志の疏通をなし、特に兩者の間、一はトラストを組織して資本の競争を止め、一は職工組合を組織して組合以外の競争者を倒し、共に同一の状態に到達せるを見るに至りたり。トラストは高率の

配當隨意の價格及び原料品の獨占を以て武器とし、職工組合は老朽者の保險、疾病者の扶助、組合貼紙、同盟罷工、及びポイントと武器としたり。トラスト側にては、例へば鋼鐵業は大銀行、鐵道、汽船、銅山、石油會社等と連絡を保ち、職工組合側にては、其首領等が一産業の紛争を他の産業に傳播せんことを務め、斯くの如く利害關係を結合し、以て兩者各、其立脚地を鞏固にしたり。

其外、トラストも職工組合も、共に作意的に市場を束縛制限するを以てその戰略となし居れり。これ最も危険の甚だしきものとす。トラストは絶えず或る工場を廢し、若くは一時之を閉鎖して以て生産額を減少せんとし、職工組合も亦之と齊しく勞力の供給を制限せんとするなり。職業を學ばんと欲する者にも、職工組合は加入を許さざることもあり、即ち職工組合は既に其職に堪へざる老朽者ある場合にも、尙青年の加入を許さず、且つ組合員が組合外の勞働者と共に働くことを許さざるは、これ最も横暴の處置なりと云はざるべからず。然れども、トラスト側にては、亦斯かる好手段を弄すること少からざるが故に、之に對して彼等が如何に論難すとも、職工組合は殆ど之を意に介せざるなり。

思ふに、トラストと職工組合とが以上の如き進路を取つて進行すべきは疑を容るゝの餘地なし。社會公衆は斯くの如き合同と規則により労働問題の結果の大に簡單となれるを見て満足するを得べし。若し資本家は互に孤立し、労働者は皆分裂し居らば敢て仲裁の途なく、又其結果を遵守せしむる事も能はざるべし。然るに兩者孰れも團體を組織し、正々堂々として對立し、互に相信じ、互に相尊重し、以て意志疏通を計らば協議談判立處に成りて其効果亦大なるべし。

次に必要なるは、若し兩者の意見一致せざる場合には、直ちに不偏不黨の仲裁裁判所を組織する設備をなすに在り。これ既に輿論の一致する所なり。一九〇一年十二月、國民都市改良會(National Civic League)の慫慂によつて、資本家及び労働者の代表者相會合し、兩者間の紛争を調停すべき常設委員會を組織したり。即ち其委員として資本家側よりは、大トラスト鐵道及び銀行の總裁、労働者側よりは職工組合の首領、一般人民側よりは國民の最も信頼尊敬せる前大統領グロヴ・クリーヴランド(Grover Cleveland)、フランシス・アドAMS(Charles Francis Adams)大司教アイムランシブ(Archbishop Ireland)、大學總長エリオット(President Elliot)等の諸氏を擧げた

然るに此委員中には、職工組合に加入せざる數百萬人の所謂獨立労働者の代表者は一人もなしとの反對説ありたれども、實際國民より擧げたる中立黨の名士等は、同時に又自由労働者の代表者なりと云ふを得べし。若し自由労働者等が必ず自己の仲間中より代表者を出さざるべからずとせば、斯かる代表者を選定せんが爲めには亦一の組合を組織せざるべからざれども、これ乃ち自由労働者の好まざる處なり。此委員會の設置は法律に依つて制定せられたるものにあらずるも、尙能く國民の輿望に副ひ、産業戦争の破裂を未然に防止するの効力至大なるべし。然れども今や米國人民は尙之よりも一層効力ある方法を執らんことを欲し、若し此委員會にして尙未だ充分ならずば、法律を以て官立の強制的仲裁局を設置するに至るべきこと明白なり。

尙他の方面より労働問題の平和的解決を促すべき徵候あり。從來資本家と労働者との大戦争は、主として數千人の労働者を使役せる大會社に起るを常としたれども、又多くの小資本家と労働者との間にも同様の衝突なきにあらず。而して

是等の小資本家と勞働者との間には社會上別に地位階級の區別あることなし。斯かる衝突は小資本家に取りては損害實に甚しく、小規模の職工組合にすら直ちに蹂躪せられて大打撃を蒙るを常とす。此に於て是等の小雇主等は職工組合の例に倣ひて、二種の組合機關即ち雇主組合 (Employers' union) を組織するに至れり。

雇主組合は一八九〇年新聞社の持主によつて初めて組織せられたり。急速に起れる同盟罷工が新聞社の爲めに特に損害甚しきものなることは明かなり。而も其後十年間には此例に倣つて雇主組合を組織する者は甚だ稀なりしが、最近數年間に殆ど總ての職業は皆雇主組合を組織せざるなく、雇主と傭人との意志の疏通の爲めには非常に良好なる結果を齎らし、兩者間に規約を結ぶことも容易となれり。而して其結ぶたる規約中最も重要な事は其紛争を仲裁裁判に附すべしと云ふの點にあり。

果して此解決方法が社會公衆に大満足を與ふべきや否やは、少しく疑なき能はず。何となれば今若し地方の雇主組合と職工組合とが鞏固なる攻守同盟を締結

するが如きことあらば、一般人民は其犠牲となり、所謂絶對的獨占業の形成せらるゝに至るべきを以てなり。例へば一の大都會にて總ての電氣に關する事業家等が職工組合員のみを傭入るべき契約を結び、且つ總ての勞働者が雇主組合に屬する職業にのみ従事すべきことを約束する時は、新に一人の資本家が廉價にて之と競争せんとて其地に來るとも勞働者を得るに途なきを以て、其事業を起すこと能はざるべし。然る時は市民は一の電鈴を買ふにも、雇主組合と職工組合とが協定したる價を拂はざるべからざることとなり、自由競争は全く地を拂はて滅ぶべし。

此に於て所謂産業の自由と云ふ問題再び起り來らん。勿論職工組合は自由に於て且つ適法なる契約によつて生じたるものなれども、職工組合の最も重要な成功の一は、雇主組合に必要なだけの勞働者を供給すべきことを保證し、其報酬として雇主より唯組合員のみを使用すべき約束を得るに在り。されば其結果勞働者は單に一個の抵當物となり、支那人の苦力と何の擇ぶ處なきなり。

以上述べたる如き最近に於ける諸運動が、資本と勞力との調停及びその共同の

利益を雙方に熟知せしむることに於て已に大に力ありしは明かなり。今や職工組合は次第に労働の取締及び其状態に關して多くの權利を與へられ、且つ労働者の地位大に安固を加へ、漫に解雇せらるゝが如きことなきに至れるを以て、妻子の扶養も亦従つて容易となれり。而して假令資本労働の争ひ起ることあるも、單に同等なる仲間の意見の相違として見られんとするの傾向あるなり。勿論資本家も労働者も尙今後大になすべきこと多かるべし。特に職工組合は一層其規律を振肅せざるべからず。例へば貸銀問題の紛争中に或は亂暴なる行爲を敢てし、或は法律を破るが如き者一人もなき様、責任を以て充分の監視をなさざるべからず。職工組合が常に穩和の説を執りしことは事實なりと雖、組合員等が一時の忿怒に乗じ、不法犯罪の行爲に陥りしは得て蔽ふべからず。又職工組合は公然法律上の團體たらんことを要求せられたれども、常に之を斥けて只管其責任を免れんことを勉め、組合員の犯せる損害に對して全く法律上の責任を負ふを好まざりしなり。然れども若し雇主組合と労働者組合との間の契約をして重要なるものとなさんと欲せば、此法律上の責任は眞に必要缺くべからざるも

のなり。尙資本家も労働者も共に考量せざるべからざるは、兩者間の仲裁裁判をして單に調停に止まらしめずして、眞の公平なる仲裁裁判の實を擧ぐるに至らしむべきこと是なり。

米國に於ける労働問題は尙未だ全く解決し終れるにあらず。然れども單に近年の労働戦争のみを見て、到底解決すべからざるものとなし、或は解決の日尙遠き未來にあるべしとなすは誤れり。東部諸州に於ては労働戦争の時代は已に殆ど去れるが如く、資本家も労働者も共に米國産業の發達を害することなくして、よく自己の立脚地を鞏固にするの途を發見したり。國民も亦資本家及び労働者が共に均衡を保ち、獨占的暴威を捨て、産業を保護せば、米國産業が一層迅速なる發達をなすべきことを熟知せり。

に其動機は政治にありて、到底智識の首府たること能はざるべし。次に、ニューヨークは全く經濟活動の中心にして、其生命は一に經濟に懸れり、尤もシカゴの如きも近年大に發展し、殆どニューヨークと相匹敵せんとする勢なきにあらざるも、吾人の見る處によれば、ハドソン河畔に位し、三百萬の人口を有するニューヨークは、將來も尙米國の經濟的中心たるを失はざるべし。ニューヨークにては問屋、大銀行家、大會社長等市の全活動を支配し、之が爲めに奢侈流行の中心となり、富を以て社會的活動の第一要素となせり。皮相の見を以てすれば、商業の首府は、商業以外の事柄に於ても亦首府たることを得べきが如く見ゆべく、實際ニューヨークの政治的活動は決して輕視すべきにあらず。特に此處より刊行せらるる新聞紙は米國全部に大勢力を有す。然れども尙到底政治の中心とはなること能はざるべく、ニューヨークは恰も政治と産業との手形交換所の如く、純然たる政治思想は商業思想に變ぜらるべし。ニューヨークには、多くの著述家あり、書籍新聞雑誌の出版せらるるもの甚だ多く、道德の改良、社會の改善を唱道するもの亦尠からず。然れどもニューヨークは眞の智的若くは道德的勢力の源泉地にはあらざ

るなり。同市に於ける美術、文學の隆盛は眞の智的勢力よりも寧ろ商業的發達の成果に歸せざるべからず。勿論米國に於ける智識學問の商業的方面はニューヨークに集中すと云ふを得べきも、眞の智識の淵藪なりとは云ふべからざるなり。商業の中心に於ける智識は却つて眞の智的活動を損するものにして、美術は流行の奴隸となり、文學は商業の爲めに支配せられ、科學は實際生活の急務の爲めに拘束せらるべし。故に眞の智識の中心は、新思想の源泉となり、深遠なる理想を以て智的活動を全國に普及せしむるものならざるべからず。而して此點に於てポストンは即ち米國の智識の首府たるものなり。ポストンの凡ゆる活動は皆高尚なる理想の智識的追求に支配せられ、其政治及び商業と雖亦理想の爲めに滲潤せらるる有様なり。歐洲人が先づニューヨークに上陸し、ブラデルフィア、ワシントン、シカゴ、ナイアガラ等を漫遊せる後、ポストンに來る時は、殆ど新大陸にあるを忘れ、恰も歐洲に歸れるが如き感想を起すなりべし。歐洲人はポストンが學問の淵藪として全然智的特色を帯べるを見て、本國にて豫想せる所と大に同じからざるに驚き、且つポストンが米國の他の諸地方と

大に趣を異にせるを感ずべし。ボストンに於て眞の米國氣質の發働せる状態を理解するにあらざれば、眞に米國の國情を詳知せりとは云ふべからざるなり。米國人は往々ボストンの婦人を綽名して、「女丈夫 (Bluestocking)」と嘲弄し、又滑稽新聞の如きは常にボストンに於ては馭者も亦ラテン語を操ると冷評す。然れども斯くの如く嘲弄冷評しながらも、尙ボストンを以て米國に於ける智識の淵藪たる事を認むるに躊躇せざるなり。實に米國の智的活動はボストンに其源を發し、ボストンを首府とするマサチューセツ州は教育及び眞文明の最高模範となれり。米國に於て最も古く、且つ最も大なる學園たる、ハーヴァード大學を基礎としてボストンが新世界の理想の淵藪となれる事は、吾人の夙に認むる處なり。而してボストンの智的活動は新英州に及び、新英州の智的活動は又全國に及ぶなり。現今西部地方産業の發展に伴ひ、新英州より西方に向ひ移住する者甚だ多く、爲めにマサチューセツ州の智的特色漸く鮮明を缺くが如き觀ありと雖、少しく往時に溯れば、容易に之を認むることを得べきなり。

米國の智的活動の源泉を求めんと欲せば、遠く十七世紀の四〇年代に溯らざる

べからず。當時南部及び中部の植民地は北部の新英州植民地と等しく繁榮なりしと雖、智的文化の眞の發端を開けるものは實に新英州地方なりしなり。ボストンの建設せられてより僅に八年、即ち一六三六年に於て高等の學術教育所としてハーヴァード大學開始せられしが、高等の學術を授くる學校としては其後長く之に比すべきものなかりき。十七世紀中に於ける米國の出版物は新英州より出てたるもの其大多數を占めたり。されば當時の米國文學史を研究する者は、新英州以外の植民地の出版物を全く看過するも敢て不可なしと云ふを得べし。當時米國の最も有名なる學者はボストンの人コットン・マサー (Cotton Mather) なりき。十八世紀に至りても新英州の智的活動は全國を抜き、大勢毫も變化することなく、米國の大思想家ジュナサン・エドワーズ (Jonathan Edwards) はハーヴァード大學にて教育を受けたる人なりき。ベンジヤミン・フランクリン (Benjamin Franklin) も亦ボストンにて成長したり。新英州の文學は全國第一と稱せられ、英國の羈絆を脱して政治上の獨立を得たる頃に至つても、ボストンの道徳的勢力と智的熱心とは尙全國に冠たりしなり。

米國が政治上の獨立を得るに及んで、其自由獨立の智的活動も亦始めて興り、有名なる學者陸續として輩出したりしが、就中其大部分を占めたるは新英州人なり。ロンゲンロー (Longfellow)、ローマン (Lowell)、ホーランド (Holmes) 等の詩人は皆ボストン人にして、詩人ホイチア (Whittier)、小説家ホーソン (Hawthorne) の如きも亦新英州より出てたり。又有名なる雜誌も此處に起れり。例へば「北米評論」の如き、月刊大西洋の如き即ち是なり。その他ユニテリアン主義の宗教運動も、エマーソン (Ralph Waldo Emerson) を中心とせる哲學者の一派も此處に起り、奴隸制度に反對せる吶喊の聲も此處より響き、パーカー (Parker)、ガリソン (Garrison)、フィリップス (Phillips) サムナー (Sumner) の諸氏皆此地に起り、南部諸州に反對して以て國民の道義心を覺醒したり。學術研究の最も盛なるも亦この地にてなりき。チクナー (Tuckney)、エヴェレット (Everett) の二氏が、一八一五年、ゲチンゲン大學 (Göttingen) に留學したる以來、米國の學生が笈を負うて遠く獨逸に遊ぶの風を來したりしが、特にマサチューセツとを以て最も盛なりとす。プレスコット (Prescott)、スパークス (Sparks)、バンクロフト (Banerolt)、パークマン (Parkman)、モートン (Mortley) 等の歴史家は、皆獨逸に留學したる

人々なり。ボストンには又音樂の研究所設けられ、且つ初めて公立の大圖書館建てられたり。而して斯くの如き運動は連綿として續き、今日に至る迄未だ曾て中絶したる事なし。さればボストン及び新英州の特色は、終始全米國民の智的活動を指導するものなりと云ふも敢て過言にあらざるなり。ワシントンの國會議事堂が米國政治活動の標號たり、ニューヨークのブロードウェイ街の大廈高屋が米國經濟活動の標號たると相對して、吾人はボストン郊外のハーヴァード大學を以て米國智的活動の標號なりと云ふを得べし。

抑、ボストン附近が米國智識の中心となれる所以の理を知らんと欲せば、遠く植民地時代に溯つて考察せざるべからず。北部の植民地人民は實に嚴格なる道徳思想を有する清教徒 (Puritans) なりき。既に十七世紀に於て清教の精神はボストン灣頭の植民地人民の心胸に滲入し、其結果として今日に至る迄漸次全國人民に普及するに至れるなり。元來清教主義に就ては之を非難する者なきにあらずと雖、非難者等が夢想だもせざる貴重なる理想を含めるものなり。尤も清教主義は一方に於て確に偏狹に過ぐるの嫌なきにあらず。されば過去三百年間に於て

米國の大家天才は一方に於て清教主義の諸徳を受けて發達すると共に、他方に於てその偏狹なる思想の爲めに苦めり。元來清教徒の主義とする處は、その名の示す如く清淨を守るにありて神に事ふるに清淨を以てし、品性の清淨を以て人間の本務となす者なり。英國の清教主義者の一隊はカルヴァン教(Calvinism)の宗教的教義に鼓吹せられ、清教主義の理想の爲めに自由の天地を求めんことを欲し、非常なる艱難を冒して大西洋を横り、新大陸に上陸し、一身を信仰の爲めに捧げ、政治經濟の爲めに其智的道德的理想を穢さるゝことなく、全く信仰の完全無缺を以て楯となせり。而してハーヴァード大學は實に清教の僧侶養成所として建設せられたるものなりしかば、十七世紀に於ける全米國文學とも云ふべき新英州の文學は、全く宗教的文學なりと云ふを得べく、少くともカルヴァン主義的思想を含蓄せるものなりしなり。

尤も其後に至り、外見上に於ては事態全く變化したり、遂に僧侶養成所たりしハーヴァード大學が、現今に於ては五千の學生中僧侶教育を受くる者僅に其十五分の一に過ぎざるに至れるが如きは、其好例なり。既に一七〇〇年に於て舊來のカ

ルヴァン主義の信仰を保護する目的を以て、コネチカットのニューヘーヴンにエール大學建設せられたり。これハーヴァード大學が餘りに自由思想を採つて、カルヴァン思想を保護せざるに至れるが爲なりき。而してハーヴァード大學の教師にして有名なる説教家なるジョン・エドワーズ氏は、十八世紀に於て已にカルヴァン主義の衰頹せるを嘆じ、遂に憤然袂を拂うてポストンを去れり。然るに十九世紀に及びては愈々公然カルヴァン主義の信仰に反對せるユニテリアン主義の勃興を見るに至りたり。斯くの如く種々の變化と分裂なきにあらざりしも、是等は寧ろ内部の事にして、單に清教徒の社會中に於ける瑣小の争たるに過ぎざりしなり。かの清教徒が初めてポストン灣頭に上陸したる時より、エマーソンが獨逸の哲人フレイテ(Fichte)の道德的唯心論を説き、ロングフローが「人生の聖詩(Psalms of Life)」を著はすに至る迄、所謂清教主義の精神は終始一の如く常に人民の頭腦を支配したり。

斯くの如くなりしかば一般人民の根本的理想は、人は快樂を求めんが爲めに生活するにあらずして、義務を盡さんが爲めに生存する者なり。人生は道德的努力

によつて初めて其存在の意義と價值とを有す。自我を完全にすることはこれ人生の最大義務なり。而して自我を完全にせんとするには、絶えず良心の修養を怠らず、利己的動機、俗世間的動機、不淨の動機に對して自覺的壓迫を加へ、不撓不屈の精神を以て道德の清淨純潔を保つにありと。而して此精神こそは即ち新英州の人心を支配せるものにして、新英州の人民は人生の全部に道德的理想を滲潤せしめ、敢て下劣なる本能と不潔なる欲望とに支配せられざらんことを力むるに至れるなり。

事情斯くの如くなりしかば、新英州の地が智的活動の發展に最も適當の場處となれるは當然の事と云はざるべからず。其他の植民地の人民等は單に娛樂的書籍に耽りしも、此地に於ては眞面目なる究學的書籍大に歡迎せられ、人皆教育の爲めに盡し、宗教的儀式に務め、法律の發達に努力したりしかば、敢て物質的快樂を追求して虚飾を装ふが如き者は、殆ど之あらざりき。

新英州に於ける清教主義の人は、文化の全體を全く道德の立脚地より觀察せり。元來道德的判斷なるものは常に個性の發達如何を標準とするものにして、物質

界に於ても、將た又精神界に於ても、個性の良心あるにあらずんば、何物と雖何等の價值なしと思惟するものなり。されば清教主義によれば文化の爲めに盡すと云ふも、文化其物には何等の價值なく、唯個人の意志と關係を有して初めて文化の價值を認むべく、智的活動なるものは、道德上より見れば個性の圓熟完全を計るの外、又他に目的を有せざるものなりとせり。斯かる立脚地より見れば、科學、詩歌、藝術は何等客觀的價值を有せざるなり。何となれば科學、詩歌、藝術は單に個性を修養すべき手段たるに止り、科學、詩歌、藝術其者には何等の價值なきものとなすが故なり。清教主義の人は以上の如き思想を有せるが故に、科學、詩歌、藝術の奴隸となるべきにあらずとなせり。即ち人生は一の道德問題にして、藝術、科學は個性の發達を助長する場合に限り、人生に對して價值を有するものとなすなり。されば清教主義の下に發達せる社會は、學問其物の發達よりは寧ろ個性の修養即ち自全を重んじたるが故に、學術の研究をなさんと欲する人と雖、科學、藝術の完成を目的とせるにあらずして、科學、藝術の力によつて、自己を完全にせんことを計るものなり。勿論一般の文化と各個性との間には互に相影響する處あるべき

は明かなりと雖、以上の如き見解は科學、藝術の進歩其者を以て主眼とする所謂歐洲文明とは大に趣を異にせるものと云はざるべからず。歐洲に於ては科學、藝術の客觀的價值を以て第一位に置き、個性の修養を以て第二位に置くものなれども、米國に於ては全く之に反して、精神の安寧幸福を以て第一となし、科學、藝術は精神の向上を扶助する場合に限り初めて價值ありとなすなり。故に其必然の結果として、米國にては學界に於て不朽の創見的傑作全く之なき場合に於ても、尙個性の道德的状態は甚だ純潔なるを常とするも、歐洲に於ては全く之に反し、個人の道德墮落の極に達せる時代に於ても尙學界は大に振ひ、創見的傑作出ること稀ならざるなり。

然れども自全の精神は全く之と異なる源泉より發するを得べし。道德的唯心論に於ては、上述の如く人格の完全其者を以て目的となせども、個人人格の完全は又或る終局目的を達すべき手段たることを得べし。即ち個性の修養を以て實際生活に於ける成功の手段となすことを得べく、而して此見解を採る者を功利主義となす。此功利主義に於ても清教主義の唯心論に於けるが如く、科學、藝術及び

倫理學説が如何に進歩發達したればとて、苟くも之に依つて個性の向上を促すにあらざれば、其自身に於ては何等の價值なしとなす。道德的唯心論は個人の精神の安寧幸福の爲めに智識を求めんとし、功利主義は個人の現世の成功を得んが爲めに智識を磨かんとするものなれば、立脚地こそ異れ、個性の完全を求むる點に於ては共に相等しく、且つ文化其者の發達如何は初より期する處にあらざるなり。然れども之を實際社會に應用する時は其豫期以上の効果を奏すべし。即ち清教主義も、功利主義も、共に個性の修養をなす時には、結局國民文化の發達を促すに至るべきは當然なり。道德的唯心論の目的は、番に取るのみならず、又與へざるべからず、詳言すれば自ら己れを完全にせんとすると共に、他人にも其精神を鼓吹せざるべからず、而して之をなすには、科學、藝術を發達せしめ、以て其理想を表示せざるべからず。然るに之に反して功利主義に於ては、先づ社會の繁榮及び安寧幸福の爲めに利する事には、必ず報賞なかるべからずとなすが故に、亦純然たる功利的動機より個性を勵まして、創作的事業を促すととなるべし。故に斯く清教主義と功利主義とに鼓吹せられたる國民の智的活動は漸次發達して、或

る時期の後には新なる國民文化の時代を現出し、一部分は道德的理想の爲めに、一部分は應用的文化の爲めに至大の効果を結ぶに至るべし。而して道德的理想より歴史、法律、文學、哲學、宗教等の發達を促し、應用的文化より應用科學及び藝術の進歩を促すべし。

現今の歐洲大陸文明は此二個の傾向共に薄弱にして道德的理想の如きは單に思想界の附屬物とせられ、加之自發の精神も亦盛ならざるが故に、功利主義の如きも亦智的生活の附屬物たるの觀あり。然るに新英州の清教主義の精神は、絶えず歐洲よりの移住者を同化したるが故に遂にこの精神は全米國に普及し、道德的理想主義を以て全米國の思想界を支配するに至れるなり。又功利主義が米國の智的活動に大なる効果を及ぼせることは、第二篇に於て米國人民の自發の精神が如何に國民に影響して經濟的發達の源泉となれるかを論じたれば、茲に再説するの必要なし。而も米國人民が自發の精神によつて大成功を贏ち得たる結果として、世人往々高等教育の必要な言ふ者あり。勿論米國に於ては高等教育を受けずして獨立獨行以て成功を得たる人少からず。斯かる人は青年に教へ

て曰く、成功の徑路は實際社會に身を投ずるにあり、奚ぞ高等教育を受くるの必要あらんやと。然れどもこれ奇矯の曲説に過ぎずして、産業界に於ける大會社の組織に就て見れば、事情自ら明かなるものあらん。是等大會社を統率する人は、常に必ず最も教育ある人物にあらずや。若し米國民が種々の問題に對して確乎たる智的判斷を下さず、慢に無謀大膽の舉に出でたらんには、今日の如き大なる産業の發達を遂げ得んことは夢想だもすべからず。智的教化の固守者たるべきか、將た無謀大膽の奴隸たるべきかの問題は、米國人民に取りては最早考量を須ゆるを要せず。智的教化が物質的價值を有することは既に一般の定説なり。尤も現今に於ても清教主義的自全説を採るべきか、或は功利主義的自全説を採るべきかは、尙重要な問題なり。例へば高等教育の學校は齊一なる一般文化の爲めには、其課目を一定すべきか、或は之に反し特殊専門の教育を以て技術的進歩を獎勵すべきかの問題起れば、新英州の清教主義者と、中部諸州の功利論者とは、互に合はずして相争ふが如き是なり。然れども國民文化の現狀に照らせば、此二様の自全的精神は互に相協同し、因となり果となり、以て其目的を達せんとするものに

して、決して衝突するものにあらざるなり。尤も現今に於ては尙清教主義的の自全
 説一層優勢にして、所謂新英州の精神が全米國智的活動の首腦たるは争ふべか
 らざる事實なり。

尙此外米國人民が他國より採用せる種々の思想あり。特に外國思想を容易く米
 國に入らしむる原因少からず。その豊富なる財力、その人民の旅行好きなること、
 物品の蒐集に熱心なること、總ての事物に於て最良最善たらんを欲する希望移
 住民の絶えず流入すると、其他種々の原因よりして、米國人は總て外國のものを
 直ちに其國民の文化に採用して餘す處なし。尤も最近に至り、多少自覺的反動起
 り來れるを見る。これ一には米國の國民的自覺心漸次鞏固となり、特に近年自國
 人民の成功甚だ迅速なる發展を遂げたるによるべし。されば今や米國に於ては
 模倣建築の時代既に過ぎ、英國小説の勢力も亦將に終を告げんとするに至れり。
 尤も今日と雖尙英國の文學、佛蘭西の美術及び獨逸の音樂は、相當に大なる勢力
 を有すること明なり。

加之獨り米國人民に限らず、何れの國民にも共通する多少劣等の本能及び快樂

より起る種々の感情あり。單に娛樂を愛するの情、審美的快樂に代らんとし、或は
 好奇心及び感情的自暴心が純乎たる理性的興味を覆さんとし、或は單なる興奮
 の情が道徳的熱心を扮ふが如き即ち是なり。元來斯かる思潮は常に人心を支配
 し、而も往時に於けるよりも現代の如き感情的刺激物の多き時代に於て一層強
 く働き、而して斯かる傾向は外國に於けるよりも米國に於て特に行はるゝの風
 あり。其理由如何を見るに、米國政治の民主主義なること幾許か之に關係あり。米
 國人民は民主政治の基礎たる平等主義の爲めに知らず、屠牛者、麵粉燒蠟燭
 職人等の如き下級人民の美的趣味、判斷力及び道徳的感情を尊重するに過ぎ、之
 が爲め却て高尚なる眞文化の發達を妨ぐることなしとせざるなり。尙民主主義
 の外に此傾向を促す原因は、經濟上の状態より來るべし。即ち米國の一般人民は
 何れの國民よりも大なる購買力を有するを以て、之により直接其國の智識的生
 活に影響を及ぼすことも亦一層大なりとす。勿論彼等は他國の人民よりも感情
 に流れ易しと云ふにはあらずして、却つて自制的力甚だ強しと云ふを得べきも、
 而も米國の一般人民は富の程度高きが故に、他國の人民よりも大新聞紙を購讀

し、又屢々劇場に出入する餘裕を有するなり。されば彼等の劣等なる趣味嗜好の爲めに、新聞又は演劇の智識的程度を墮落せしむることあるは、到底得て免るべからざる所なり。

斯くの如く下層人民の劣等なる趣味の爲めに、往々國民の智的生活の美點を損することあるは、猶摸倣の爲めに多く外國の特性を輸入するが如し。然れども米國に於ては尙明かに獨立自由の智的活動あることを認む。清教主義と功利主義との對立、及び此兩主義に共通せる自全の精神、即ち是なり。

固より米國人民の智的活動の基礎を以て、全く自全の精神てふ唯一の特性に歸するは、其實を得たりと言ふべからず。されば之と協同して米國の眞の智的活動を構成する他の種々なる米國人民の特性あることは、初めより之を了解し置かざるべからず。例へば彼等の熱情物に動かされ易きこと、多技多能なること、宗教心の熾なること、適應性の顯著なること、正義の感情強きこと、活動力の大なること、特に滑稽諧謔に長ずること等、即ち是なり。然れども是等の特性には又各、短所なきにあらず。例へば過激なる狂情は堅忍不拔能く久しきに堪ふる能はず。餘に

宗教的なる時は迷信及び神秘に傾く恐あり。感情過敏なれば、瑣々たる事にも病的同情をなすに至るべし。又多技多能なる時は移氣を生じて半可通に陥る恐れあり。何時も諧謔滑稽を事とする時は、眞面目なるべき場合に於て嚴格を失すべし。されば以上の如き特性は單に附屬的特性たるに止まり、智的活動の眞の中心點は尙ほ自全の精神なりと云はざるべからず。

自全即ち個性の修養を以て第一の義務となす。社會は、先づ其注意を教會及び學校に向くべし。米國に於ては政治と宗教とは全く分離せられ、教會は超然政權の外に卓立す。而してこれ却つて各人の宗教心を強くし、之を導きて教會に近かしむるものなり。抑、米國社會の全機關は宗教の爲めに設けられたるが如き觀あり。宗派若くは教會間の軋轢の如きは之を教會全體が無宗教に對する反對に比すれば殆ど云ふに足らざるなり。加之米國に於ては宗教の範圍甚だ廣濶にして、倫理的修養若くはクリスチャンサイエンス(Christian Science)の如きも亦宗教の中に包含せらるることあるなり。且つ幾多の純乎たる社會的勢力は日々人民の信仰心を促し俗事に鞅掌しつゝある間にも尙永遠の天國を想起せしむ。而して斯かる

社會的勢力の強大なるは到底政治的勢力の企て及ぶ處にあらず。人民の宗教心を強うし、教會の効力を増加する原因甚だ多し。例へば宗派の非常に多きことも其一なり。これ各人其良心の是とする所に従ひ、特殊の宗教的満足を求むること容易なればなり。又女子の社會に於ける地位の高きことも其一なり。これ女子は天性男子よりも宗教心に富めばなり。然れども教會の勢力を盛ならしむるに最も力ありたるものは、教會の有せる種々の社會的職任なりとす。外國人は之を見て、餘に俗世間的なりとして非難する者なきにあらざるべし。例へば米國にては教會は又一種の俱樂部、圖書館、遊戯場、休息所なるが故に、一見教會の威嚴を損し、神聖を穢すが如く見ゆべし。然れどもこれ實に日常生活の必要上より企畫せられたるものにして、社會組織の如何なる部分と雖、社會と全く關係なきものはあらずとの思想より起れるなり。尤も大都會に於ては一見宗教心甚だ薄弱なるが如きも、田舎の町村に於ては其甚だ強固なること、何人も之を目撃するに難からず。米國人民の宗教心を詳知せざる者は未だ以て真に米國人民を知れる者なりと言ふべからず。米國に於ては政治の勢力より強きものは實に宗

教あるのみ、機敏なる専門の政治家が、其政黨を指導するに當り、勉めて宗教と競争するが如き危険を避けんとするは之が爲めなり。

教會の勢力は國民の無意識的感情に負ふ處少からざるに反し、公立學校に對しては米國人民は皆有意的に之が維持完成に務めんとするものなり。國土甚だ廣く、人種言語を異にせる移住民絶えず外國より流入し、且つ開拓の爲めに非常なる勞力を要する米國に於て、東は大西洋より西は太平洋に至る迄、學校の設立を全からしめんが爲めには、其勞力の如何に大なりしかを想像するに難からざるべし。最良最善の學校制度を樹立せんとする米國人民の熱望の熾なるは、殆ど豫想の外にあり。米國人民は萬難を排して教育事業を完成せんと欲する希望を有する者なりと云ふべし。

教育問題を以て總て政府の管理に委するを常とする歐洲諸國の人民は、米國の全人民が進んで教育上の理論及び實際問題の解決に關與せんとする熱心の盛なるを想像し能はざるべし。米國の週刊新聞雜誌、又は演說會等に於て、教育上の問題を論評せざるものは一も之あらざるなり。教育に關する出版物は、其數實に

枚舉に遑あらず。苟くも子女を有する者は殆ど皆教育に關する専門の智識を有す。されば中學校、實業學校、近世語學、古代語學、女子高等教育等の諸問題に特に趣味を有する人は、米國よりも比較的獨逸に於て少し。米國にては凡ゆる階級の人、人皆最良最善の學校制度を設けんとし、之が爲めに各政黨も各宗派も、東西南北凡ての州も、皆共に力を合して意識的行動をなすことは、即ち全國民教育の進歩の爲めに非常の效果あるものなること明かなり。

米國の高等教育機關は、其基礎を廣く初等教育機關即ち公立小學校の上に置けり。米國にてはカレッジ(College)大學、專門學校、工業學校等ありて、一見その間に何等學制の統一なきが如き觀あれども、これ唯皮相の見にして、深く根柢を覈査すれば、なほ嚴然として確乎たる學制の存するあるを見る。即ち表面上殆ど差等なきが如き中に、なほ漸進的教育主義を採り、以て完全なる一學制に統一せるは、米國學制の最も優れたる點にして、これ實に米國人民の自全の精神を最もよく表明せるものなりと云はざるべからず。

米國には學校外の通俗教育甚だ盛にして、斯くの如く系統的に其機關の完備せ

る處は、蓋し他に類を見ざるなり。之を以て見るも如何に米國人民が堅忍不拔なる自全の精神を有するかを知るに足らん。例へば夜學校、夏期講習會、大學擴張講話、講演會、同窓會、討論俱樂部の如きは、皆通俗教育の目的を以て設けられたるものにして、吾人若し之を看過するが如きことあらば、これ全く米國教育史の真相を没却するものと云はざるべからず。尙其外公立圖書館到る處に設けられ、如何に貧困なる人と雖行きて良書を借覽し、研究するするの便あり。

是等の圖書館及び非常に數多き新聞雜誌は、國民一般の教育に多大の效果あると疑ふべからず。然れども若し米國人民にして自全の精神微つせば、圖書館の設立、新聞雜誌の發兌、亦よく今日の如く盛大なるを望むべけんや。尤も米國人民の讀書を愛するは、敢て今日に於て始れるにはあらずして、既に十八世紀の中葉、英米二國の事情に通曉せるホプキンソン氏(Hopkinson)は、此點に於て其間に甚しき差異あるに驚けりと云ふ。其後米國に於ける讀書熱は益々盛となり、今日新聞雜誌、歴史小説等の出版せらるゝもの實に其數を知らず。且つ公立圖書館の如きも、皆に凡ての小都會に於て設置せらるゝのみならず、村落に於てすら殆ど之を見ざ

るなきに至れり。特に大都會の圖書館に於ては、其建築の宏壯美麗なる殆ど人目を眩する計りなり。斯く書籍の勢力盛なるに従ひ、國民文學漸くその數を増し、繪畫彫刻等の美術も亦大に發達し、以て一般文化の進歩を促し、博物館、奏樂堂、劇場の如きも亦益々増設せられ、智的活動勃然として起り、以て歐洲文明と對抗するに至れり。然れども米國の智的活動の眞の基礎をなせるものは、今日と雖尙その創作的天才にあらずして、自全の精神を有する一般人民なりと云はざるべからず。米國人民は毎年一回必ず靜思反省の時期を通過するの風あり。乃ち總て學校は、六月中に閉校するを常とし、カレッジ及び大學も亦永き夏期休業をなす。然るに米國の習慣として、其年の卒業生に對して告別演説をなすことなるが、此告別演説をなす事は非常の名譽にして、國中の名士は之を求めらるゝを大に光榮とす。故に六月の初め二三週中は全國各地の學校にて、學者、政治家、小説家、改革論者、官吏、慈善家等、數百の名士、互に競うて演説し、卒業生に對して高尚なる思想を鼓吹せんとするなり。而して是等の演説は又新聞雜誌に掲載せらるゝが故に、實は全國人民に演説したると同様の効果を生ずべし。中にも最も有名なる演説の如きは、

新聞紙の數欄に亘つて評論せらるゝを常とするが故に、六月は乃ち一般人民の反省靜思の時期にして、國民の精神を振作し、其道德心を刺激するものと云ふべし。今是等の演説の内容を瞥見するに、概ね二種の論據を有するを見る。即ち甲者は青年に教へて曰く、學問と修養を勉めよ、これ諸子が社會に有用なる人物となるべき唯一の方法なりと。次に乙者は青年を戒めて曰く、自ら修養せよ、人生に於て精神の圓滿にして調和せる發達より貴きものはなしと。甲者は功利主義の觀念を示し、乙者は清教主義の思想を表するものと云ふべし。而も個人主義の傾向を有するは兩者齊しく同一にして、共に青年に對して人生の目的を個性の完全即ち自修に求むることを勸むる點に於ては、毫も異なる所あらざるなり。

第二章 學校及び通俗教育

ニューヨークの和蘭植民地の人民は、一六二一年既に一

の學校制度を立て、又一六三五年にはボストンに初めて公立ラテン語學校設立せられ、その他の植民地も亦皆之に倣ひたり。是より先ヴァージニアの英國知事バークレー氏(Berkley)は、本國政府に報告して曰く、吾ヴァージニアの地に一の公立學校も一の刊行物もなきは甚だ賀すべきことにして、元來學問なるものは無宗教と不柔順とを誘ふ源となり、刊行物は亦之を幫助し、吾政府の善良なる施設に反抗せんとするものなれば、將來に於ても永く現狀を維持せんことを欲すと。然れども之に拘らず教育問題に注意を惹起したるは、實にヴァージニア植民地を嚆矢となし、ボストン及びニュー・ヨークよりも早かりしなり。一六一九年、ヴァージニア會社の出納吏は、高等教育の學校設立の爲めに、一萬五千エーカーの地を存置せんことを英國議會に提言したり。而して英國の諸教會は大に之を賛成し、多くの資金を募集せり。又普通教育及び高等教育の設備既に成り、愈之を實行するに臨み、不幸にして一六二二年、土人との大戦争起りし爲め、學校は破壊せられ、其後久しく教育上の設備をなさんとする者絶えて之なき有様なりき。之に由つて觀るも、米國の教育制度が戦争又は政治上の紛争の爲めに屢、阻害せられて、系統的發

達をなすこと能はざりし所以を解するに足るべし。斯くの如くなりしを以て、米國の教育制度は地方によりて其歩調を同うせず、種々異りたる發達をなせり。然るに南北戦争後、即ち最近三十年間に於て、漸く統一に向ひ、現今に至つて初めて全國の學制歸一するに至れり。されば唯過去に溯つて現行學制の歴史的發達の跡を究めんとする時は、甚だ了解に苦むものあるが故に、吾人は先づ現行の學制其者に就いて研究するを可とすべし。

米國の學制は獨逸の學制の如く、普通國民教育の系統と、高等教育の系統とを初めより截然として區劃するが如きことなく、學制の單位を四年課程として漸進的方法を採れり。例へば富豪の子弟にして、ハーヴァード大學に於て醫學を研究せんと欲する者あらんに、其齡十八歳に達して初めて高等教育の階梯に入るべく、夫れ迄は別に教育の系統を異にする處なし。今若し此生徒が正則に進級するものとせば、六歳にして先づ尋常小學校に入り、十歳にして高等小學校に進み、十四歳にして中學校に入るべし。而して以上三學校十二年間の所謂公立學校課程を十八歳にして卒業する時は、此に初めて高等教育との界限に達すべく、愈、カレッジ

に入らぬ四年の課程を了して大學に進み、初めて醫學研究に従事する事を得べし。故に醫學研究を終りて大學を卒業する時は二十六歳なりとす。今若し幼稚園は三年間在るものとすれば、前後二十二年間の課程を了へざるべからず。尤も正則に進まずして、一層早く卒業することも不可能にあらず。六ヶ年の修學にて中學校に入ることを得べく、又高等學校は三年にて卒業し、且つ幼稚園の二箇年も亦必ずしも必要にあらざるべし。但し茲には先づ正則の進級法によるものとしを論ずべし。

右に述べたるが如く、米國に於ては學制上の大區劃を云ふべきは、カレッジに入學する時にあり、而して米國のカレッジなるものは獨逸のギムナジウム (Gymnasium) にもあらず、亦ユニヴァルシタート (University) 大學にもあらずして、寧ろギムナジウムの第一級 (Prima) と大學文科の最初の二學期 (Semester) 又は三學期 (Semester) とは二級の課程を半個年とするものなり」とを合併したるものと云ふを得べし。尤もこの點に就いては、後に米國の大學を論ずるとき詳述することとし、茲には高等學校に入學すべき準備の諸學校、即ち尋常小學校、高等小學校、及び中學校に就いて述

ぶることとすべし。

尋常小學校と高等小學校とは、八個年の課程として一緒に見るを常とす。農夫又は職工たらんと欲する者は、此八個年の課程を十四歳にて了へ、愈、其業に従事すべく、商人たらんと欲する者も、十四歳迄は之と全く同一の課程を修め、然る後中學校に入り、十八歳にして之を卒業し、愈、商業に従事するなり。而して高等學校及び大學に進まんとする學生も亦此商人志望の生徒と等しく、中學校を了る迄は全く同一の課程を修むるなり。然るに此點に於て公立學校の足らざる所は、私立學校ありて之を補ふ。加之同一學校中に於ても劃一制の缺點を補はんが爲めに種々の分科を設く。然れども之に拘らず、尙全體としての學制の劃一主義は、決して破壊せらるゝものにあらずして、これ實に米國人民の最も誇とするところなり。

斯くの如く劃一的平等主義を採れる理由如何を見るに、これ米國人民は如何に卑賤なる者と雖、皆等しく向上進歩の途を求め得べく、何人に限らず智能さへあれば十分に立身出世の望あるを示すものなり。米國の學校教師が云へる如

く、米國の公立學校は階級制度の陋習を打破して、全く平等の精神を鼓吹せんとするものなり。即ち田舎の百姓の子弟と雖大に學問せんと欲せば、高等小學校を卒業せる後、中學校にもカレッジにも入學することを得べく、從來の學歴が入學資格規定に副はざるが如き不意の障礙なからしむるを以て目的とするものなり。これ實に米國の如き民主主義の國に於ては必然の制度にして、子弟が其父兄の社會的階級の爲めに勉學の途を塞がるゝが如きことなく、如何なる階級に屬するも、有爲の青年は勉強さへすれば、社會の高位に登ることを得べし。勿論獨逸のギムナジウムの如きは、其制度に於ては不可なるにあらず。小兒の時より大學に進むべき特別教育を施すことは頗る有利なりとするも、尙米國人民は獨逸の學制を以て、米國の國情に不適當なるものと感ずるなり。蓋し彼は最初より、單に少數の人民の爲めに、施設せられたるものにして、之が爲めに多數の青年子弟が普通教育より大學に進むべき進路を妨ぐるものなりとなすなり。

然るに最近に至り米國にても、亦歐洲の社會組織に類似の徵候漸く起り、階級的傾向を生ずるに至りしかば、遂に貴族主義的傾向と民主主義的傾向との間に一

種の調和起れり。特に趨勢は東部諸州の大都會に於て著しく、公立學校に對立して所謂私立學校の勃興を促すに至れり。然れども尙現今の公立學校は何れの點より見るも、自全の精神に十分の便宜を與へ、如何なる兒童も自己の欲する處に従ひ、向上の途を求むることを得べく、高等小學校より中學校に進み、中學校より又カレッジに進むに於て其間何等の障礙あるを見ざるなり。

尙之と密接の關係あるは、教育の自由及び教育の義務即ち是なり。往時にありては學校費を負擔するものは、一般納税者よりは寧ろ就學兒童の兩親なりとし、特別學校費を免除するが如きは、殆ど一種の憐恤なりと考へられ、非常に貧困なる兩親にあらざれば之を承知せざりしが、如き時代ありしも、現今に於ては教育は貧富を以て別つべきにあらず。全て學校の維持費は社會の共に負擔すべきものなりとの根本主義を立つるに至れり。尤も中學校に就ては入學者の割合少きが故に多少の議論なきにあらず。即ち入學者の割合少き中學校の維持費を一般納税者の負擔となすは不公平なりと言ふ者あり。然れども此點に於ても、亦如何に貧困なる兒童にも、自由に修學の道を得しめ、成るべく多數の人に成るべく、高等

の教育を施すは、社會の責任なりとの説大に勢力を有す。尙教育の自由に就きざれば各州皆種々の方法を設け、之を全からしめんことを力め居れり。例へば、サウス・イェットの如きは教科書を無代價にて生徒に供給し、又或る州にては貧窮なる學童に衣服を供給するものすらあり。次に教育の義務はその自由と兩々相待ちて對立し、これ亦州によつて種々その規定を異にせり。即ち或は義務教育の年限を七個年とし、或る者は八個年、或る者は九個年とす。これ全く地方の状況に従ひ適宜の方法を採り、以て學齡期間を定むるが爲めにして、當然のことと云はざるべからず。

聯邦政府は教育に直接の勢力を有せず。ワシントン市の教育局は單に教育に關する助言、報告、統計をなすに止まり、教育に關する法律上の規定は全く各州の權限に屬す。又州は學校の建築及び計費、教師の選任、教授上の方針、教科書の選擇等に關しては、或る範圍内に於て其監督の下に地方團體に委任するものなり。而して此點に於て學校管理の責任は立法部と行政部とに分れ、恰も聯邦政府の組織と酷似せり。例へば州の視學官は州議會と同等の地位にあり。又市及び田舎地方の

視學官是等の視學官は或は市長の任命する者あり。或は地方議會の選任する者あり。或は直接地方團の選舉に係る者あり。は、非常に大なる權力を有し、其地方團體より選舉せられし學務委員、學務委員は學校費を定め、且つ教師の任命を批准するの權を有す。と同等の地位を有せり。斯くの如くなるが故に、學校に於ける道徳及び學科の標準、實際上の設備、經費の支出等に關しては、地方團體直接之が責任を負ふものとす。尤も州は地方團體が職權を濫用し、或は從來の善良なる慣例を破るが如き事なからんが爲め、一般の監督を怠らず。且つ州議會は地方貧富の差等及び都會と田舎との相異に注意して、種々の規定を設け、尙尋常小學校及び高等小學校の教員養成所たる師範學校を直接管理するの權あり。

此學校管理法より生ずる効果は甚だ多く、且つ大なり。第一、各州、各市、各町村が學校を思ふの心愈發達すべく、且つ自全の精神と自定の精神と相結合すべし。第二、其土地の相違によりて大に自由の行動をなすことを得べし。米國の如き尤大なる領土に於て聯邦の法律又は州と州との契約により嚴重なる劃一の學制を規定するが如きは、不都合之に過るものあらざるべし。若し南部の黒奴諸州にも北

部の新英州諸州にも、人口稠密なる東部地方にも、人口稀薄なる西部の平原にも、等しく同一の學制を布くが如きあらば、斯かる規定は全く空文に終るか、然らざれば文化の高き地方を故らに文化の最も劣れる地方と同一の標準まで引下ぐるに過ぎざるべし。獨逸人が學制の統一を主張し、米國の學制を非難するも、これ全く米國の國情の獨逸に異れるを思はざるものにして、米國と比較論評せんには、歐洲全體を以て之が標準となさざるべからず。

米國學制の外形上の統一を以て已むを得ずとせば、其内容に於て種々の差異を設くるを必要とす。而して之をなす者は、其地方特別の事情に通曉する州議會及び地方官憲なり。例へば富裕なる州の學齡年限は、其貧民が兒童の勞働を必要とするが如き州に比すれば、殆ど二倍の長に亘るものあり。又地方の文化及び富の差等により、各學校の學科程度にも亦差等あり。例へば山間僻邑の學校にありては、學識不十分なる一人の教師を雇ひ、且つ一教室に四學級の生徒を集めて教授せざるべからざるものあるに反し、大都會にては大學卒業生のみを教員とし、校舎の建築壯麗を極め、設備亦整頓して理化學實驗室、圖書室等を設くるを得べし。

されば斯く相違の甚しき學校が互に學力の競争をなすことは到底不可能にして、甲の學校にて四年の課程を了へたる者と、乙の學校にて二年の課程を了へたる者と、學力殆ど相等しかるべし。然れども一學校の或る學級を了へたればとて、他の學校の次の上級に入學すべき特殊の權利あるにあらざるが故に、上述の如き不平等も特別の危險弊害ありとは云ふべからず。何れの高等小學校にても卒業せる生徒は無試験にて中學校に入ることを得と云ふに、單に下級學校の卒業證書のみを以て入學を許さざる場合には必ず入學試験を行ふべし。

尙右の外にも種々の差異あり。近時諸學校にては多くの平行課程を設けて、生徒をして隨意選擇せしむるものあり。而して此傾向は漸次盛ならんとするが如し。例へば甲の課程にては特に實地教育を主とし、乙の課程にては高等教育を主とするが如き、或は普通教育のみを受けて直ちに社會に出てんとする者の爲めに設くる課程と、高等の學校に入らんが爲めに其試験準備を要する生徒に適する課程とを分つが如き、即ち是なり。斯くの如くなるが故に、初等教育が一見劃一的なるが如きも、實は同一の學校中に斯かる多くの差異存するなり。且つ兒童に獨

逸に於けるが如くに最初より異なる學校を選ぶの要なく、單に同一の學校中に
て教育方法の異なる課程を選べば足れり。而して此課程選擇制は、漸次廣く行は
れんとす。

最も進歩したる意見の教育家は尙之に満足せずして、中學校の課程を猶一層生
徒の個性否奪る兩親及び生徒の時々之の變心に適合せしむる様にすべしと云ふ
者あり。元來カレッジの入學試験に於ては、専攻科目の選擇甚だ自由なるが故に、中
學校の課程改正運動は將來尙一層發展すべし。且つこれ實に清教主義にも亦功
利主義にも共に合致するものと云ふべきなり。即ち清教主義は凡ゆる個人的天
賦の性能を發達せしめんことを求むるものにして、功利主義は個人的成功の準
備の爲めに適合する方法を探らんことを欲するものなり。然れども之に反對の
傾向も亦其徵候を示せるを見る。即ち實利論者と雖、その職業を成るべく廣き基
礎の上に置く人は、競争場裡に於て最も勝利を得るの望あるを以て専門的の學
問は成るべく早く始むるを可とすと思惟するに至り、清教主義の人も亦個人
格の發達を全うするには、其性癖を矯め、以て意志の訓練をなすより急なるはな

きが故に、初めは自ら好まずして其研究を欲せざりし科目は、却つて最も必要な
るものなるやも知るべからずとなすに至れり。其他殆ど一般に幾許か早く學校
を終るの機會あり。又其課程によりて異なる年限にて卒業することをも得べし。
而して是等は皆差異を生ずる原因たらざるはなし。

以上掲げたる凡てのものより優りて差異の要素たるは私立學校即ち是なり。元
來高等の學校に入學せんする生徒の目的は卒業證書其物にあらずして、次に入
らんと欲する學校の入學試験準備なり。而して此點に於て私立學校は迅速に斯
かる教育を施すことを得るの利あり。且つ高き授業料を課し、之によつて良教師
を備ひ、又公立學校に比すれば人員の少き學級をも置くことを得べし。されば私
立學校は漸次隆盛となりて今や教育上の大勢力たらんとするに至れり。

斯く公立、私立の學校併立し、教育の状態千差萬別なるを見て、吾人は米國の物質
上及び精神上の歴史に於て常に一の重要な主義の行はれつゝあるを知るに
足らん。即ち各階級の學校間に、劃然たる區別なく、常に漸進的方法により、容易く
高級の學校に進むことを得て更に何等の障礙を見ざることは是なり。而してこれ

實に米國人民が何事にも成功する所以の秘訣にして、即ち各個人の自發の精神を起すに在り。米國人民は飽くまでも之を助長し、之を發達せしめんとするものにして之に依つて、初めて眞の成功を期し得べしとす。而して地方に由つて學校の學科程度に差異を生じたる所以も亦之に外ならず。例へばニューヨークの高等小學校はオクラホマの中學校よりも程度高く、ボストンの中學校はユタに於ける小規模のカレッジと殆ど同等の程度にあるが如き即ち是なり。

是等の學校は常に改善を施して、如何なる高き程度にも進むことを得べし。例へば地方團體が其學校に改良を加へ、益、良教師を選び、學科目を増し、其他學校の設備を完全にする時は、學校の地位は自から高まるべし。然れどもこれ敢て法律の力に依るにあらず。而して此點に於ては私立學校も亦同様なり。故に凡ての事皆各自自然の發達にして、外見上學制の統一あるが如きも、實は各學校其特殊の標準を有するなり。然るに今若し全く學制を劃一にし、一定の範圍内に於て同一の程度を保たしめんとするが如き事あらば、米國人民は恰も之を以て市の人口を或る一定の數に制限すべしと強ひられたるが如くに到底堪へ難く感ずべし。勿

論獨逸に於けるが如く、嚴重なる統一主義行はれ、學校の階級に特權を與ふることとならば、上述の如き制度は全く一變せざるを得ざるべし。然れども米國に於ては學校の卒業證書は何等の特權をも有するものにあらず。高等の學校に入るには必ず入學試験を以て其學力審査を行ふを要するなり。尙ほ獨逸の學制と異なる點は、米國の公立學校にては男女混合教育(co-education)を實行すること。是なり。學校は兩性の相異を認むべからずとの説は、特に中央西部諸州に於て主張せられたる處なりしが、今や全國に普及するに至れり。混合教育の利益を唱導する者の説によれば、家庭生活は混合教育の正當なるを證明するものにして、兩性互に善良なる感化を與へ、男子は優雅溫和となり、女子は其意志を鞏固にし、以て兩性間の圓滿なる調和をなすに至るべしとなり。然るに私立學校が混合教育を行はず、大概男子のみか、又は女子のみかに限りて教育することは或る方面の人々に私立學校の人望ある所以の一なりとす。

男女混合教育よりも一層著しきは女教員の數甚だ多きこと。是なり。元來女教員は南北戰爭の後、北部諸州に於て、初めて採用したるものにて、畢竟戰爭の爲め男

子は多く職死して、教員の不足を告ぐるに至りたる結果なりしが、爾來一般に行はるゝに至れり。尤も中學校にては一般に男教員を用ひんとする傾向あれども、夫より以下の學校は殆ど全く女教員の手中に在りと言ふを得べし。而して下級の學校に於て男子が敢て女子と競争せざるは、其競争によつて漸次に俸給の低落を來せしこと、男子は他に高き俸給を得べき若くは好ましき地位敢て少からざるが故なり。之に反して女教員の大に増加せるは、女子の教育盛になり、教育を受けたる女子が職業に従事せんと欲する希望を生じたること、女子の職業として教員は最も其天性に適當せるものなるを以てなり。男女混合教育増加の利害得失に就ては、後篇女子問題の條下に於て詳論すべし。

米國學制の缺點及び弊害に就ては、吾人の屢耳にする處にして、其主なるものを舉ぐれば、學校管理に於ける政治的干渉、地方官憲の教育上の智識の缺乏、女教員の學力の不足、教授法の不完全、時間の浪費、新教授法の濫施等なり。孰れも皆米國學制の缺點を指摘せるものと云ふべし。然れども深く其實相を究むる時は、餘り憂ふるに足らざるものなきにあらず。今左に之を概説すべし。

學校と政治との關係は、苟も市の政治が政黨政治なる以上は到底避くべからざるものなるべし。例へば學務委員の選舉を全然政治より分離せんとする如きは、殆ど不可能の事に屬す。然れども孰れの政黨も有爲明識の士を選んで學務委員に舉ぐることを得べきが故に、唯弊害の起るは單に政黨の目的の爲めに多數黨が其權勢を濫用する場合にのみ限れり。而して反對黨は常に其監視を怠らざるが故に、若し斯かる弊害にして反對黨の爲めに曝露せらるゝ事あらば、次回の選舉には必ず失敗を招くべし。されば實際決して大なる弊害の起るべきものにあらず。尤も政治と關係なき種々隱險なる行爲行はれて、却て大なる害毒を流すことあり。大都會に於て新校舎の敷地を買い上げ、或は其建築の契約をなし、又は新に教科書を採用する如き場合に於て、學務委員等が職權を濫用して不正の利を貪ることは甚だ容易にして、單に斯かる事を目的として、學務委員となる者も之なきにあらず。然れども此點に於て亦其選舉に落選せる人々は常に猜疑の眼を以て當局者を監視すべく、一般人民とても亦注意を怠らざるが故に、自から斯かる弊害を防ぐ事を得べし。加之概して言へば、學務委員等は實際職務に忠實なるを常

とす。尤も其中には教育に關する智識の不十分なる者なきにあらずと雖、専門の事は之を専門の教育家に委任し、又改革を行ふ場合には、必ず校長及び幹事等の意見を求むるが故に、世人の想像するが如き弊害は實際上殆ど之なしと云ふも不可なかるべし。

次に教員の資格に就て見るに、高等の教員養成所を卒業せる教員の數は、總ての公立學校の需要を充たすに足らず、カレッジ卒業生の數の中學校教員に於けるは更に一層甚しとす。教授法如何に完全なりとて、此缺點を補はんこと決して容易の事にあらず。尤も尋常小學校に於ては教員の學識豊富ならざるも、甚しき不都合あるを見ず、寧ろ其人格を以て重要な點となすべし。而して此點に於て、女子は天性同情に富み、兒童に對する趣味深く、且つ其熱心及び犠牲的精神の盛なるは、共に兒童の腦裡に強き印象を與ふるの效果あるものなり。されば現今尋常小學校に於ては殆ど女教員を採用せざるものなし。

又餘り教科書其物に重きを置き、唯機械的に書物を教へ、教師が直接兒童に感化を與ふること少きは、大なる缺點なり。元來米國人は書籍の力を無限に信頼する

の風あるが故に、益斯かる傾向を助長するが如し。特に彼等は公立學校の主なる目的を以て、兒童に將來新聞及び書籍を讀むべき準備をなさしむるものと思惟するを以て、成るべく多くの書物を讀ましめんと欲す。米國の學校生徒が歐洲の學校生徒よりも將來一層新聞を讀む者となるは事實にして、又米國の教科書が概して甚だ佳良なるものなることも事實なり。博物學の教科書は言ふに及ばず、文學書にも歴史にも多くの圖書を挿入し、殊に地理書の如きは種々の繪畫を加へて美麗に訂裝するを常とす。斯く教科書及び實驗の方法により専ら生徒の眼に訴へんとする。餘り度に過ぎ、教場の四周は盡く黑板を懸け連ね、教員をして生徒の耳よりも寧ろ眼に訴へしめんとする傾向を益、強うする所以なり。

新案新法を濫用する弊あることも、亦蔽ふべからず。尤も廣濶なる範圍を監督する中央官憲は保守的思想を有すべきも、教授の細目を全く地方の視學官に委任せる處にありては、漫に如何はしき教授法を採用し、淺薄なる改革を加へ、必要なる實驗を行ふが如きこと敢て珍しからず。而も視學官等は之を以て自ら新智識を有し、大に教育上の効果を擧げ得たるが如く思惟するなり。されば朝改幕

變殆ど底止する處を知らずして、爲めに生徒の學力の進歩を損ふこと少しとせず。然れども一方より之を見れば、教師の獨立的趣味と自發心とを促す點に於ては、又全く利する處なきにあらず。勿論斯かる改革の多くは未熟にして不完全なるべしと雖、其反對の極端なる何等の自發心なき冷淡暗愚の教師のみなるよりは、大に優る處ありと云はざるべからず。

米國の學校が時間を浪費し、特に獨逸の學校に比すれば、時間の割合に學力程度に於て優る處なきは疑ふべからざる事實なり。而して之には種々の原因あり。第一、米國にては土曜日亦休日なり。而して毎日學校は朝九時より業を始め、且つ長き夏期休業の間は何事をもなさず、全く遊び暮すべきものと思惟せらる。又學童の家庭に於ける職任も、獨逸に比すれば少くして、學校の課業も亦獨逸の如く嚴峻ならず。然れども米國にて斯く時間を浪費するが如きは、其實此時間を體操、遊戯等體育の爲めに使用するものにして、之に依つて所謂完全なる人を作らんと欲するの主意に出づる事を忘るべからず。加之米國人が今日其時間を空費するを得る一の理由は、其國富の豊かにして、歐洲の青年よりは、晩く生計の途を講

ずるも敢て妨なきが故なり。

米國學制の缺點以上述ぶる所の如し。而も概して言へば、其適用甚だ自在にして能く全國到る處、且つ社會の凡ゆる階級に適應して遺憾なきは、米國民の大に誇とする處なり。蓋し米國の學制は其基礎を廣く一般國民の初等教育に置き、以て青年の健全なる發達に必要な總ての要求を満足せしめ、個性の完全なる發展即ち自全の精神に最もよく適合するものなりと云ふべし。

今米國に於ける學校の状態を明かにする爲め、少しく統計的記述を試むべし。一九〇二年人口總數七千五百萬餘の内、在學生徒總數一千七百四十六萬あり。尙此外私立幼稚園、手藝學校、夜學校、土人學校等の生徒五十萬人以上あるべし。而して尋常小學校及び高等小學校の生徒總數千六百四十七萬九千一百七十七人にして、内約一百二十四萬人は私立學校の生徒なり。次に公立中學校生徒五十六萬人、私立中學校生徒十五萬人にして、初等の學校に於けるよりも、中學校に於て私立學校生徒の割合多きを見るべし。而して其他は皆一層高等なる學校に在學するものなり。又公立學校のみに就て見るに、男教員十二萬七千五百二十九人、女教員二

十九萬三千七百五十九人にして、男教員一ヶ月俸給四十六弗餘、女教員三十九弗なり。學校費總額二億一千三百萬弗餘にして、その内約六割九分は地方税より、一割六分は州税より、残り一割五分は基本金より支辨するものなり。次に人口八千以上の都市のみに就て見れば、一九〇二年に於て、斯くの如き都市の總數五百八十ありて、其人口總數二千五百萬人なり。而して其公立學校生徒總數四百十七萬四千八百十二人、教員數九萬〇七百四十四人、私立學校生徒總數八十七萬七千二百十人なり。且つ是等の學校に關係せる學校監督官、視學官、其他の役員總數五千二十五人、學校費總額約一億一千萬弗なり。

中學校に就ては特に著しきものあり。中學校生徒増加の割合は、人口増加の割合より一層迅速にして、一八九〇年には人口一萬人に付き生徒五十九人の割合なりしが、一八九五年には七十九人となり、一九〇〇年には九十五人となれり。而して特に注意すべきは、此増加數は殆ど全く公立學校に限れること是なり。即ち前述一八九〇年の五十九人の内、公立中學校の生徒三十六人、私立學校の生徒二十三人なりしが、一九〇〇年には私立學校の生徒二十五人、公立學校の生徒七十人に

して、私立學校に於ては僅に二人の増加ありしを示せるのみ。又公立學校の生徒中、五割はラテン語、九分は佛蘭西語、一割五分は獨逸語を學べり。而して主なる學科は英文典、英文學、歴史、地理、數學及び物理なり。私立中學校にては佛蘭西語を學ぶ者二割三分、獨逸語を學ぶ者一割八分、希臘語を學ぶ者一割なり。公立中學校より高等學校に入る學生は僅に一割一分に過ぎざれども、私立中學校より入る者は實に三割二分の多きに達せり。一九〇〇年に於て、私立中學校は千九百七十八ありて、其内九百四十五は特に或る宗派の學生の爲めに設けられたるものとす。今之を類分すれば、天主教に屬するもの三百六十一校、聖公會九十八校、浸禮派九十六校、長老派九十三校、メソヂスト派六十五校、クヱーカー派五十五校、ルイナル派三十二校等なり。されば斯く教會の勢力の下にあるもの、外に、尙一千餘の私立中學校あるなり。而して私立學校の盛なる所以の一理由は、公立中學校にては教員一人に付き、生徒二十六人の割合なるも、私立學校にては僅に十一人の割合なる統計的事實に存すと云ふべし。

又州によつて其教育程度の差等著しき例を示すべし。マサチューセッツに於ける

中學校生徒數は人口一千人に付き十五人の割合にして、ニューヨークにては十一人、イリノイにては九人、テキサスにては七人、南北カロライナにては五人、オクラホマにては僅に三人なり。又全國の私立中學校生徒中、女子四割九分七厘に對し、男子五割三厘にして、男生徒の數は少しく女生徒の數より多し。然るに公立中學校に於ては女子五割八分四厘に對して、男子は僅に四割一分六厘なり。

カレッジ、大學、その他の高等教育機關に就ては後に論ずべけれど、兎に角米國學制の範圍の廣きことは以上述べたる所に止まらず、第一幼稚園なるものありて、これ亦注意を逸すべからず。抑、幼稚園は獨逸の教育家フロエベル氏(Froebel)の創めたるものにして、米國が獨逸の教育制度を、其儘に採用したるものは、實に唯幼稚園あるのみと云ふべし。フロエベル氏の此新法は到る處に歓迎せられ、獨逸語の幼稚園キンデルガルテン(Kindergarten)なる語は、今や英語にても其儘一般に使用せらるゝに至れり。

一八五〇年代に於てポストトンのピーボディ嬢(Pebody)始めて幼稚園を開きたりしが、直ちにセントルイス、ニューヨーク等にも傳播し、既に一八七五年には約百個

の幼稚園設立せられ、其兒童總數約三千人に及びき。而して今日に於ては恐らく幼稚園五千、其兒童總數約二十五萬人あるべし。今幼稚園發達の歴史を見るに、初めは未だ學齡に達せざる富豪の小兒に、一種の規則立ちたる日課を教ふるを以て主なる事業となせしが、少しく後に至つては、貧民の小兒は家庭に於て其教養不十分なるより、危険なる惡習に感染するの恐ありとなし、一種の慈善的動機より大に幼稚園の發達を促すに至れり。然るに尙其後に至り、此兩極端の思潮漸く調和し、中等社會の小兒も亦四歳より六歳迄の間は幼稚園に入ることとなり、今や全國舉つて幼稚園の必要を認め、遂に之を國民教育の系統中に加ふるものあるに至れり。斯くの如く今日、幼稚園を組織の一部として採用せる都市の數は已に二百五十の多きに達せり。

然るに其間又一の新傾向の起るを見たり。即ちシカゴにては殆ど完全なる幼稚園の保姆學校開始せられしが、其修業年限は四年にして、管に専門の教員養成を目的とするのみならず、兒童の母親の入學をも亦歓迎するものなり。シカゴの例に倣ひて如何にせば身體上、智識上及び道德上、兒童を健全圓滿に教養するを得

べきかを母親に教ふべき學校到る處に設立せらるゝに至れり。蓋し此趨勢は或は却て遂に幼稚園の必要を認めざらしむるに至るやも知るべからず。即ち兒童は家庭に於て十分に教養せらるゝことを得るを以て、遂に幼稚園は再び最初の如く其範圍を狭まめられ、唯兒童教養の煩を厭ふ富豪と労働者の爲め、之を教養するの暇なき貧民との需要を充たすに過ぎざるに至るべし。加之小學校教員等の中にも幼稚園に對して反對する者尠からずして、幼稚園の教育を受けて尋常小學校に入る兒童は、其成績稍良好ならずと言へり。故に將來幼稚園は或は漸次幸運に向ふべきやも未だ知るべからず。然れども現今に於ては尙ほ非常に重要な一種の流行物として認めざるべからず。且つ幼稚園が貧民地域の兒童に對して、慈悲的に盡す點に於ては、其効果の顯著なること決して争ふべからず。未だ學校に行かざる兒童の教育よりも一層重要にして且つ範圍の廣きものは、既に學校を出てたる男女の爲めに設けられたる種々の教育方法なりとす。米國の事情を知る人は米國に斯くの如き種々の教育機關の備はれるを記憶すべし。例へば諸種の講演會、研究會、シャトリーカ學會(Chautauque)大學擴張講話、婦人會夏期

講習會、通信教授、無料學術講演會等を始め、其他種々なる設備に富める事は、恐らく他に其例なかるべし。是等の機關は實に老若男女の學園にして、彼等は此處に遊びて、知らず識らず智識の美花を摘むことを得べし。勿論學識高き人にとりては斯かる不規則なる方法は不適當なるべきも、一般人民の智識を練磨し、其精神を鼓舞する點に於て至大の價值あることは決して辭むべからず。幼稚園は前述の如く、獨逸より輸入せられたるものなり。又大學擴張講話は英國より傳來せるものにして、十年以前に於ては非常に盛なりしも、今や漸く衰へつゝあり。而して米國獨得の學會はシャトリーカ學會なりとす。元來シャトリーカとはバッファロより汽車にて約二時程なるニューヨーク州に在る風光明朗の一湖水の名に因て、昔時土人の命名したるものなり。然るにこの湖畔の一村落も亦湖水の名に因みてシャトリーカと稱せらるゝが、この村にて初めてこの學會起りたるを以て之をシャトリーカ學會とは呼ぶなり。その後全國到る處に同學會の組織せられざるはなきに至りしが、今日に於ても尙ほシャトリーカ村のシャトリーカ學會こそはその本部たるの觀あり。抑、シャトリーカの會は毎年の夏特に七八月の交、學校教員の休暇期に際

し約一萬の男女相集まり、數週間共に愉快なる保養をなし、傍ら智識の發達を計るにあり。即ち郊外に大棧敷を設けて演奏及び講演を催し、且つ其外に各種の學術に關して系統的に教授をなす小集會を開く。而して特別なる學科の研究は概ね大學の教授之を擔當し、一般の問題に關する講演は有名なる政治家、學者、官吏、牧師、其他の名士之に當り、休養慰樂の方法としては遠足會、演奏會、演劇等を行ふを常とす。斯くの如くにして、毎日二三時間は一定の學術的研究をなし、以て思想を啓發すべく、且つ一方に於て男女相交際して互に感化を受け、眞の道徳心を喚起せしむるなり。

シヤトリーカ學會の特別學科は希臘語を初めとして、各種の語學、聖書、數學、經濟學、哲學、教育學等にして、是等の課程を修了せるものは、試験を受けて證書を授與せられ、この證書を得たる人は教員間に於て最も名譽のこととせらるゝなり。且つ之を修了したる人は將來益、深く研究せんとする氣風を養成するが故に、シヤトリーカ學會の效果實に大なりとす。シヤトリーカ學會の最も熱心なる指導者は、その創設者たるザインセント氏(Bishop Vincent)にして、無數の人々特に小學校の教員等に對し

て慰樂と知識とを得しむることは恐らく氏に優るものはあらざるべし。ルーズヴェルト氏はニューヨーク州知事在職の時、一日シヤトリーカ學會に臨み、一萬餘の聽衆に向つて演説せしが、終にザインセント氏に向つて曰く、余はシヤトリーカ學會の如く、米國人民に幸福を與へたるもの、未だ曾つて他にありしを聞かずと。この時聽衆は皆手布を振つて喝采せり。蓋し手布を振ることはシヤトリーカ學會特有の禮式にして、大喝采の意を表示するものなり。この風習は數年前シヤトリーカ學會に於て一人の聲の學者が講演をなせる時、賞讃の聲響き渡りしも、彼自身は全く之を聞くこと能はざりしが故に、ザインセント氏の發議により手布を振りしより起れるものにして、今や各地のシヤトリーカ學會にても一般此風習を採用するに至れり。現今全國のシヤトリーカ學會の數は三百以上ありて、其多くは閑野幽邃なる避暑地に設けられ、且つ壯麗なる圖書館、宴會場、舞蹈館、俱樂部等の供へあるものも亦少からず。シヤトリーカ學會には特に特別なる學術教育に力を盡す者なきにあらずと雖、元來同會の主とする處は通俗高等教育の普及にありとす。

通俗教育の一方法として、大學擴張講話の目的は、主として高等なる學校の教師

及び其他のものを一般人民の爲めに利用するにあり。高等學校及び大學が常に在學生のみならず、職工労働者にまでも其教化を及ぼすべきは、民主主義の國に於ては寧ろ當然の事と思推せられたり。然れども又一方に於て、大學擴張講話は單に興味ある講演をなすのみに止めずして、其聽講者に必ず一定の科目を修得せしめざるべからずと主張せられたり。茲に於て大學擴張講話に於ては一問題に就て少くとも六回乃至十二回に亘りて講義を續け、講義の終には聽講者に質問を許し、且つ講話を了へたる時は筆記試験を行ひ、一定の回数筆記試験を通過したる者には證書を授與せり。例へばフィラデルフィア大學は一年間に四十三箇所にて講話を行ひ、シカゴ大學は九十二箇所にて、各六回より成る百四十一の講義をなし、其他の學校に於ても然り。尤も東部諸州の主要なる大學は之に加はずと雖、全國到る處特に西部諸州に於ては大學講話の行はれざる所なし。然るに近年遂に衰微の徴あるは疑ふべからざる事實にして、これ講話其物の性質悪しきが爲めにあらずして、唯大學教授等が大學所在地を離れて遠隔の地に行くを大に不便とするに因するものなり。兎に角大學講話が大に社會に利益を與へたるこ

とは決して疑ふべからず。

夏期講習會も亦高等教育を普及する方法としては、前者と殆ど相齊しく而も尙ほ一層有効なるが如し。加之大學擴張講話が漸次衰へんとする傾向あるに反して、夏期講習會は益盛ならんとする趨勢にあり。特に第一流の大學も亦夏期講習會には皆力を盡せり。尤も夏期講習會に出演するものは、最も習熟の教授にはあらずして、主として少壯の助教授なりとす。中學校教員及び教師等は往々母校の夏期講習會に入り、一科目に就きて六週間の講義を聴き、大に學識を研磨するなり。數年前ハーヴァード大學が校費を以てキューバ島の最も熱心なる學校教員一千四百人を招待して、夏期講習會を開き、六週間に亘りて是等の教員に米國の文化を注入せるが如きは、最も顯著なる一例なりといふべし。

其他斯かる學校に關係なき講演會は無數にして、米國人が如何に熱心に講演を欲するかは、殆ど歐洲人の豫想の外にあり。而してこれ亦其自全の精神より起るものなりと云はざるべからず。米國人は講演とさへ云へば、必ず傍聽して自己の知識を高めんことを欲す。斯くの如く、米國人の講演を好むは、彼等が政治上の會

合に臨みて政治演説を傾聴する一般の風習によつて、大に馴致せられたるものなりと云ふべし。例へばポストン及び其郊外に於て、九月より六月迄の間には、一日平均五回の公開講演會開かるゝ割合なりといふ。

元來米國にて講演の盛なるは敢て今日に於て始まれるにあらず。既に一六三九年の頃新英州に於ては宗教に關する講演甚だ盛なりき。而してポストンにては講演熱の度を過ぎて、貧窮なる勞働者等は自身の本職を忽せにし、且つ夜暗く講演の終るが爲めに、聴衆は健康を害したりとの話すらありき。尤も學術講演が一般に歓迎せらるゝに至りしは十九世紀以來にして、十九世紀の初め化學の泰斗

エール大學教授シリマン氏(Silliman)が公開學術講演をなして大成功を博し、夫より漸次盛に行はるゝに至れり。又一八三〇年代よりは公開講演を目的とするライシヤム(Lyceum)なる教育協會全國に起り、大に隆盛を極めたり。

尤も政治問題又は社會問題を主とせる斷片的講演の大に行はれたる時代もありたり。ウェブスター(Webster)チャニング(Channing)ヘンリー(Emerson)パーカー(Parker)マン(Mann)サマナー(Summer)フリンクス(Phillips)ローチ(Emerson)パーカー(Parker)マン(Mann)サマナー(Summer)フリンクス(Phillips)ローチ

(Becher)カーチス(Cutts)等の諸氏が各、獨得の辯舌を奮つて、國民を刺激したる頃は實に雄辯全盛の時代なりき。而して其後に至り、特に智的方面に關する講演盛となり、現今全國の主要なる都會には、通俗講演及び學術講演の爲めに壯大美麗の會館なきはなく、即ちボルチモアのピーボディ會館(Peabody Institute)リバーモークのブライト館(Bright Institute)フレデリックのドレキセル會館(Drexel Institute)等の如き是なり。特にポストンのローエル會館(Lowell Institute)は最も有名なるものにして同會館はローエル氏(John A. Lowell)が埃及漫遊後、一八三八年遺言によつて自己の所得の半分をポストンの通俗學術教育費に寄附せるより起れるものにして、毎年の冬、英米の最も有名なる學者思想家八人若くは十人を聘し、一人六回乃至十二回の講演をなさしむるなり。此招待を受くることは非常の名譽にして、英國より態々之が爲め來米する大家妙からず。而して此講演が新英州人民の自全の精神に至大の影響を與へたるは疑ふべからざるなり。且つ此講演は主として新研究の結果を説明するものにして、他の通俗學術講演會とは大に其撰を異にし、此點に於ては殆ど他に類を見ざるものなり。